

安曇野市市民意識調査報告書

安曇野市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
第2章 調査結果	2
1. あなたやご家族のことについて	2
2. 安曇野市での暮らしについて	10
3. 安曇野市の行政に関すること	32
全般的な施策について	32
(1) 自然環境について	56
(2) 医療・福祉・人権について	58
(3) 子育て支援について	60
(4) スポーツについて	61
(5) 教育・学習について	62
(8) 防災・防犯について	64
(10) 農林水産業について	66
(13) 地域ブランドについて	73
(16) デジタル社会・行政サービスについて	74
その他	75
設問別 その他の意見（自由記載）	101
第3章 参考資料	112
アンケート票	112

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の意見を把握し、ニーズに対応した効果的な市政運営を図ることを目的に実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査対象者

- ・ 市内 18 歳以上の住民 2,000 人を対象に無作為抽出

(2) 調査期間

- ・ 令和 5 年 2 月 6 日（月）～2 月 27 日（月）

(3) 調査方法

- ・ 配布方法：郵送による配布
- ・ 回収方法：郵送または WEB による回答

(4) 回収状況

- ・ 回答者数 839 人（うち WEB による回答者 134 人）
- ・ 回収率 42.0%

(5) その他

① 過去に実施した調査結果との比較について

本調査結果報告書では、過去に実施した調査結果と比較している箇所がある。比較対象とする調査および調査概要は以下の通り。

調査対象：安曇野市内在住の 18 歳以上の市民 2,000 人(無作為抽出) ※居住地域・年代・性別を考慮して抽出
調査期間：令和 4 年 4 月 4 日(月)～5 月 6 日(金)
調査方法：郵送配布・郵送回収または WEB 回答
回収状況：回答者数 659 人(うち WEB による回答者 134 人) 回収率 33.0%

② その他の注意事項

- ・ 四捨五入の関係から、構成比の合計が 100%にならない箇所がある。
- ・ 四捨五入の関係から、今回調査と前回調査の数値の差と、表記した増減ポイントとが一致しない箇所がある。
- ・ 図表中の「n」は回答総数または該当する有効回答数を表している。

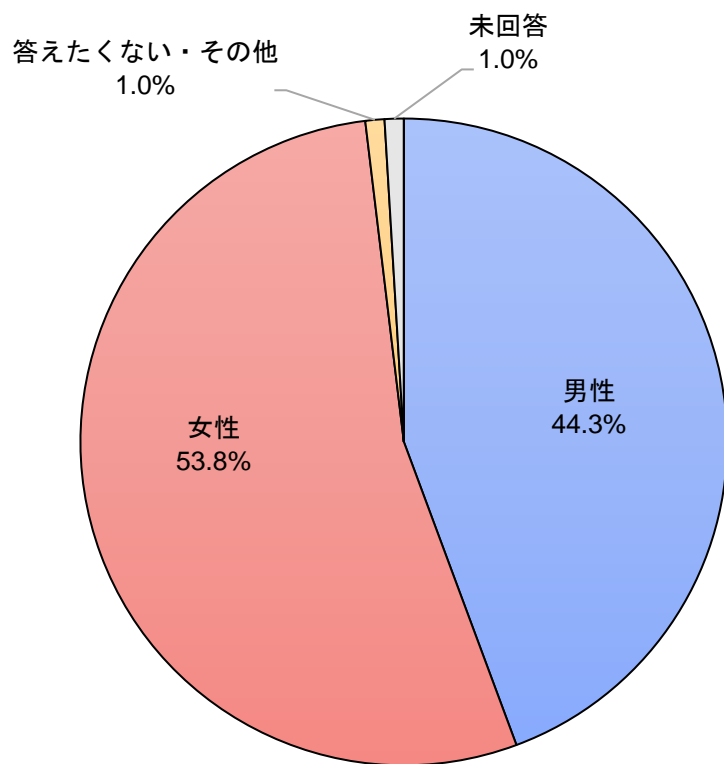
第2章 調査結果

1. あなたやご家族のことについて

問1. あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別をお答えください。(1つに○)

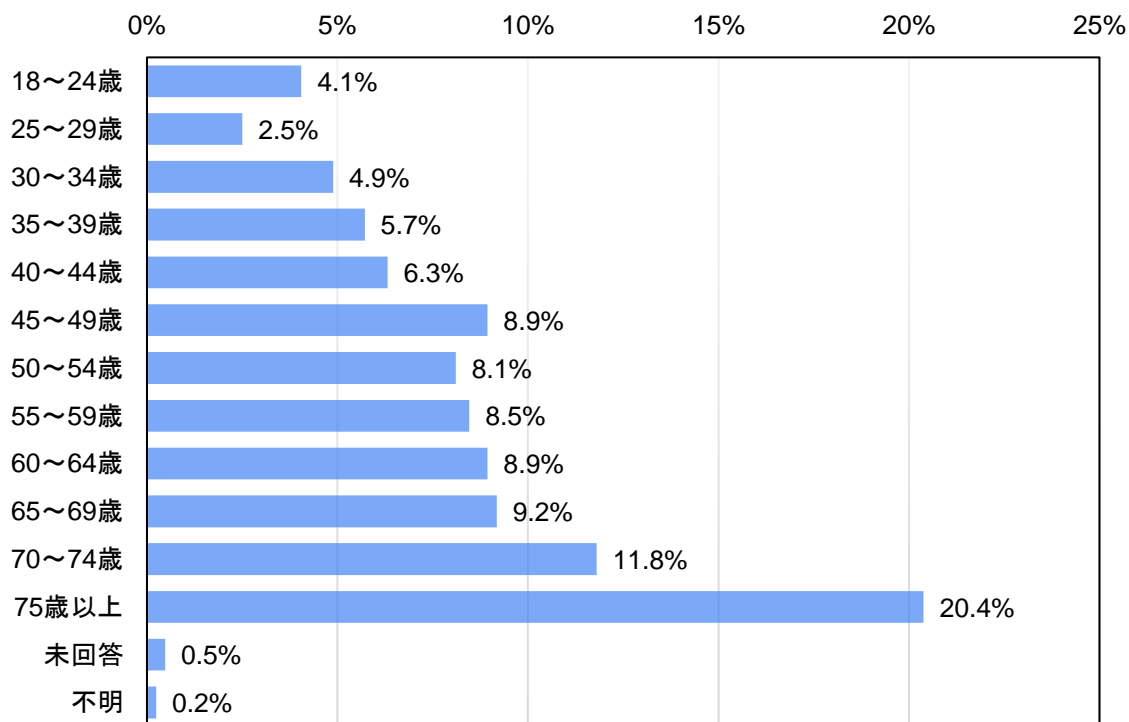
図表 1 性別



(n=839)

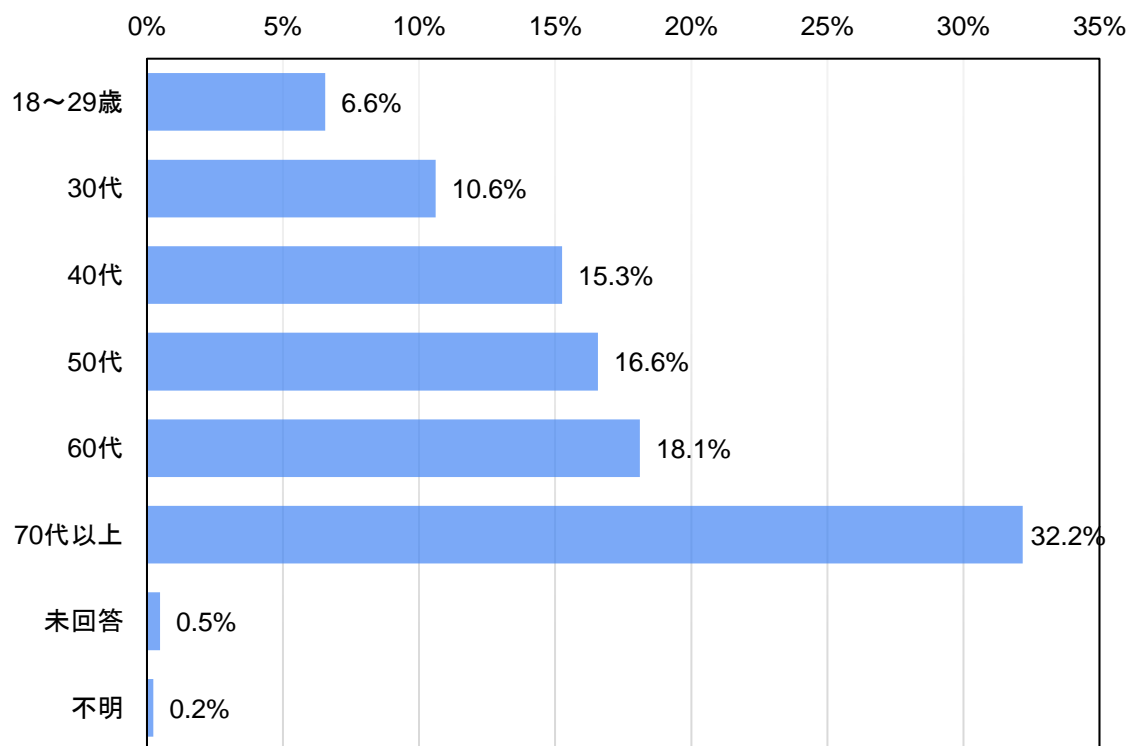
(2) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

図表 2 年齢



(n=839)

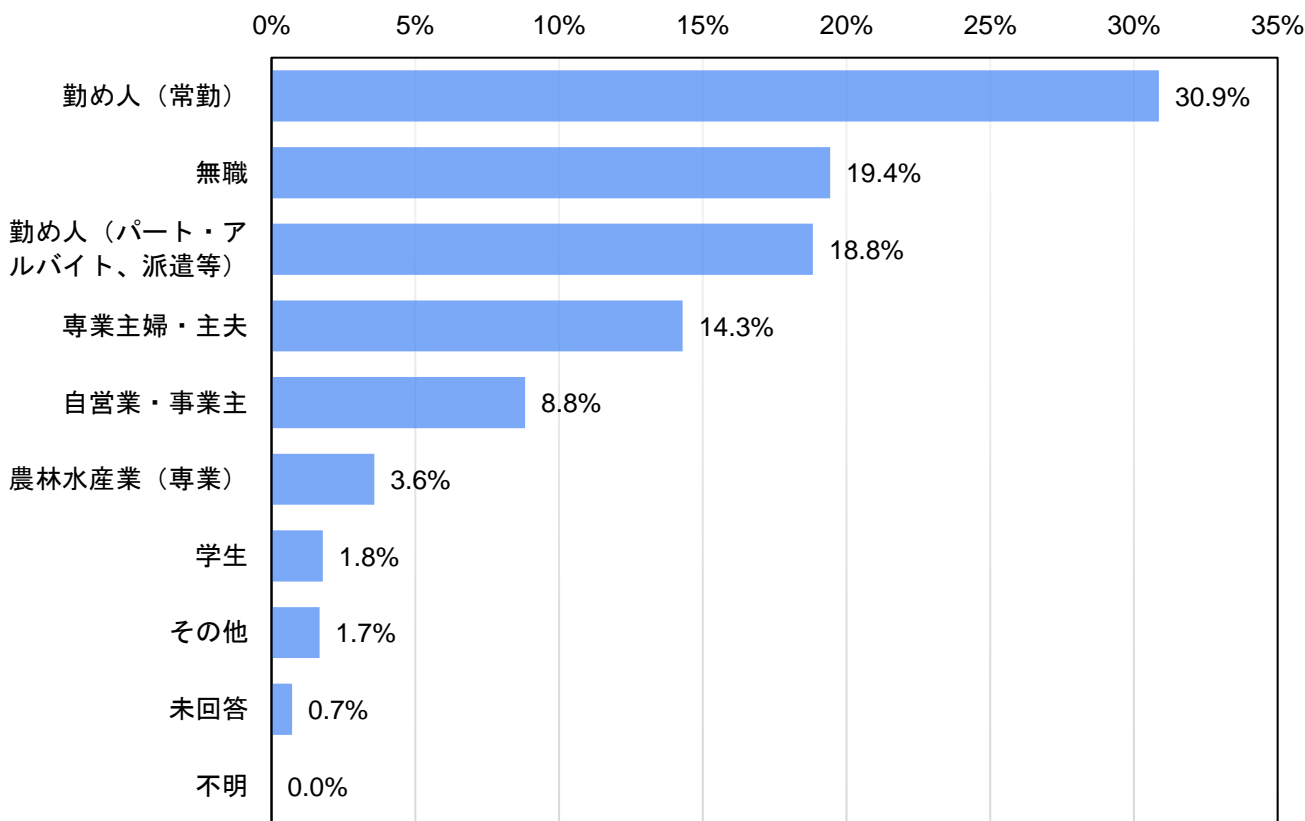
図表 3 年代



(n=839)

(3) 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

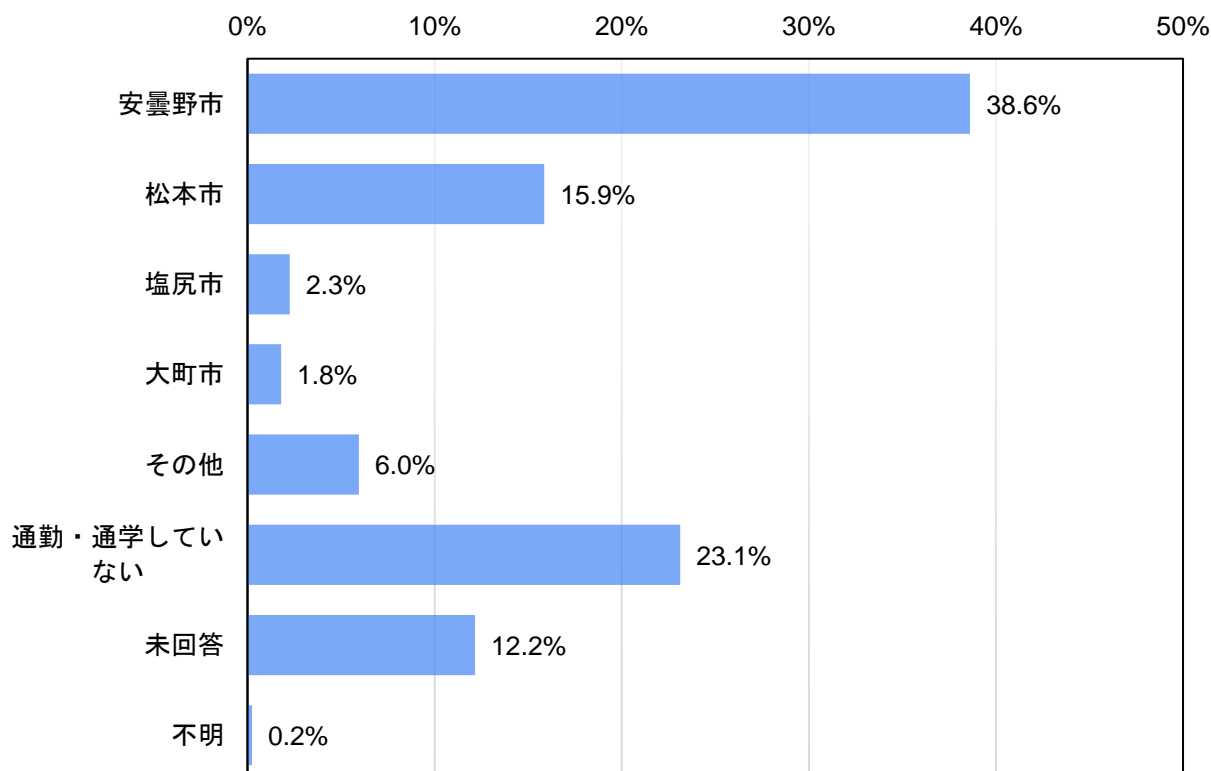
図表 4 職業等



(n=839)

(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。(1つに○)

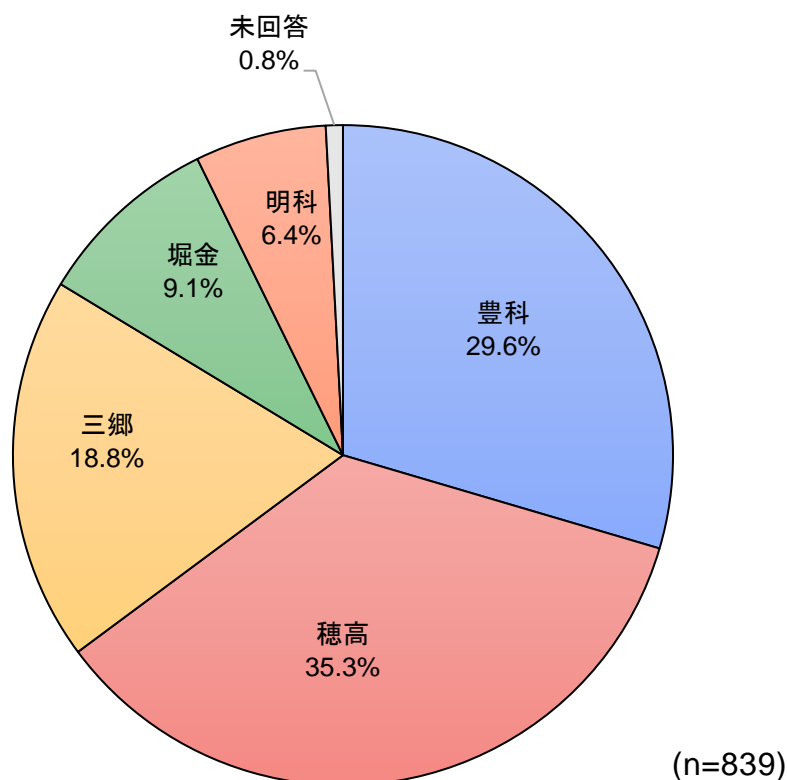
図表 5 勤務先、通勤先



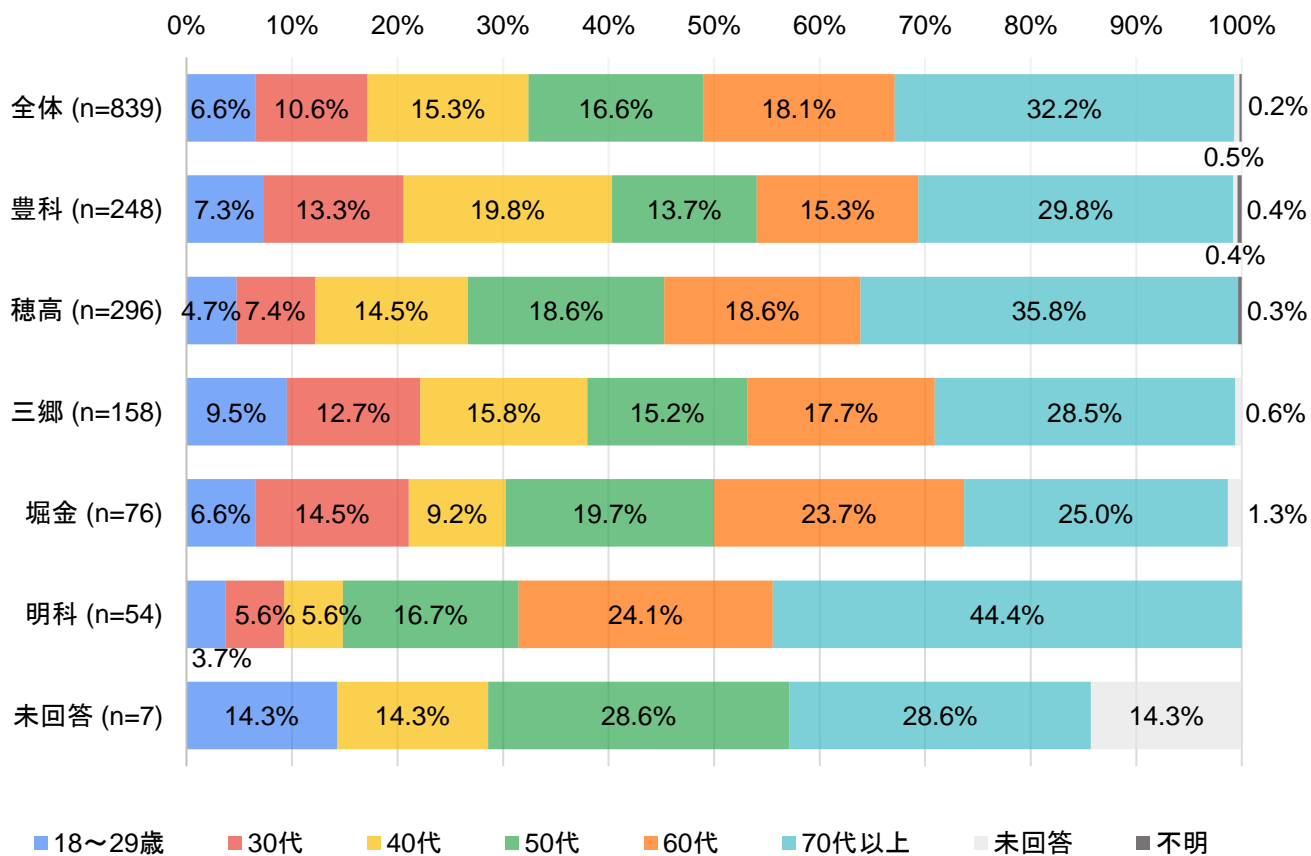
(n=839)

(5) お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

図表 6 居住地区



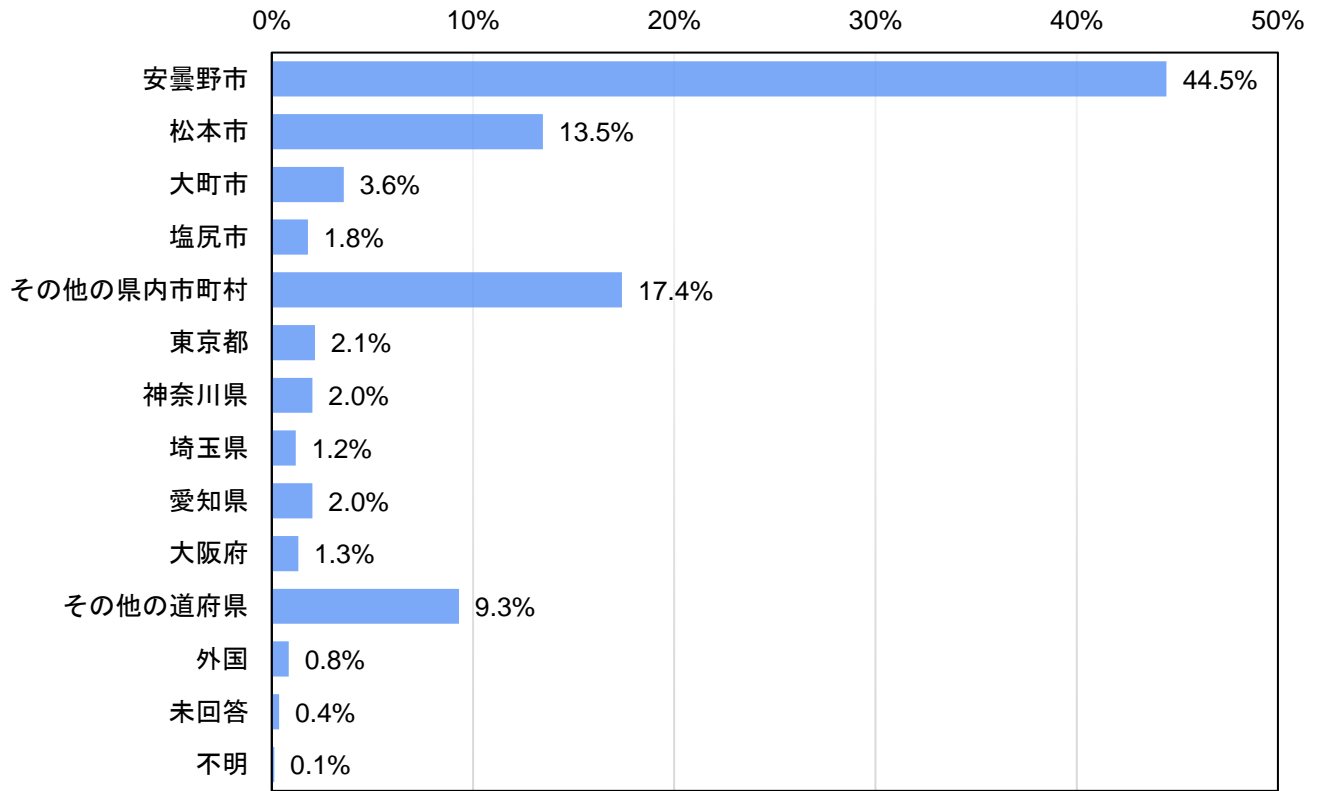
図表 7 【居住地区別】年代



あなたの「出身地※」についてお答えください。(1つに○)

※ 15歳までの期間に最も長く居住した場所を「出身地」としてお答えください。

図表 8 出身地



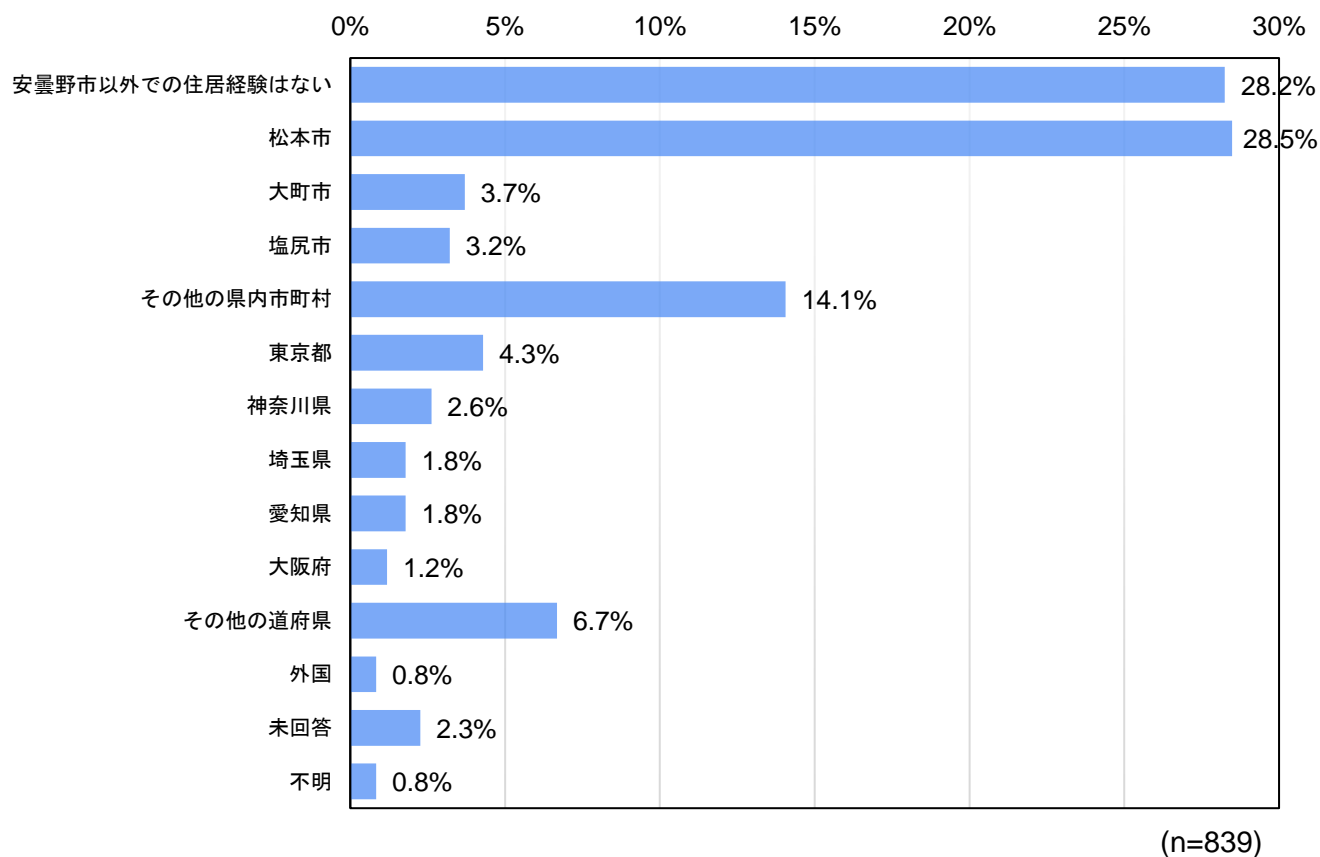
(n=839)

図表 9 【居住地区別】出身地

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
安曇野市	44.5%	44.8%	42.9%	41.1%	47.4%	55.6%	57.1%	0.0%
松本市	13.5%	12.1%	11.1%	18.4%	14.5%	18.5%	0.0%	0.0%
大町市	3.6%	2.0%	4.4%	4.4%	3.9%	3.7%	0.0%	0.0%
塩尻市	1.8%	2.0%	1.4%	1.9%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の県内市町村	17.4%	21.0%	15.9%	19.0%	10.5%	14.8%	14.3%	0.0%
東京都	2.1%	2.8%	2.4%	1.9%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
神奈川県	2.0%	0.8%	3.7%	1.9%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
埼玉県	1.2%	1.6%	1.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛知県	2.0%	1.6%	2.4%	3.2%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
大阪府	1.3%	1.2%	2.0%	0.6%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
その他の道府県	9.3%	9.3%	10.5%	5.7%	15.8%	3.7%	14.3%	0.0%
外国	0.8%	0.4%	1.7%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
未回答	0.4%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
不明	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(6) 安曇野市での居住を始める前（直前）に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。

図表 10 安曇野市の転居前に居住していた地域

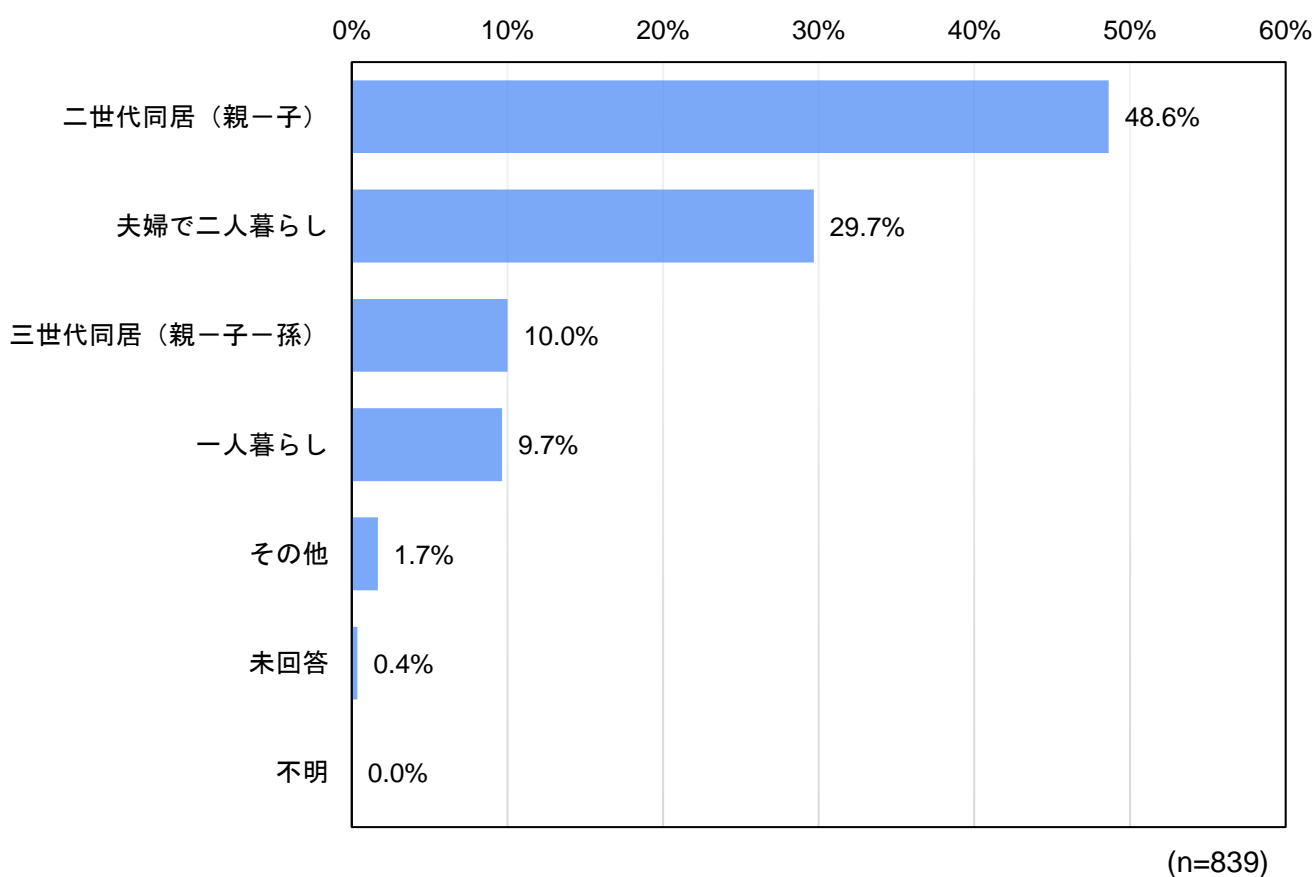


図表 11 【居住地区別】安曇野市の転居前に居住していた地域

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
安曇野市以外での住居経験はない	28.2%	25.4%	28.0%	27.8%	25.0%	44.4%	57.1%	0.0%
松本市	28.5%	27.8%	21.3%	42.4%	31.6%	29.6%	0.0%	0.0%
大町市	3.7%	2.4%	6.4%	1.9%	2.6%	1.9%	0.0%	0.0%
塩尻市	3.2%	4.8%	1.4%	3.8%	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の県内市町村	14.1%	15.7%	16.9%	9.5%	6.6%	14.8%	14.3%	0.0%
東京都	4.3%	4.4%	4.1%	5.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
神奈川県	2.6%	2.4%	3.0%	2.5%	2.6%	1.9%	0.0%	0.0%
埼玉県	1.8%	2.0%	2.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛知県	1.8%	1.2%	2.4%	2.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
大阪府	1.2%	1.2%	1.7%	0.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
その他の道府県	6.7%	8.9%	7.1%	0.6%	14.5%	1.9%	0.0%	0.0%
外国	0.8%	0.8%	1.4%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
未回答	2.3%	1.6%	3.0%	0.6%	2.6%	3.7%	14.3%	0.0%
不明	0.8%	1.2%	0.7%	0.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%

問2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

図表 12 世帯状況



図表 13 【居住地区別】世帯状況

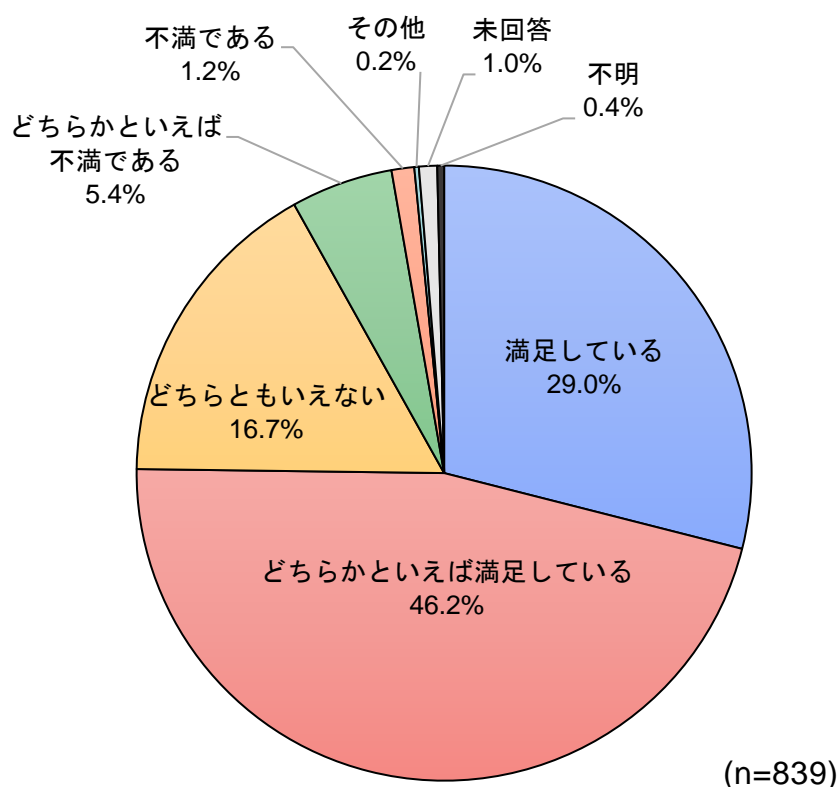
	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
二世帯同居 (親-子)	48.5%	49.2%	43.2%	55.7%	47.4%	53.7%	57.1%	0.0%
夫婦で二人暮らし	29.7%	27.8%	33.4%	24.7%	34.2%	27.8%	14.3%	0.0%
三世帯同居 (親-子-孫)	10.0%	10.5%	9.1%	13.9%	5.3%	9.3%	0.0%	0.0%
一人暮らし	9.8%	10.1%	12.2%	4.4%	13.2%	5.6%	14.3%	0.0%
その他	1.7%	1.6%	2.0%	1.3%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%
未回答	0.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2. 安曇野市での暮らしについて

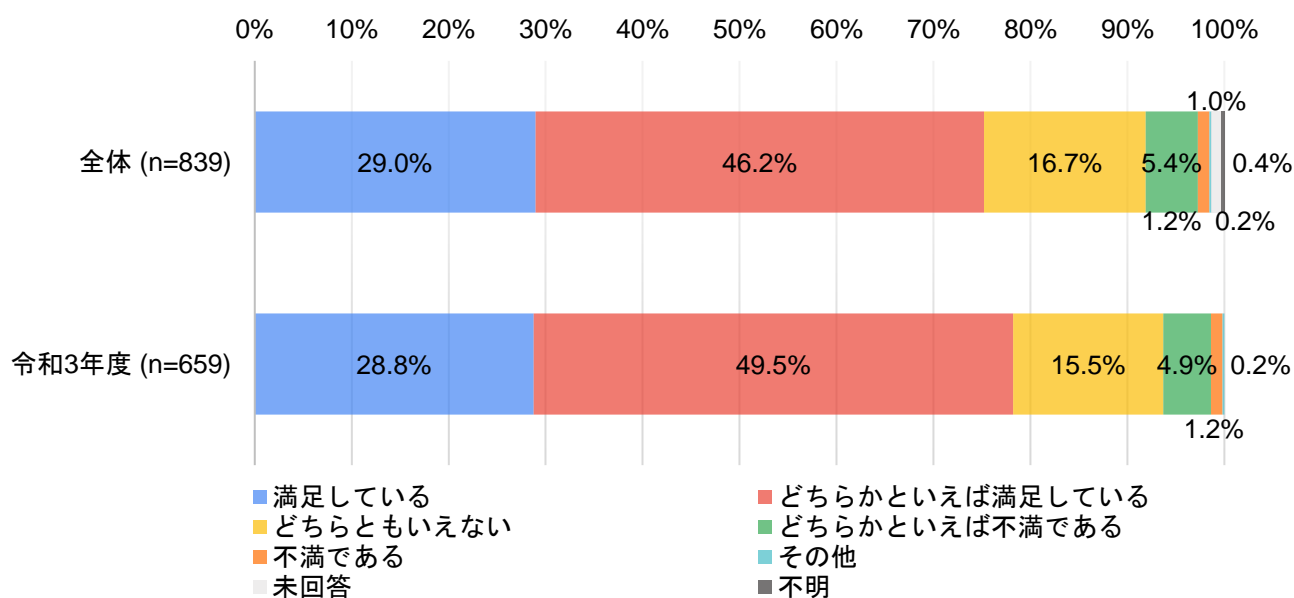
問3. あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

「どちらかといえば満足している」(46.2%) が最も高く、次いで「満足している」(29.0%)、「どちらともいえない」(16.7%)、「どちらかといえば不満である」(5.4%) の順となった。「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた75.2%が満足していると答え、「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせた不満である6.6%を大きく上回った。

図表 14 安曇野市での生活の満足度

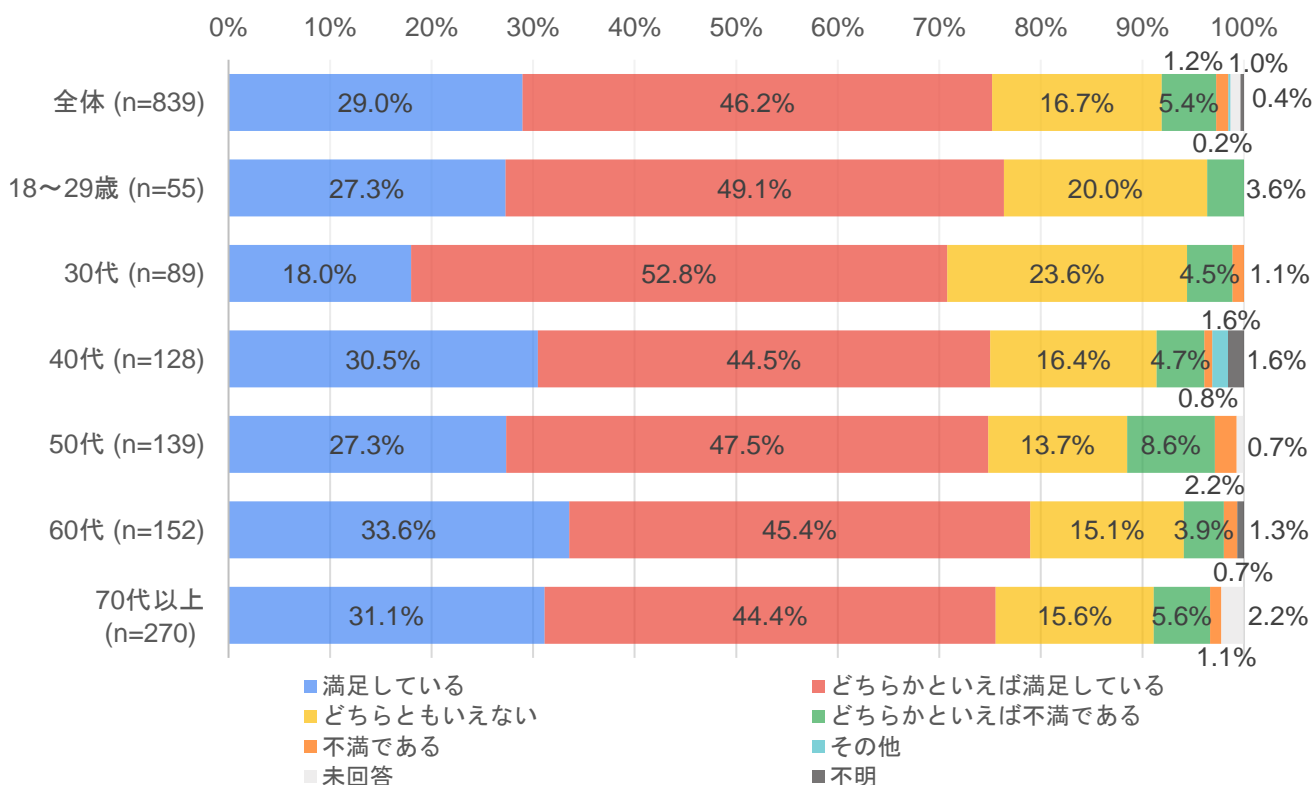


図表 16 【過去比較】安曇野市での生活の満足度



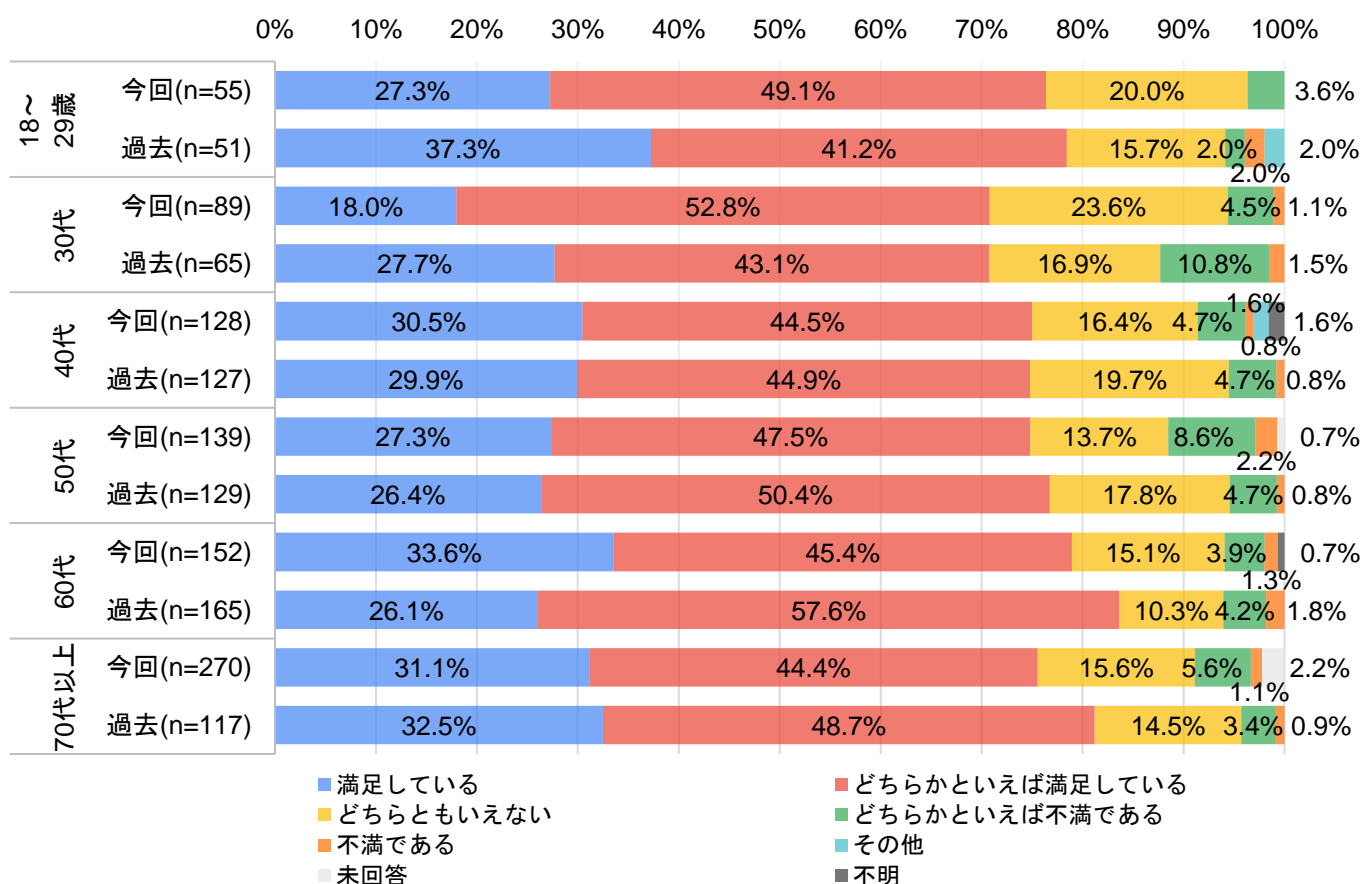
図表 17【年代別】安曇野市での生活の満足度

年代別では、すべての年代で「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた割合が、7割を超えている。

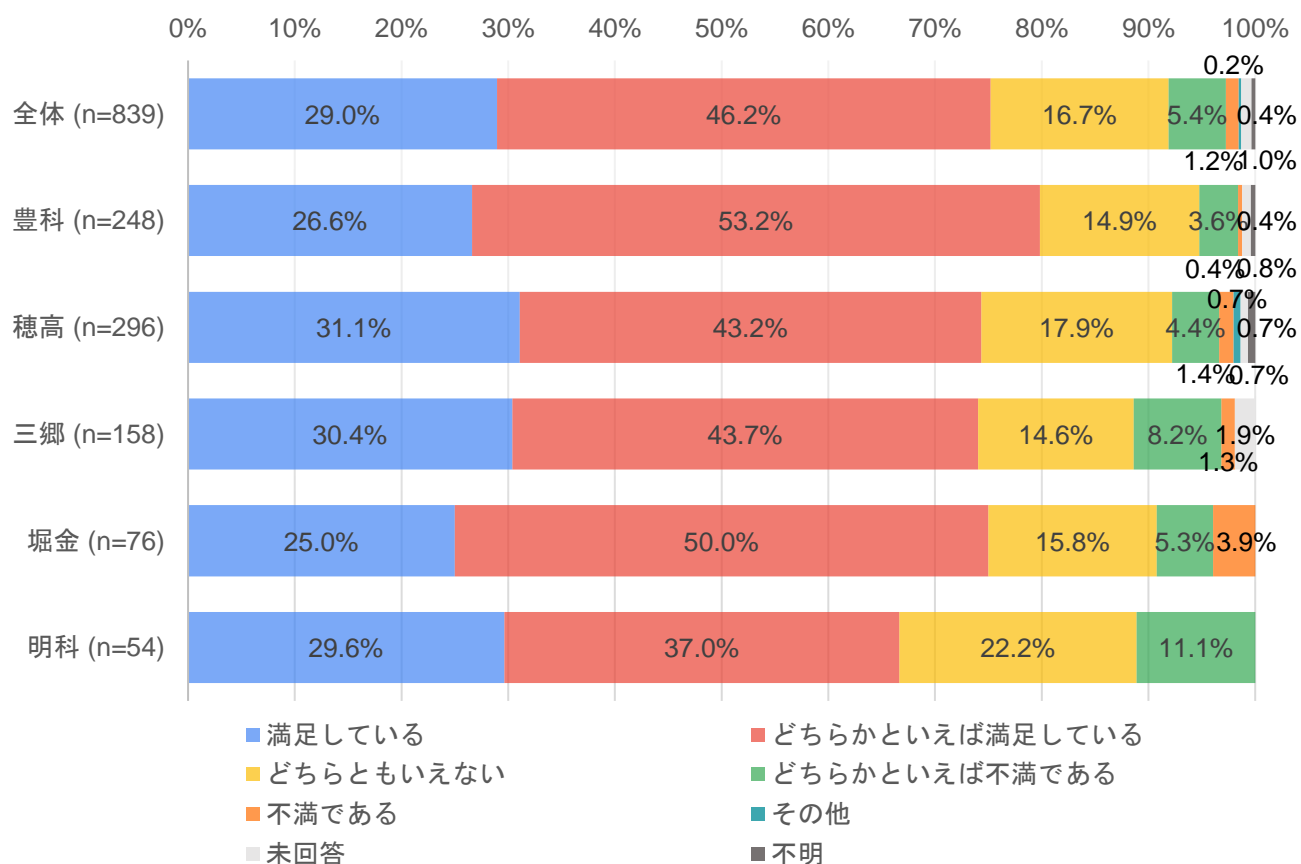


図表 18【年代別過去比較】安曇野市での生活の満足度

過去調査(令和3年)と比較すると、60代の「満足している」が26.1%から7.5ポイント増加し、33.6%となった。一方で、18~29歳の「満足している」が37.3%から10ポイント減少し、27.3%となった。

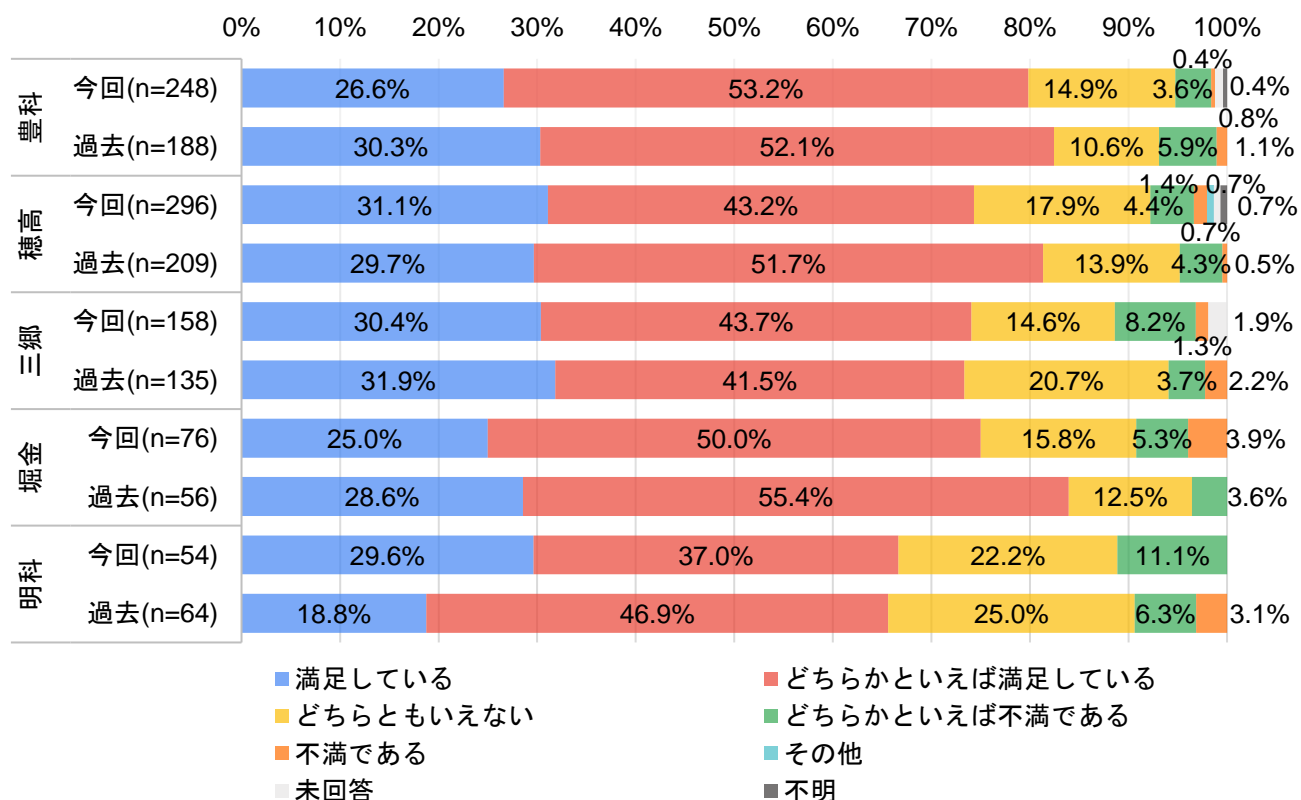


図表 19【居住地区別】安曇野市での生活の満足度



図表 20【居住地区別過去比較】安曇野市での生活の満足

過去調査（令和3年）と比較すると、明科地区は「満足している」が18.8%から10.8ポイント増加し、29.6%となった。

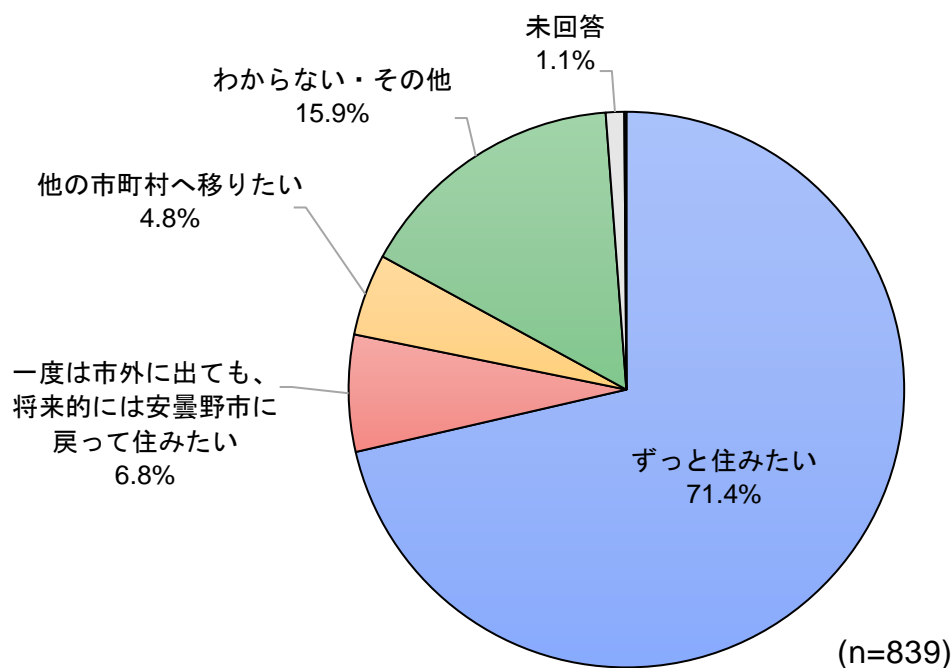


問4. あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。(1つに○)

「ずっと住みたい」(71.4%)が最も高く、次いで「わからない・その他」(15.9%)、「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」(6.8%)、「他の市町村へ移りたい」(4.8%)の順となった。

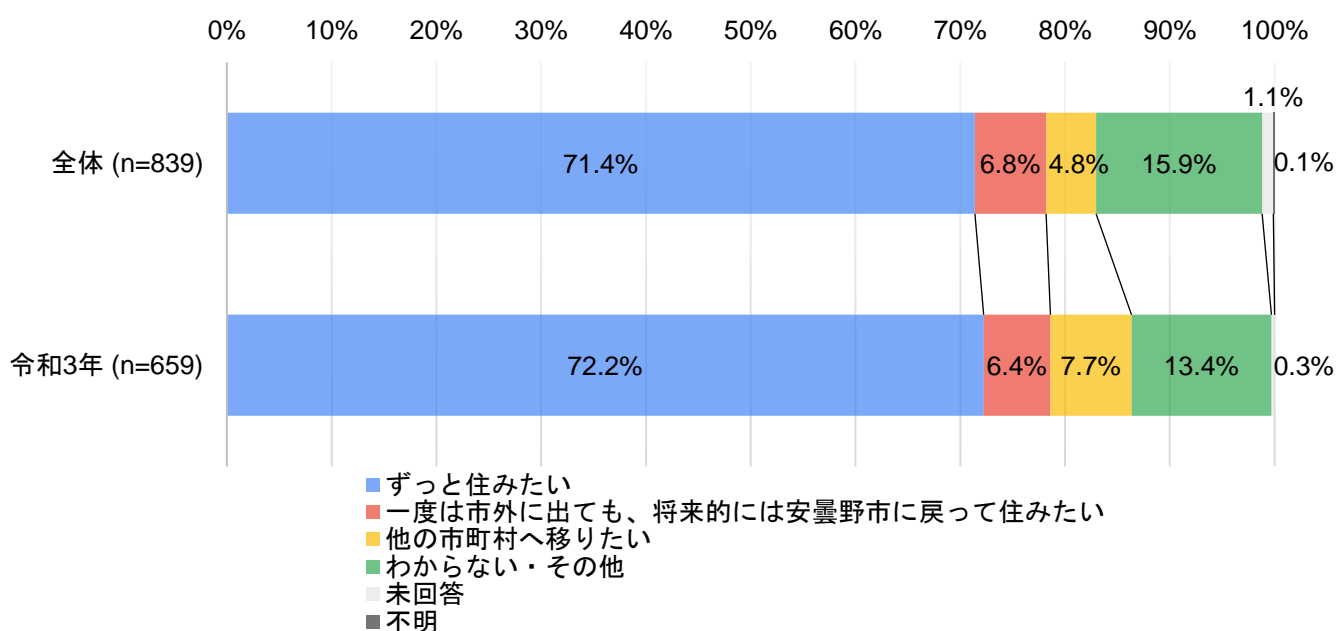
「ずっと住みたい」と「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」を合わせた約8割(78.2%)が安曇野市に住み続けたいと答えた。

図表 21 安曇野市での定住意向



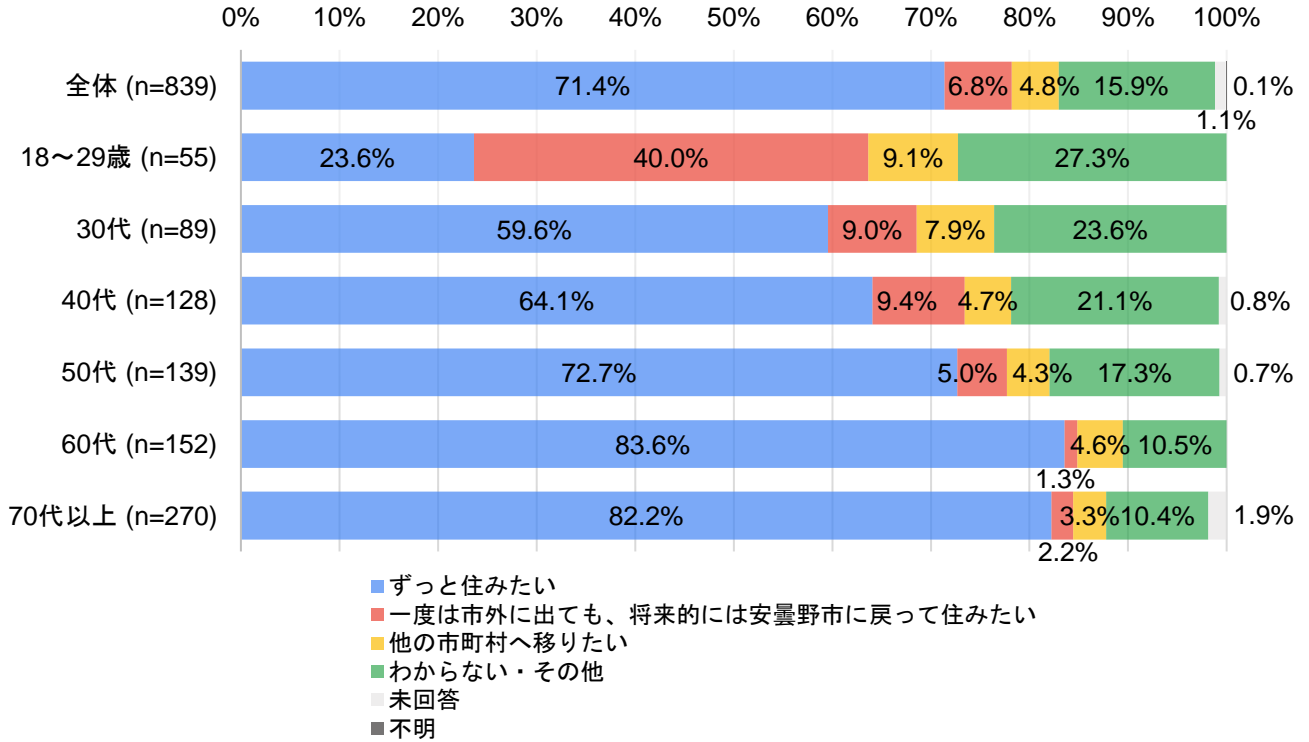
過去調査(令和3年)と比較すると、「他の市町村へ移りたい」が7.7%から2.9ポイント減少し、4.8%となった。

図表 22 【過去比較】安曇野市での定住意向

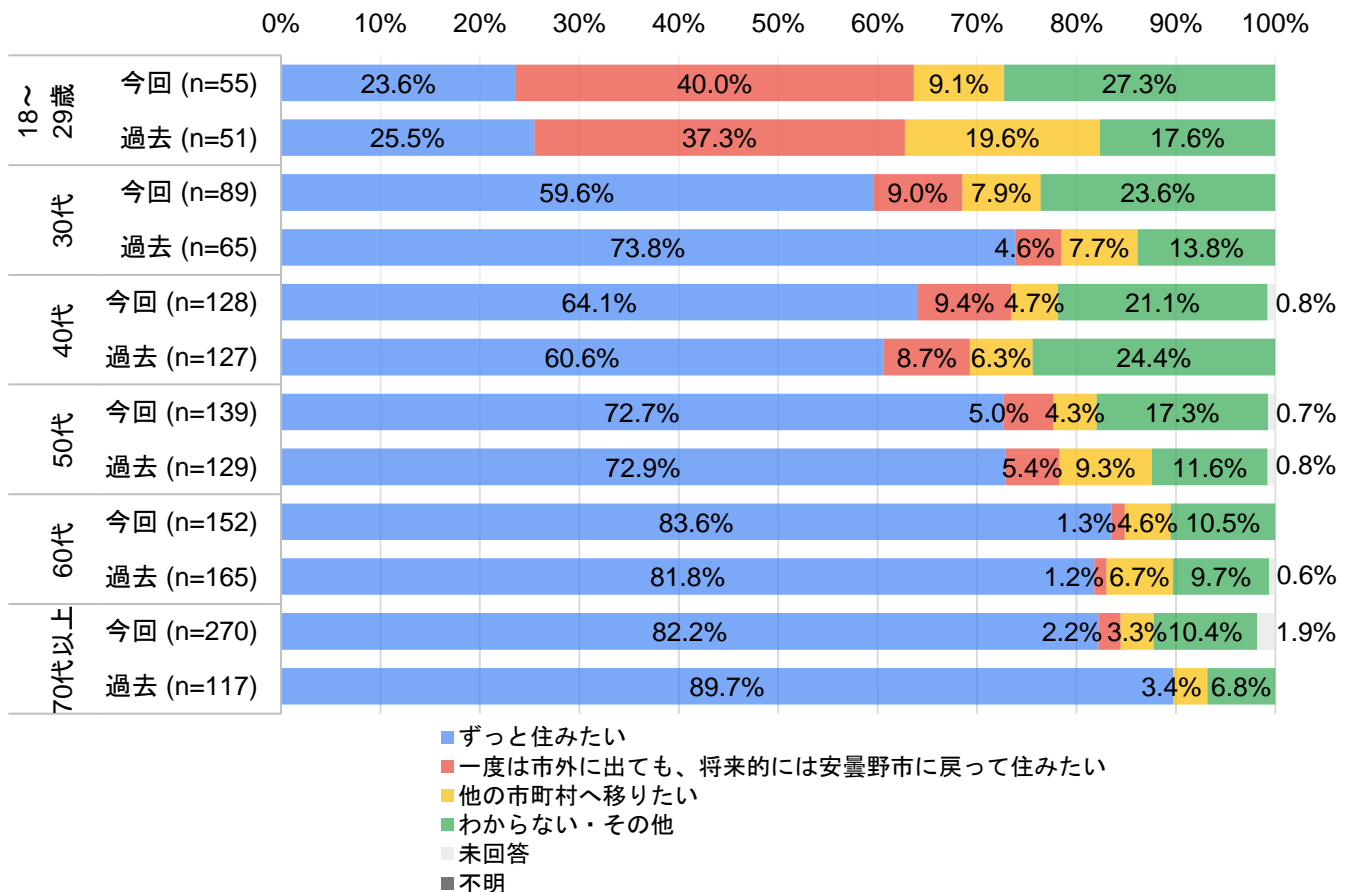


年代別では、「ずっと住みたい」は18～29歳(23.6%)、30代(59.6%)が低く、60代(83.6%)、70代以上(82.2%)が高かった。「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」は18～29歳(40.0%)が高く、60代(1.3%)、70代以上(2.2%)で低かった。「わからない・その他」は18～29歳(27.3%)で高く、70代以上(10.4%)で低かった。

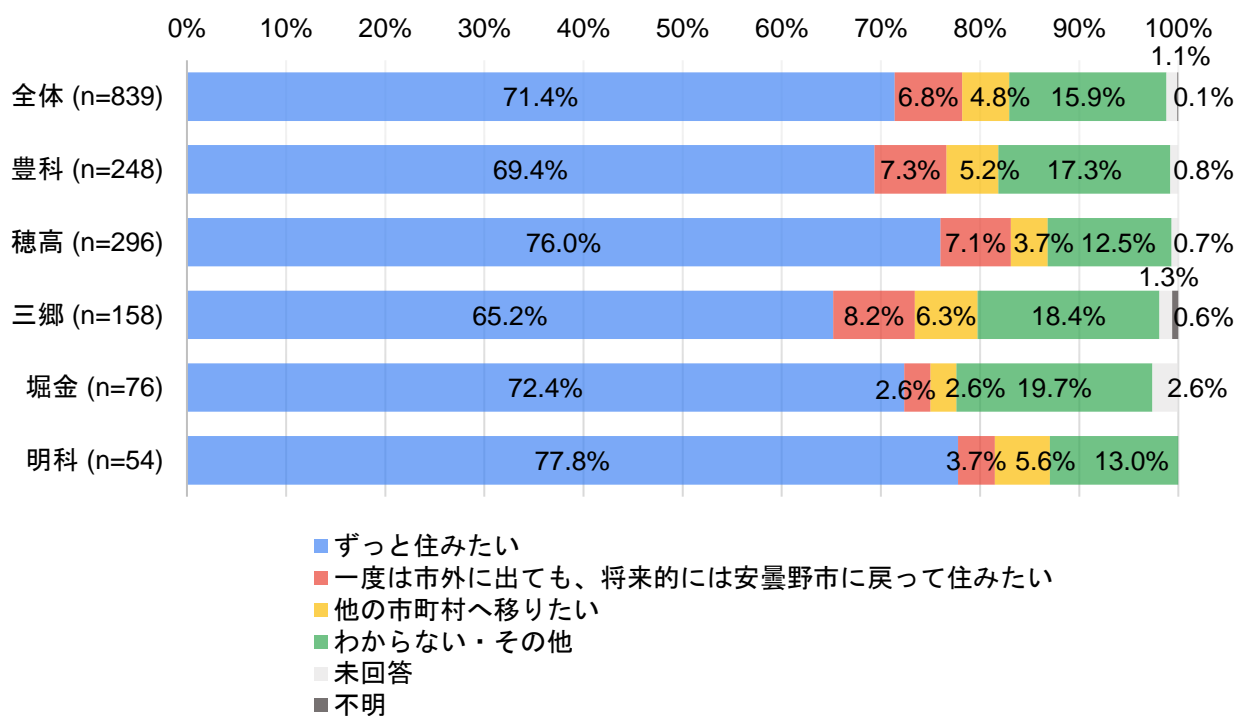
図表 23 【年代別】安曇野市での定住意向



図表 24 【年代別過去比較】安曇野市での定住意向

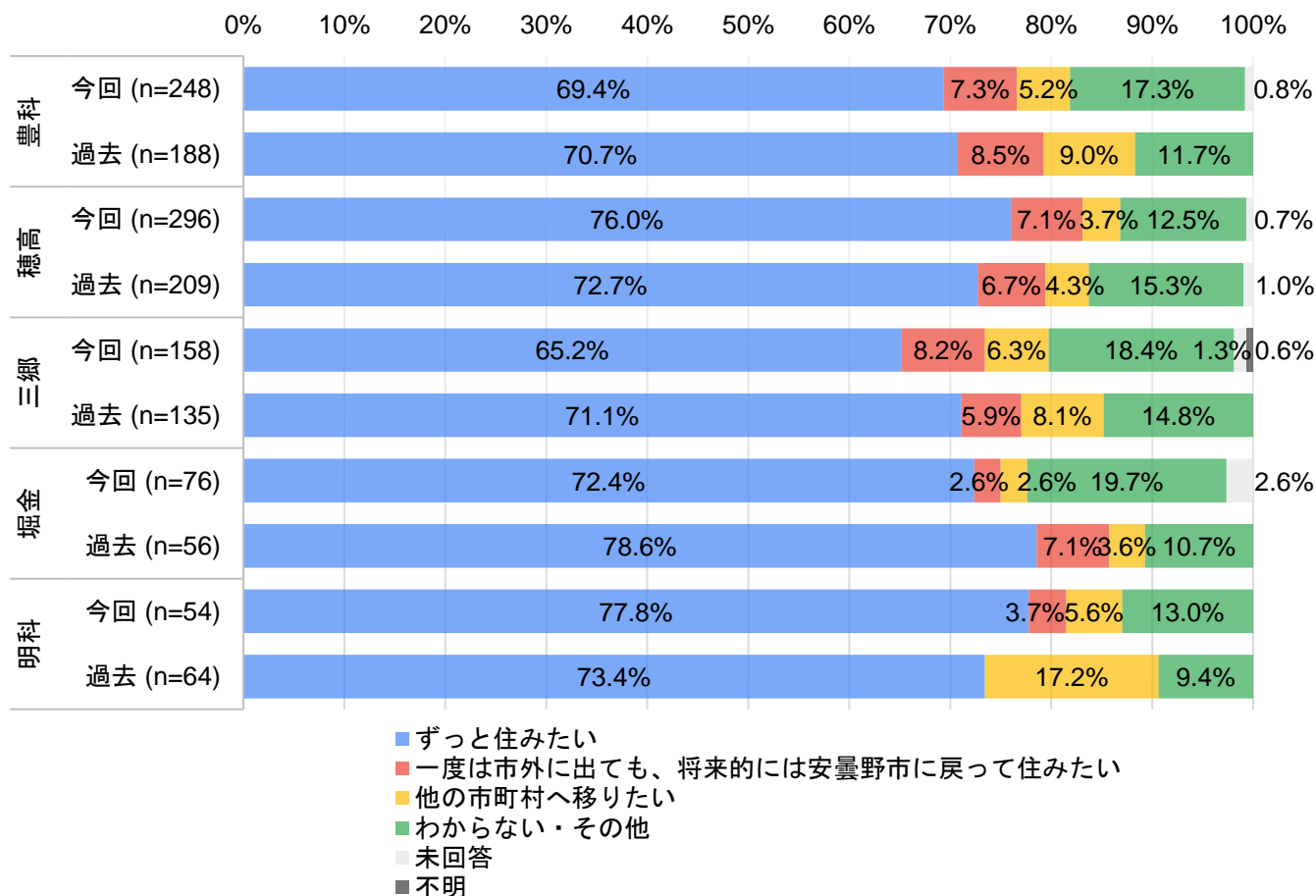


図表 25 【居住地区別】安曇野市での定住意向



過去調査（令和3年）と比較すると、明科地域において、「他の市町村へ移りたい」が17.2%から5.6%に12ポイント減少した。

図表 26 【居住地区別過去比較】安曇野市での定住意向

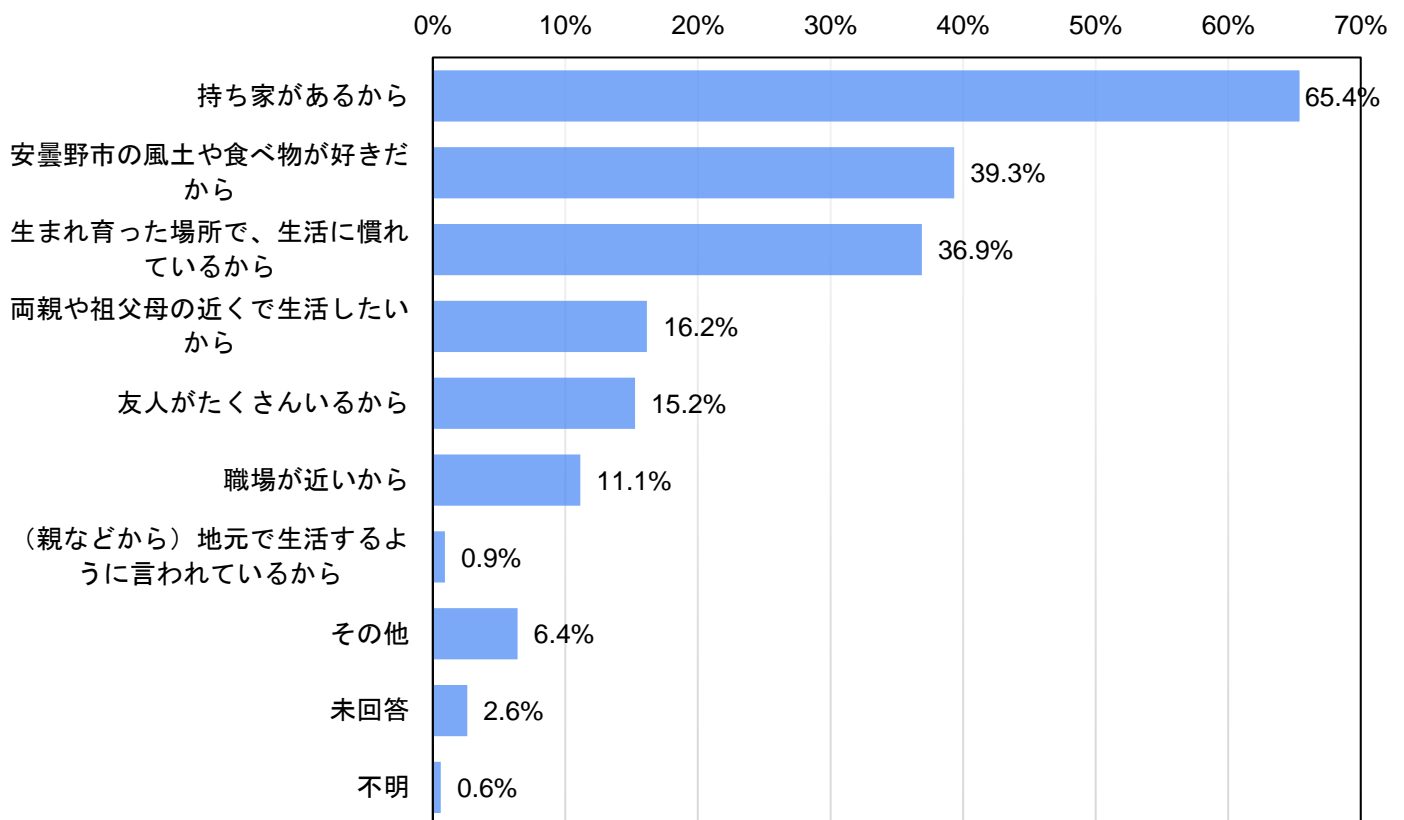


(1) 問4で「1. ずっと住みたい」または「2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

安曇野市に住みたいと回答した方に聞いたところ、「持ち家があるから」(65.4%)が最も高く、次いで「安曇野市の風土や食べ物が好きだから」(39.3%)、「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」(36.9%)の順となった。

年代別では、30代以上で「持ち家があるから」が高かった。18～29歳は「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」(57.1%)が高く、「持ち家があるから」(5.7%)が低かった。

図表 27 安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）



(n=656)

図表 28 【年代別】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）

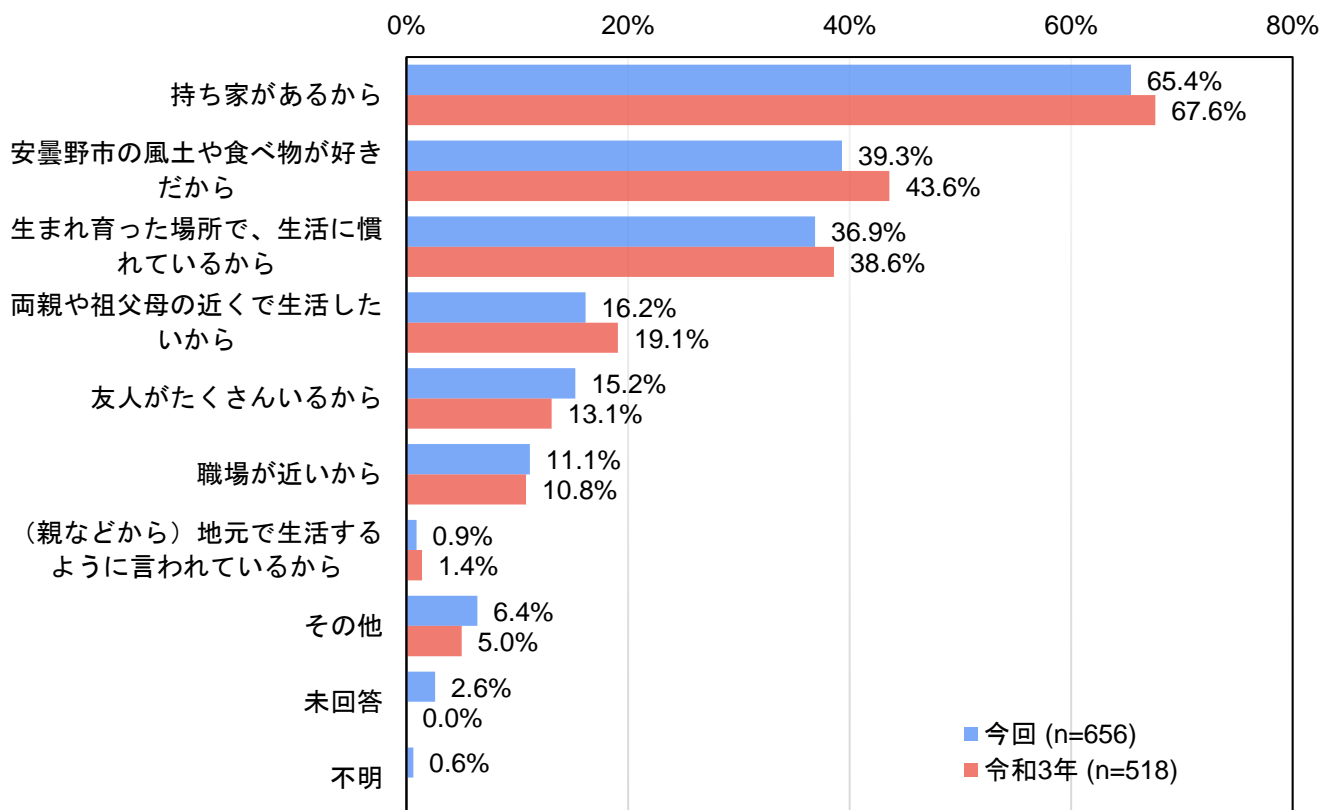
	全体 (n=656)	18～29歳 (n=35)	30代 (n=61)	40代 (n=94)	50代 (n=108)	60代 (n=129)	70代以上 (n=228)	未回答 (n=1)	不明 (n=0)
持ち家があるから	65.4%	5.7%	55.7%	55.3%	64.8%	76.7%	75.4%	0.0%	0.0%
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	39.3%	48.6%	42.6%	38.3%	40.7%	38.8%	36.8%	100.0%	0.0%
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	36.9%	57.1%	37.7%	37.2%	32.4%	41.1%	33.3%	0.0%	0.0%
両親や祖父母の近くで生活したいから	16.2%	40.0%	47.5%	25.5%	19.4%	9.3%	2.6%	0.0%	0.0%
友人がたくさんいるから	15.2%	14.3%	6.6%	9.6%	12.0%	14.7%	21.9%	0.0%	0.0%
職場に近いから	11.1%	11.4%	18.0%	16.0%	13.0%	15.5%	3.9%	0.0%	0.0%
(親などから) 地元で生活するように言われているから	0.9%	2.9%	3.3%	1.1%	0.0%	0.8%	0.4%	0.0%	0.0%
その他	6.4%	5.7%	6.6%	8.5%	6.5%	5.4%	6.1%	0.0%	0.0%
未回答	2.6%	5.7%	4.9%	2.1%	1.9%	0.8%	3.1%	0.0%	0.0%
不明	0.6%	2.9%	0.0%	1.1%	0.9%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%

居住地区別では、「持ち家があるから」は三郷、堀金、明科地区が高く、三郷地区は「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」（43.1%）が高かった。
過去調査（令和3年）と比較すると、特徴的な傾向はなかった。

図表 29 【居住地区別】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）

	全体 (n=656)	豊科 (n=190)	穂高 (n=246)	三郷 (n=116)	堀金 (n=57)	明科 (n=44)	未回答 (n=3)	不明 (n=0)
持ち家があるから	65.4%	62.1%	63.0%	70.7%	71.9%	70.5%	66.7%	0.0%
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	39.3%	40.5%	42.3%	40.5%	24.6%	31.8%	66.7%	0.0%
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	36.9%	37.4%	34.6%	43.1%	35.1%	34.1%	33.3%	0.0%
両親や祖父母の近くで生活したいから	16.2%	15.8%	16.3%	12.9%	22.8%	18.2%	0.0%	0.0%
友人がたくさんいるから	15.2%	13.2%	18.7%	15.5%	10.5%	9.1%	33.3%	0.0%
職場が近いから	11.1%	12.6%	11.0%	11.2%	12.3%	4.5%	0.0%	0.0%
（親などから）地元で生活するように言われているから	0.9%	1.6%	0.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	6.4%	7.4%	7.7%	4.3%	3.5%	4.5%	0.0%	0.0%
未回答	2.6%	1.1%	4.5%	1.7%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%
不明	0.6%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%

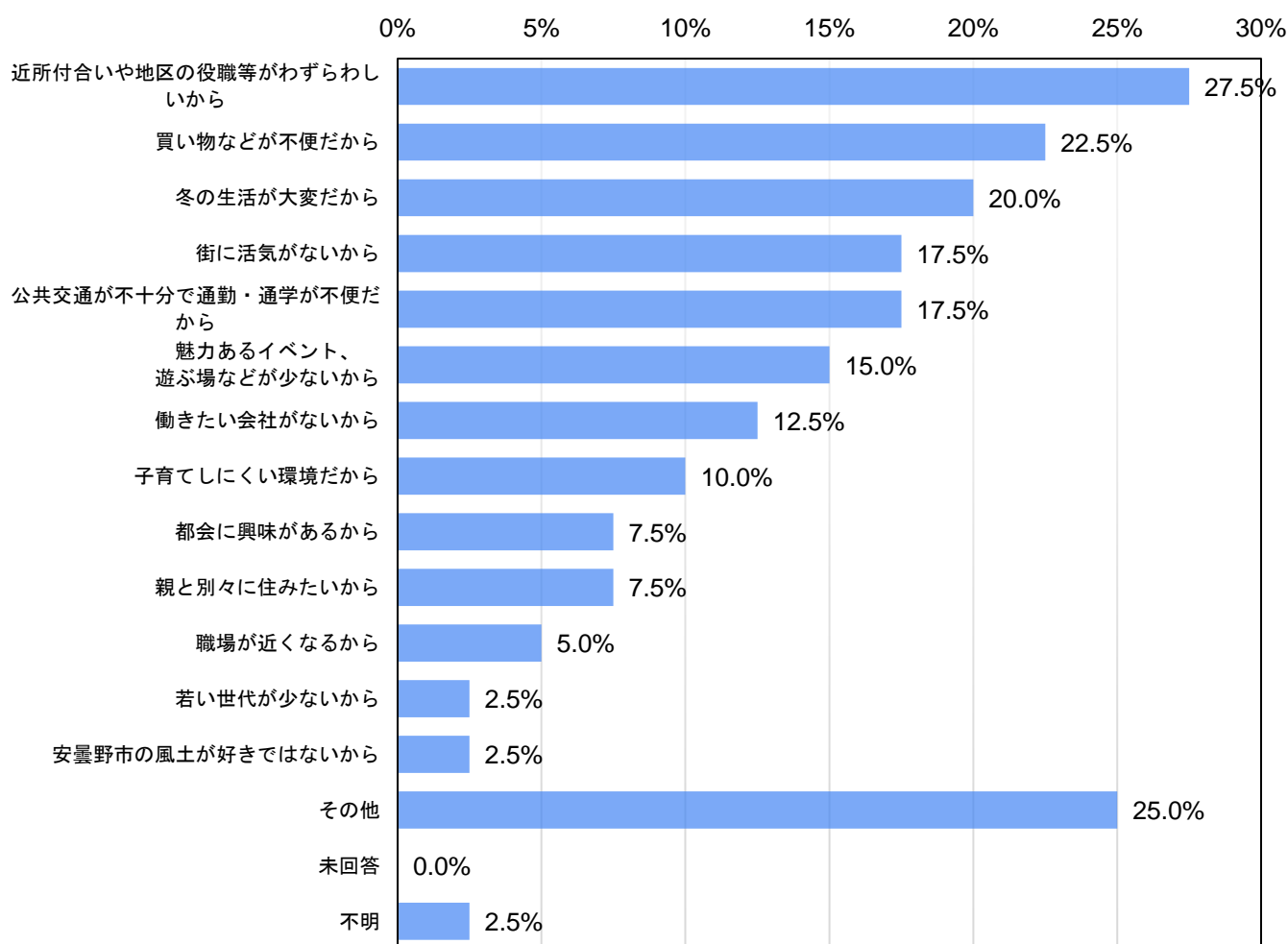
図表 30 【過去比較】安曇野市に住みたいと思う理由（“住みたい”と回答した方を対象）



(2) 問4で「3. 他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。その理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

他の市町村へ移りたいと回答した方に聞いたところ、「近所付き合いや地区の役職等が煩わしいから」(27.5%)、「その他」(25.0%)、「買い物などが不便だから」(22.5%)、「冬の生活が大変だから」(20.0%)など理由は多岐にわたった。

図表 31 他の市町村へ移りたい理由 (“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象)



(n=40)

年代別では、「近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから」は60代（71.4%）が高く、「子育てしにくい環境だから」は30代（42.9%）が高く、「都会に興味があるから」は18～29歳（40.0%）が高かった。

図表 32【年代別】他の市町村へ移りたい理由（“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象）

	全体 (n=40)	18～29歳 (n=5)	30代 (n=7)	40代 (n=6)	50代 (n=6)	60代 (n=7)	70代以上 (n=9)	未回答 (n=0)	不明 (n=0)
近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから	27.5%	20.0%	0.0%	33.3%	50.0%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%
買い物などが不便だから	22.5%	40.0%	14.3%	0.0%	33.3%	28.6%	22.2%	0.0%	0.0%
冬の生活が大変だから	20.0%	20.0%	0.0%	16.7%	16.7%	14.3%	44.4%	0.0%	0.0%
街に活気がないから	17.5%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	42.9%	11.1%	0.0%	0.0%
公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから	17.5%	20.0%	0.0%	16.7%	33.3%	14.3%	22.2%	0.0%	0.0%
魅力あるイベント、遊ぶ場が少ないから	15.0%	40.0%	28.6%	16.7%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
働きたい会社がないから	12.5%	20.0%	28.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子育てしにくい環境だから	10.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
都会に興味があるから	7.5%	40.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
親と別々に住みたいから	7.5%	20.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職場が近くなるから	5.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
若い世代が少ないから	2.5%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
安曇野市の風土が好きではないから	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	25.0%	0.0%	42.9%	0.0%	50.0%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%
未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 33【居住地区別】他の市町村へ移りたい理由（“他の市町村へ移りたい”と回答した方を対象）

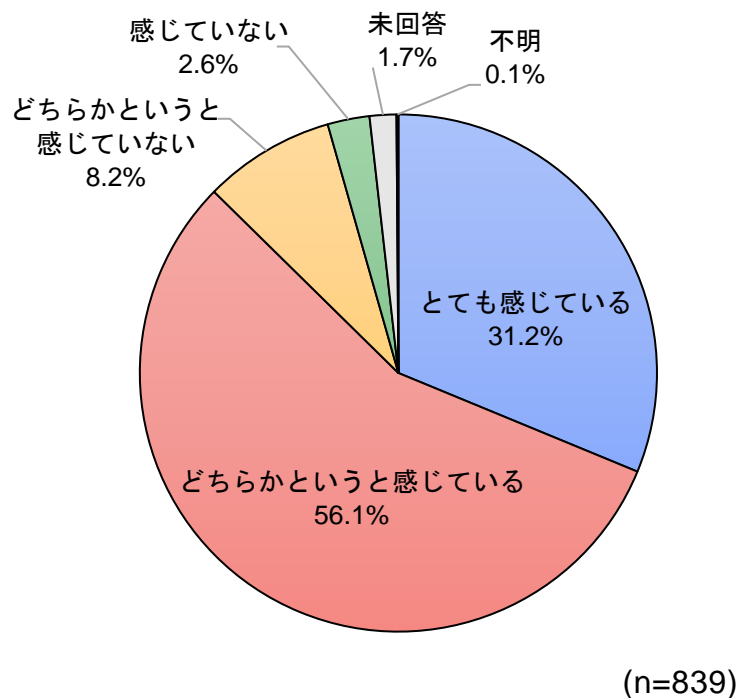
	全体 (n=40)	豊科 (n=13)	穂高 (n=11)	三郷 (n=10)	堀金 (n=2)	明科 (n=3)	未回答 (n=1)	不明 (n=0)
近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから	27.5%	23.1%	27.3%	30.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%
買い物などが不便だから	22.5%	30.8%	9.1%	30.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
冬の生活が大変だから	20.0%	38.5%	18.2%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
街に活気がないから	17.5%	23.1%	18.2%	10.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから	17.5%	23.1%	18.2%	10.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
魅力あるイベント、遊ぶ場が少ないから	15.0%	23.1%	9.1%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
働きたい会社がないから	12.5%	7.7%	18.2%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子育てしにくい環境だから	10.0%	0.0%	9.1%	20.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
都会に興味があるから	7.5%	7.7%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
親と別々に住みたいから	7.5%	7.7%	9.1%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職場が近くなるから	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
若い世代が少ないから	2.5%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
安曇野市の風土が好きではないから	2.5%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	25.0%	15.4%	36.4%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問5. 安曇野市に愛着を感じていますか。(1つに○)

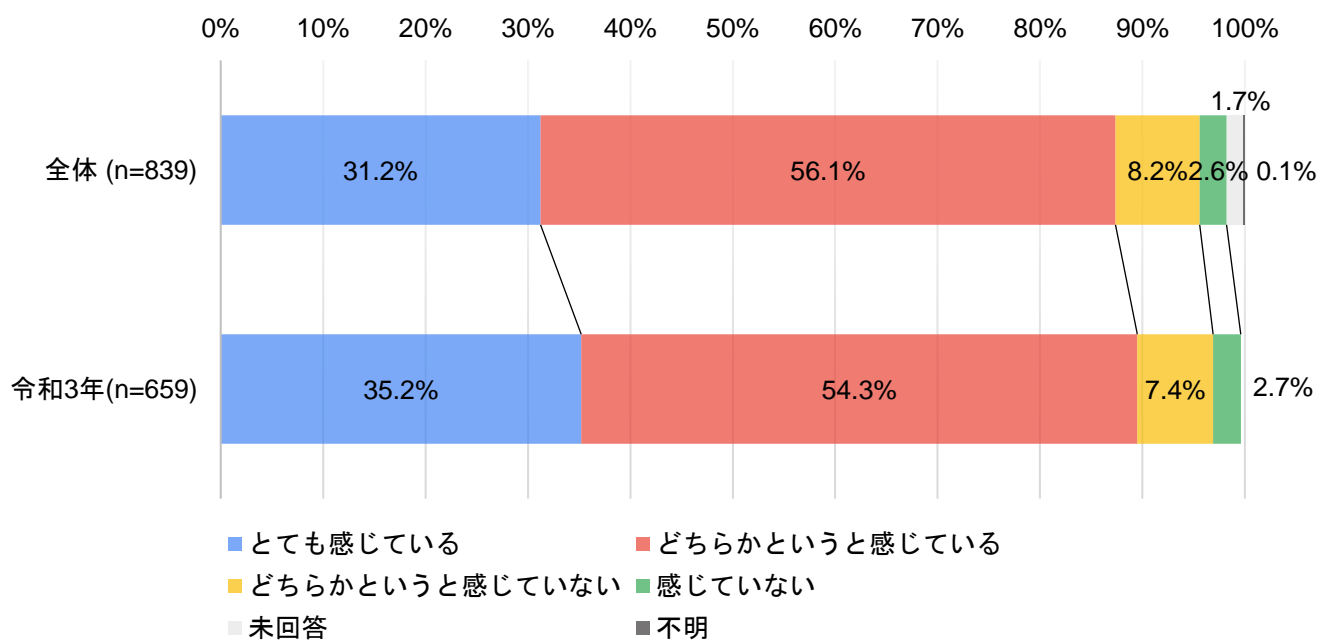
「どちらかというと感じている」(56.1%)と「とても感じている」(31.2%)で合わせて87.3%が感じていると答えた。「どちらかというと感じていない」(8.2%)と「感じていない」(2.6%)で合わせて10.8%が感じていないと答えた。

過去調査(令和3年)と比較すると、年代別では、60代の「とても感じている」が26.1%から9.4ポイント増加し、35.5%となった。

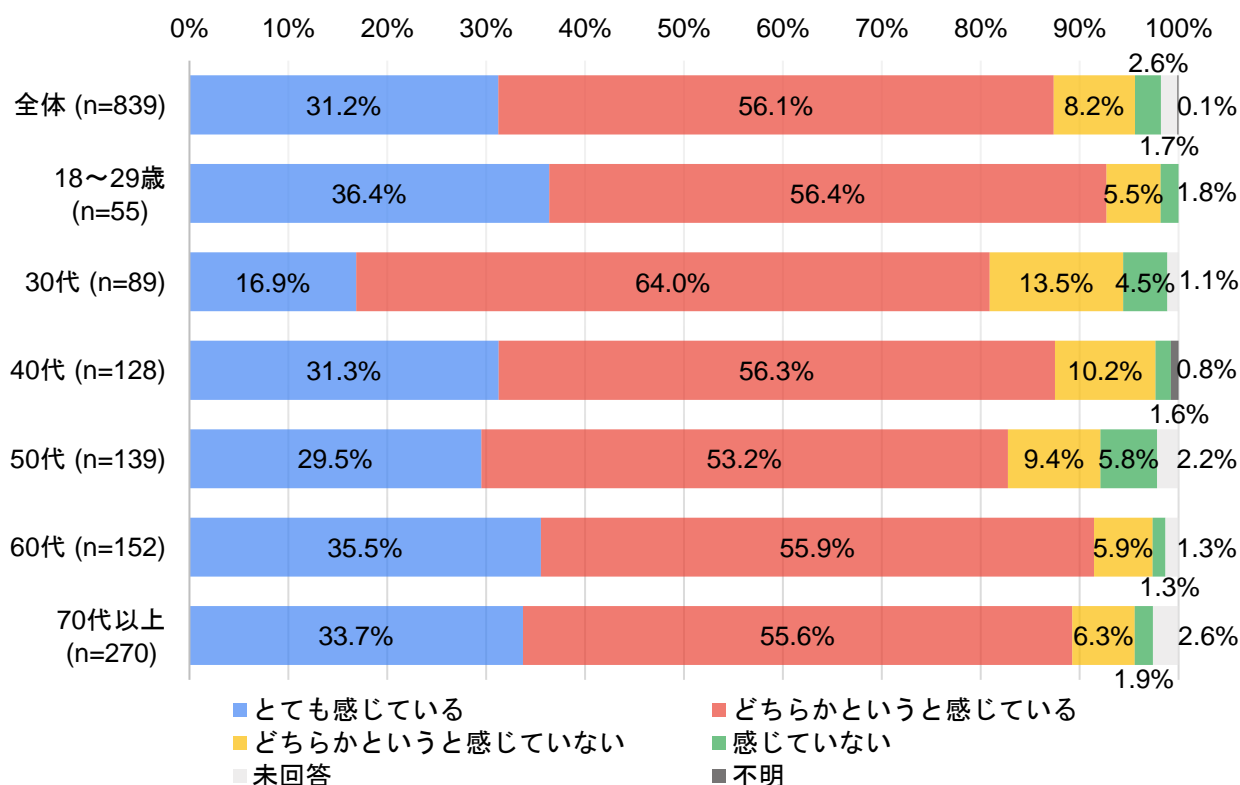
図表 34 安曇野市への愛着



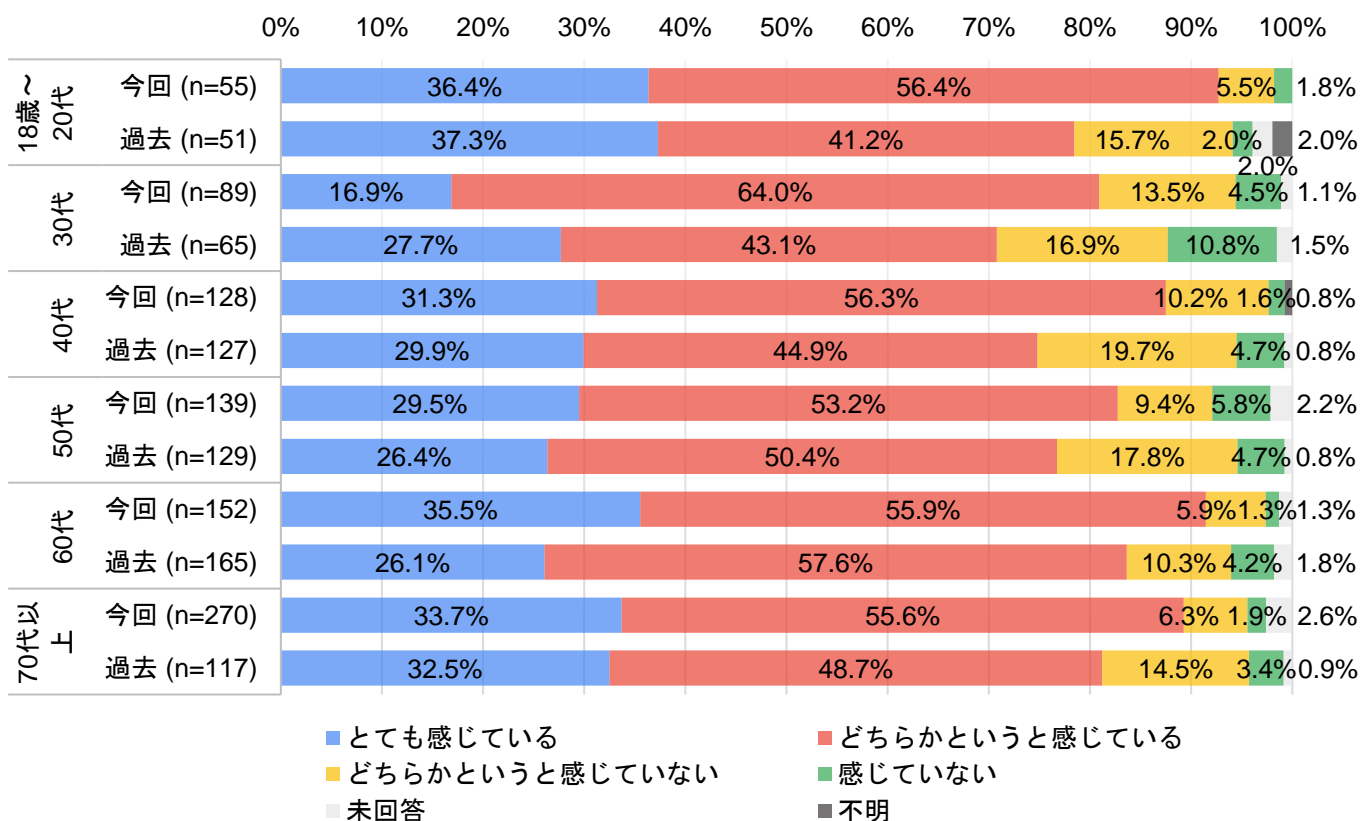
図表 35 【過去比較】安曇野市への愛着



図表 36 【年代別】安曇野市への愛着

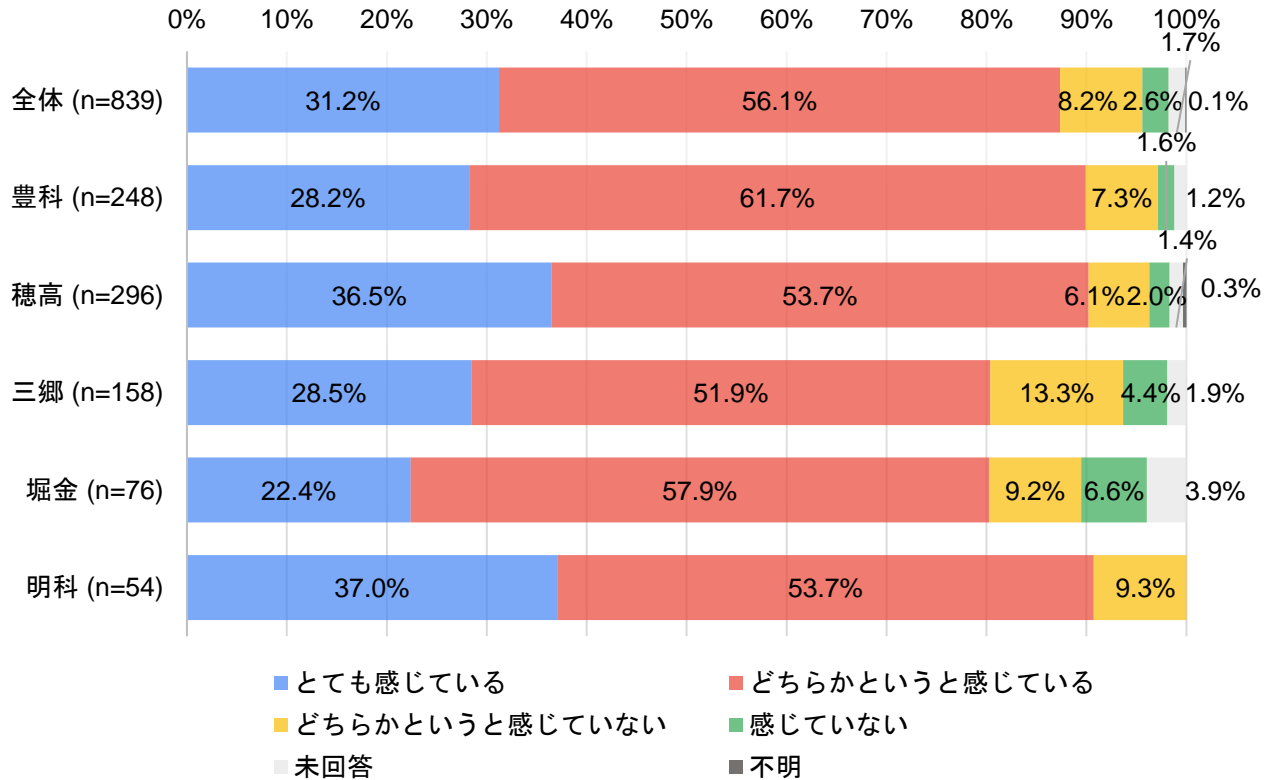


図表 37 【年代別過去比較】安曇野市への愛着

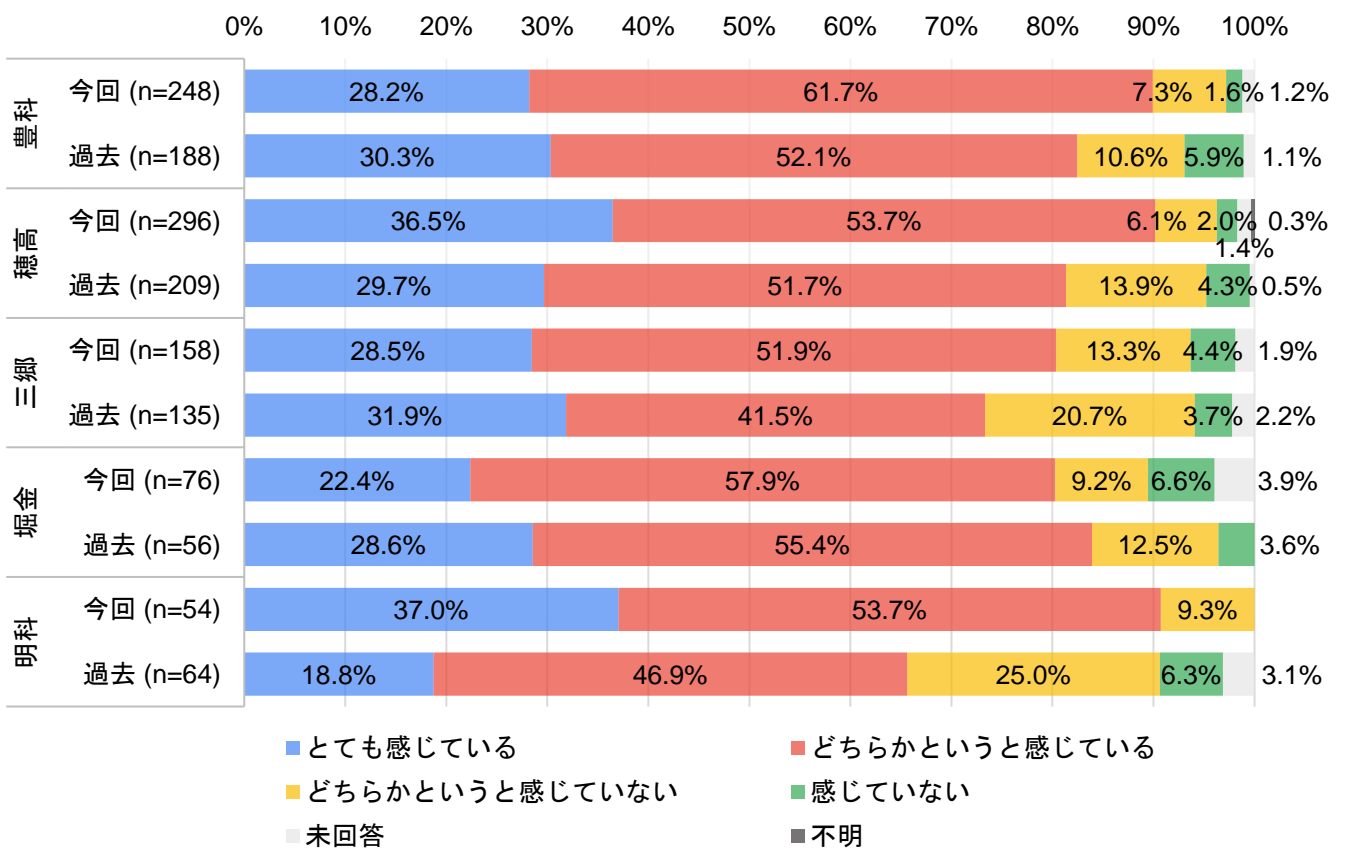


居住地区別では、「どちらかというと感じていない」は三郷地区（13.3%）が高かった。
 過去調査（令和3年）と比較すると、明科地区の「とても感じている」が18.8%から18.2ポイント増加し、37.0%となった。

図表 38 【居住地区別】安曇野市への愛着



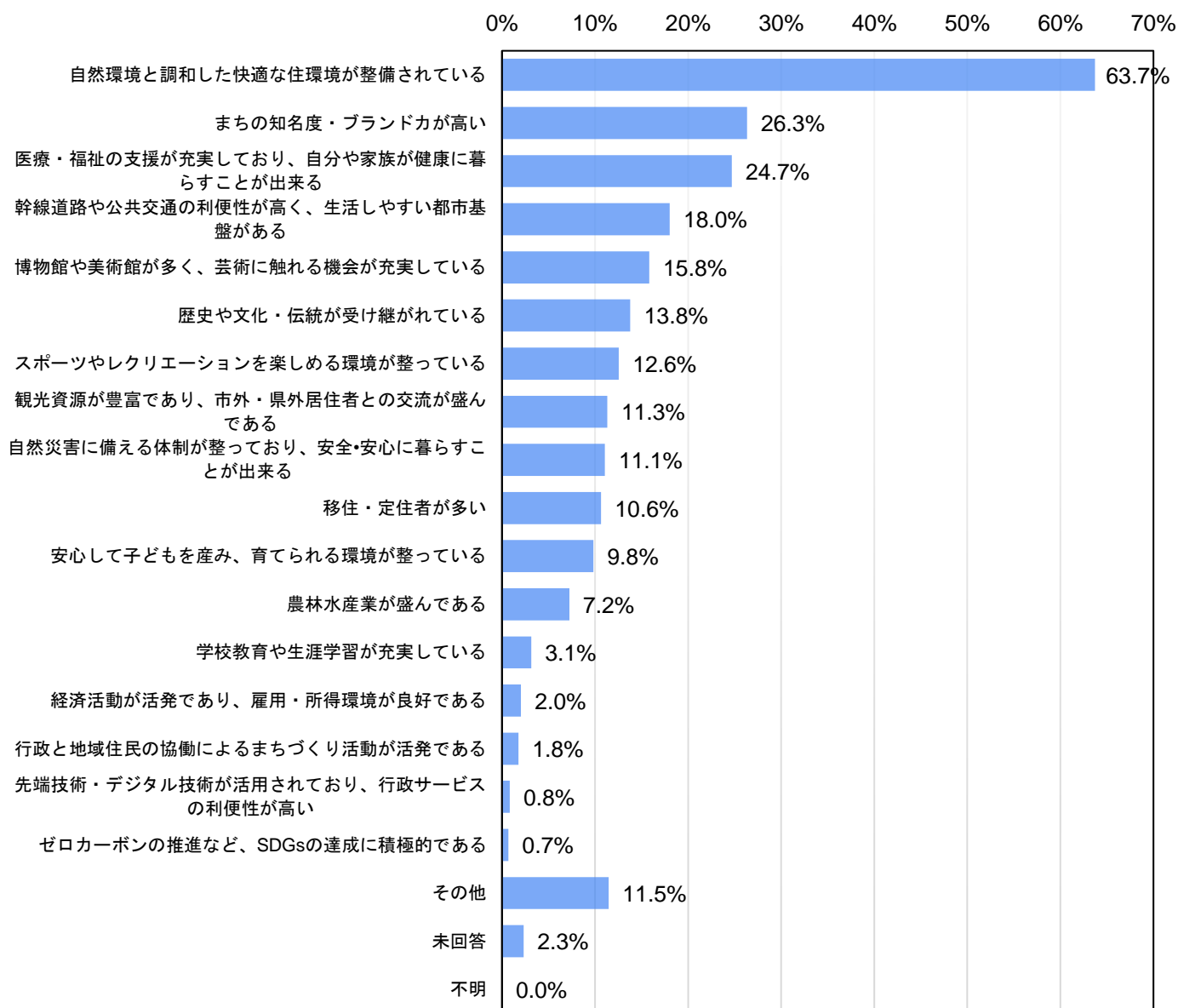
図表 39 【居住地区別過去比較】安曇野市への愛着



(1) 問5で「1. とても感じている」または「2. どちらかというと感じている」と回答した方のみご回答ください。安曇野市に愛着を感じる理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「とても感じている」または「どちらかというと感じている」と回答した方に聞いたところ、「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」(63.7%)が最も高く、次いで「まちの知名度・ブランド力が高い」(26.3%)、「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る」(24.7%)の順となった。

図表 40 安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）



(n=733)

年代別では、すべての年代で「自然環境と調和した快適な住環境が整備されている」が高かった。30代～50代は「安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている」が高かった。70代以上では「医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る」(39.8%)が高かった。

図表 41【年代別】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）

	全体 (n=733)	18～29歳 (n=51)	30代 (n=72)	40代 (n=112)	50代 (n=115)	60代 (n=139)	70代以上 (n=241)	未回答 (n=2)	不明 (n=1)
自然環境と調和した快適な住環境が整備されている	63.7%	66.7%	65.3%	67.9%	65.2%	61.9%	61.4%	50.0%	0.0%
まちの知名度・ブランドカが高い	26.3%	7.8%	29.2%	29.5%	34.8%	25.9%	24.5%	0.0%	0.0%
医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る	24.7%	3.9%	15.3%	14.3%	14.8%	27.3%	39.8%	50.0%	0.0%
幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある	18.0%	9.8%	8.3%	13.4%	20.0%	23.0%	21.2%	0.0%	0.0%
博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している	15.8%	7.8%	9.7%	8.0%	11.3%	11.5%	27.0%	100.0%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれている	13.8%	7.8%	8.3%	6.3%	13.9%	15.1%	18.7%	100.0%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている	12.6%	5.9%	8.3%	13.4%	9.6%	12.2%	16.6%	0.0%	0.0%
観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである	11.3%	3.9%	11.1%	13.4%	12.2%	6.5%	14.5%	0.0%	0.0%
自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことが出来る	11.1%	9.8%	4.2%	6.3%	4.3%	13.7%	17.4%	0.0%	0.0%
移住・定住者が多い	10.6%	5.9%	12.5%	15.2%	7.8%	10.1%	10.8%	0.0%	0.0%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている	9.8%	11.8%	23.6%	15.2%	9.6%	7.9%	3.7%	50.0%	0.0%
農林水産業が盛んである	7.2%	7.8%	13.9%	7.1%	5.2%	5.8%	7.1%	0.0%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実している	3.1%	0.0%	2.8%	5.4%	0.0%	1.4%	5.4%	0.0%	0.0%
経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である	2.0%	2.0%	2.8%	2.7%	3.5%	0.0%	1.7%	50.0%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である	1.8%	2.0%	0.0%	0.9%	1.7%	2.2%	2.1%	50.0%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い	0.8%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.4%	0.8%	50.0%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である	0.7%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
その他	11.5%	7.8%	8.3%	13.4%	15.7%	15.1%	7.5%	50.0%	100.0%
未回答	2.3%	5.9%	1.4%	0.0%	0.0%	2.9%	3.7%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

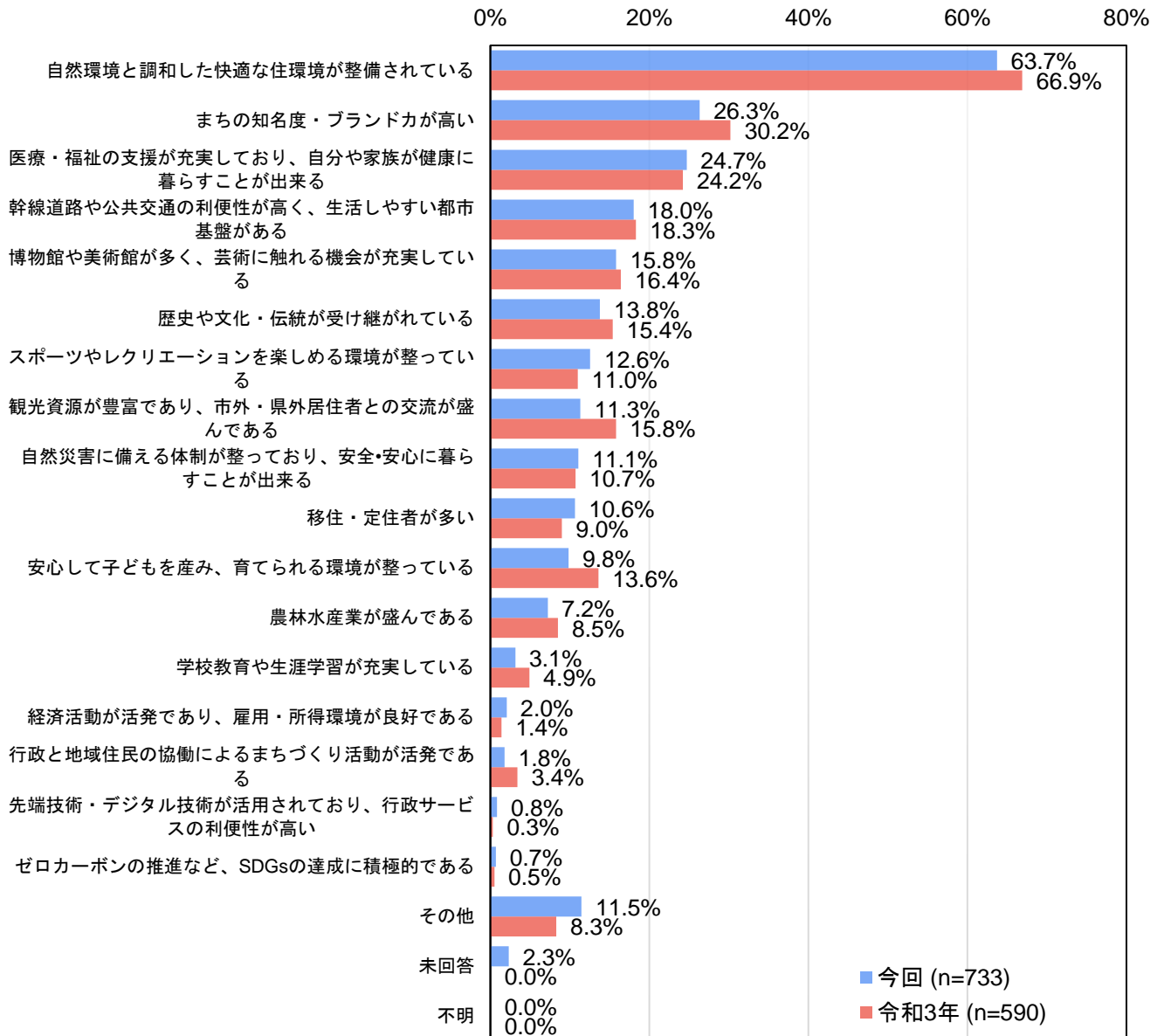
居住地区別では、「まちの知名度・ブランドカが高い」及び「移住・定住者が多い」は穂高地区で高く、それぞれ34.1%及び16.9%であった。

図表 42【居住地区別】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）

	全体 (n=733)	豊科 (n=223)	穂高 (n=267)	三郷 (n=127)	堀金 (n=61)	明科 (n=49)	未回答 (n=6)	不明 (n=0)
自然環境と調和した快適な住環境が整備されている	63.7%	59.6%	65.9%	66.1%	62.3%	69.4%	33.3%	0.0%
まちの知名度・ブランドカが高い	26.3%	21.1%	34.1%	23.6%	24.6%	18.4%	16.7%	0.0%
医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことができる	24.7%	21.1%	30.0%	22.0%	14.8%	34.7%	0.0%	0.0%
幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある	18.0%	21.5%	14.6%	22.0%	11.5%	16.3%	33.3%	0.0%
博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している	15.8%	16.1%	18.0%	12.6%	14.8%	14.3%	0.0%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれている	13.8%	10.8%	14.6%	14.2%	18.0%	18.4%	0.0%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている	12.6%	14.8%	11.6%	13.4%	14.8%	4.1%	0.0%	0.0%
観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである	11.3%	9.9%	15.0%	11.0%	6.6%	4.1%	16.7%	0.0%
自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことができる	11.1%	9.9%	10.1%	15.7%	9.8%	12.2%	0.0%	0.0%
移住・定住者が多い	10.6%	4.5%	16.9%	10.2%	13.1%	4.1%	0.0%	0.0%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている	9.8%	11.2%	9.0%	10.2%	8.2%	10.2%	0.0%	0.0%
農林水産業が盛んである	7.2%	3.1%	10.5%	11.0%	4.9%	0.0%	16.7%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実している	3.1%	4.5%	1.9%	4.7%	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%
経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である	2.0%	2.7%	1.5%	3.1%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である	1.8%	2.2%	1.5%	0.8%	3.3%	2.0%	0.0%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い	0.8%	0.4%	0.7%	1.6%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である	0.7%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%	4.1%	0.0%	0.0%
その他	11.5%	12.6%	9.7%	11.8%	13.1%	12.2%	16.7%	0.0%
未回答	2.3%	3.6%	2.2%	0.8%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

過去調査（令和3年）と比較したところ、「スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている」は11.0%から1.6ポイント増加し、12.6%となり、「移住・定住者が多い」は9.0%から1.6%増加し、10.6%となった。「観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである」は15.8%から4.5ポイント減少し11.3%と、「安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている」は13.6%から3.8ポイント減少し、9.8%となった。

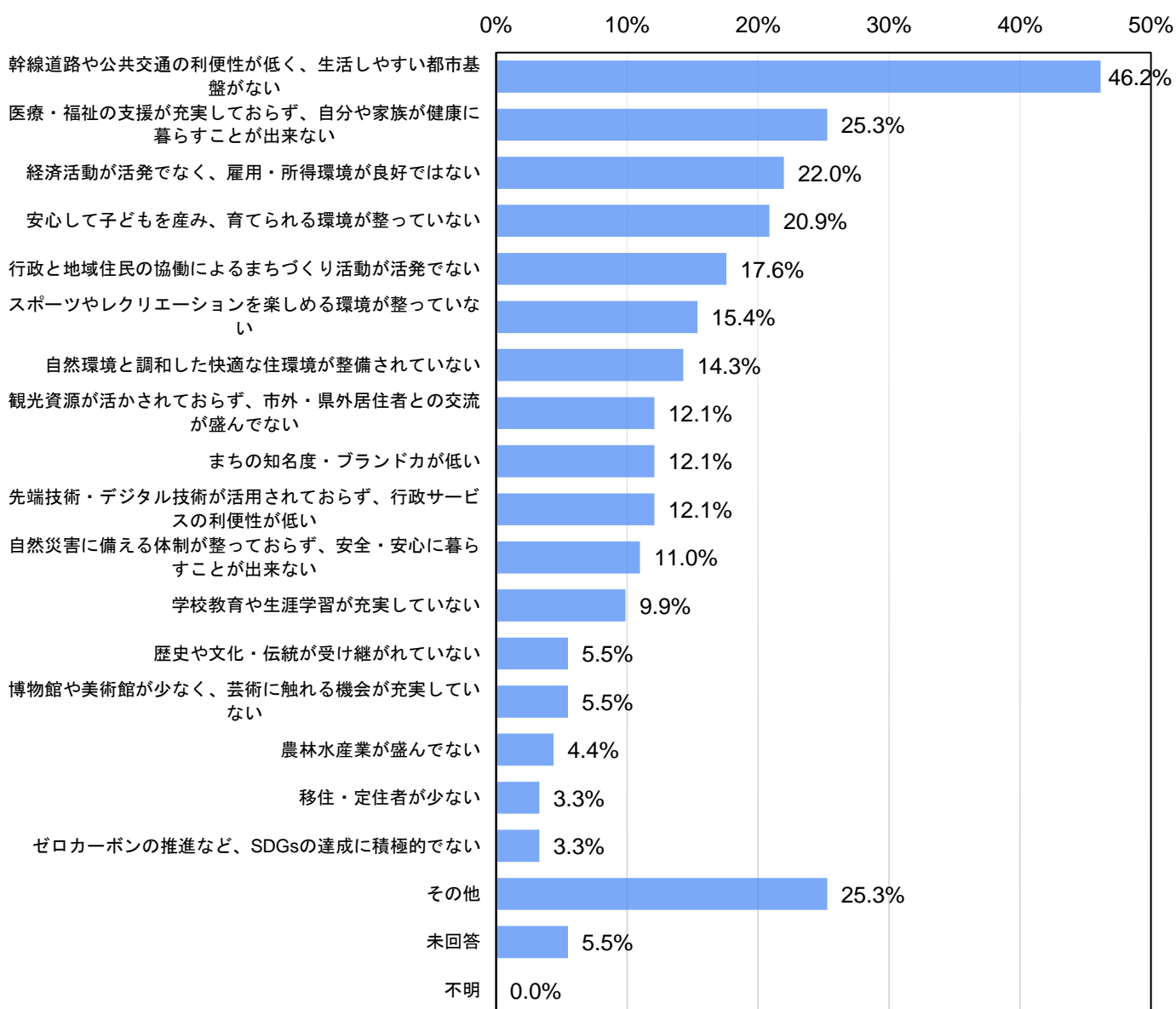
図表 43 【過去比較】安曇野市に愛着を感じる理由（“感じている”と回答した方を対象）



(1) 問5で「3. どちらかというと感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみご回答ください。安曇野市に愛着を感じない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「どちらかというと感じていない」または「感じていない」と回答した方に聞いたところ、「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」(46.2%) 最も高かった。以下、「医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない」(25.3%)、「経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない」(22.0%)、「安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない」(20.9%) など多岐にわたる理由が並んだ。

図表 44 安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）



(n=91)

年代別では、30代では「安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない」(50.0%)、「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」(25.0%)が高かった。60代では「博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない」(27.3%)が高かった。

図表 45【年代別】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）

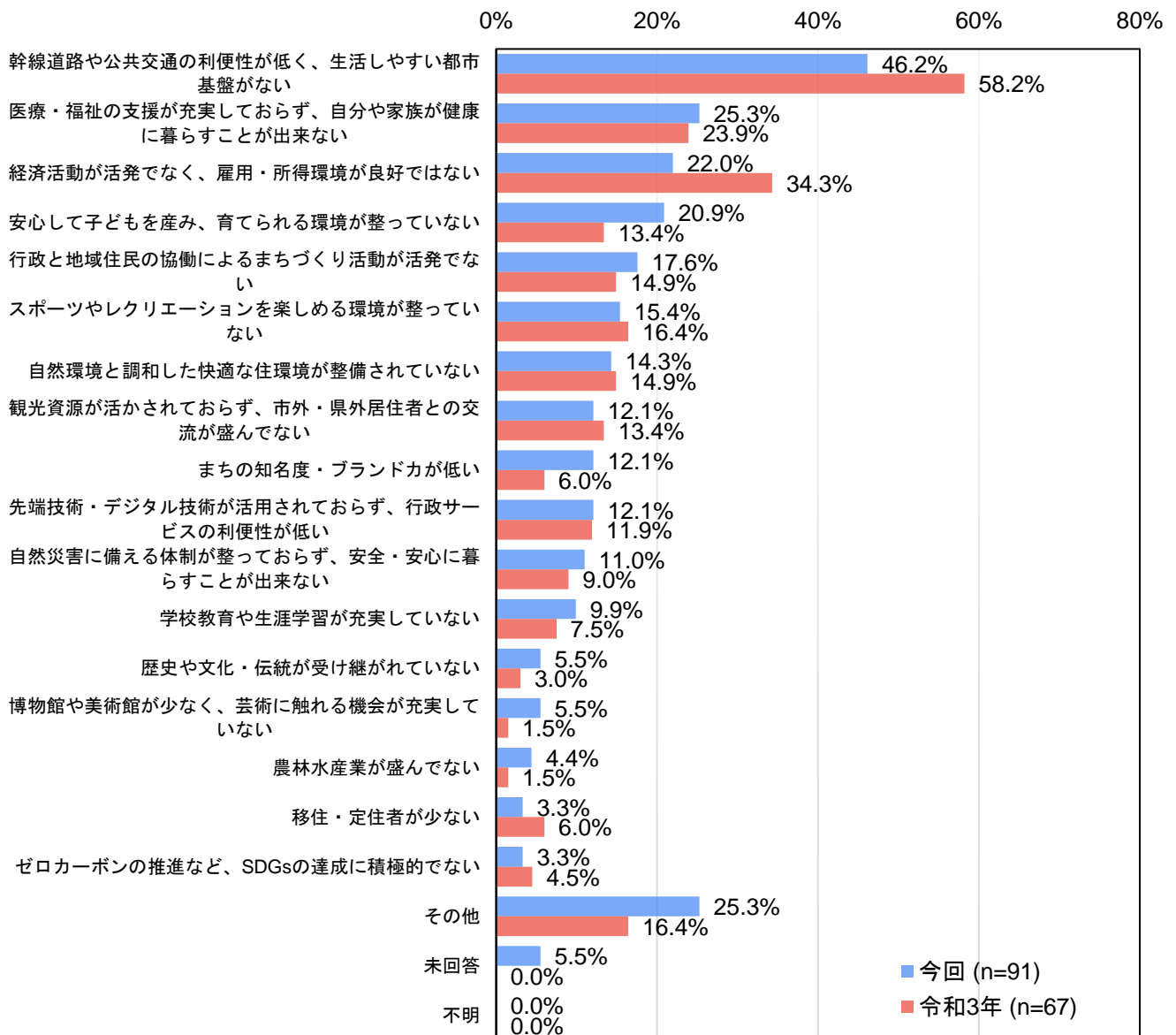
	全体 (n=91)	18～29歳 (n=4)	30代 (n=16)	40代 (n=15)	50代 (n=21)	60代 (n=11)	70代以上 (n=22)	未回答 (n=1)	不明 (n=1)
幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない	46.2%	50.0%	25.0%	46.7%	42.9%	54.5%	59.1%	0.0%	100.0%
医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない	25.3%	25.0%	18.8%	33.3%	9.5%	36.4%	36.4%	0.0%	0.0%
経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない	22.0%	0.0%	18.8%	13.3%	23.8%	36.4%	22.7%	0.0%	100.0%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない	20.9%	25.0%	50.0%	26.7%	14.3%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない	17.6%	0.0%	6.3%	20.0%	9.5%	27.3%	31.8%	0.0%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない	15.4%	0.0%	0.0%	13.3%	19.0%	27.3%	18.2%	0.0%	100.0%
自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない	14.3%	25.0%	0.0%	13.3%	14.3%	36.4%	13.6%	0.0%	0.0%
観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない	12.1%	0.0%	6.3%	6.7%	9.5%	0.0%	31.8%	0.0%	0.0%
まちの知名度・ブランド力が低い	12.1%	0.0%	12.5%	13.3%	4.8%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い	12.1%	0.0%	18.8%	20.0%	14.3%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%
自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない	11.0%	0.0%	0.0%	13.3%	4.8%	27.3%	18.2%	0.0%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実していない	9.9%	0.0%	12.5%	13.3%	4.8%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれていない	5.5%	0.0%	0.0%	6.7%	4.8%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%
博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない	5.5%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	27.3%	4.5%	0.0%	0.0%
農林水産業が盛んでない	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	18.2%	4.5%	0.0%	0.0%
移住・定住者が少ない	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%
その他	25.3%	0.0%	50.0%	13.3%	42.9%	9.1%	13.6%	0.0%	0.0%
未回答	5.5%	0.0%	0.0%	6.7%	4.8%	0.0%	9.1%	100.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 46【居住地区別】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）

	全体 (n=91)	豊科 (n=22)	穂高 (n=24)	三郷 (n=28)	堀金 (n=12)	明科 (n=5)	未回答 (n=0)	不明 (n=0)
幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない	46.2%	59.1%	54.2%	42.9%	25.0%	20.0%	0.0%	0.0%
医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない	25.3%	22.7%	20.8%	25.0%	25.0%	60.0%	0.0%	0.0%
経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない	22.0%	18.2%	20.8%	25.0%	8.3%	60.0%	0.0%	0.0%
安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない	20.9%	31.8%	16.7%	21.4%	8.3%	20.0%	0.0%	0.0%
行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない	17.6%	27.3%	12.5%	17.9%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない	15.4%	22.7%	29.2%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない	14.3%	9.1%	16.7%	17.9%	8.3%	20.0%	0.0%	0.0%
観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない	12.1%	18.2%	16.7%	7.1%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
まちの知名度・ブランド力が低い	12.1%	13.6%	8.3%	14.3%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い	12.1%	13.6%	8.3%	17.9%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない	11.0%	9.1%	20.8%	3.6%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
学校教育や生涯学習が充実していない	9.9%	18.2%	12.5%	3.6%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
歴史や文化・伝統が受け継がれていない	5.5%	4.5%	8.3%	3.6%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない	5.5%	4.5%	4.2%	0.0%	16.7%	20.0%	0.0%	0.0%
農林水産業が盛んでない	4.4%	4.5%	0.0%	3.6%	8.3%	20.0%	0.0%	0.0%
移住・定住者が少ない	3.3%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない	3.3%	4.5%	4.2%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
その他	25.3%	31.8%	25.0%	25.0%	16.7%	20.0%	0.0%	0.0%
未回答	5.5%	0.0%	8.3%	3.6%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない」が34.3%から12.3ポイント減少し、22.0%、「幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない」が58.2%から12ポイント減少し、46.2%となった。

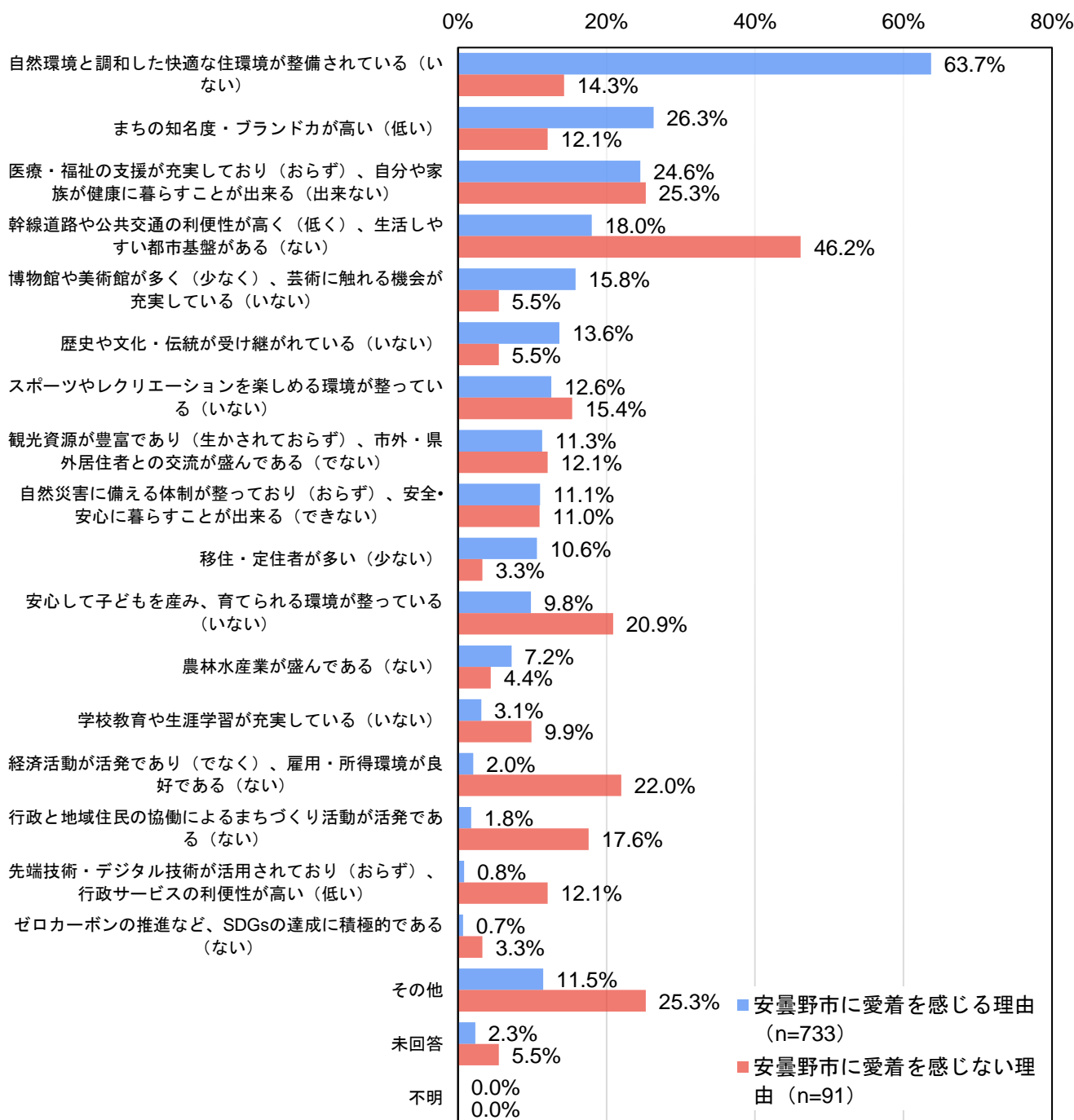
図表 47 【過去比較】安曇野市に愛着を感じない理由（“感じていない”と回答した方を対象）



安曇野市に「愛着を感じる理由」と「愛着を感じない理由」の比較

「愛着を感じる理由」と「愛着を感じない理由」を比較すると、下図のようになった。

図表 48 愛着を感じている理由・愛着を感じていない理由の比較



3. 安曇野市の行政に関すること

全般的な施策について

問6 以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

- ・市の17分野に関する53の施策について、「現状の満足度」と「今後の重要度」を調査した。
- ・本調査報告書では全53施策について図表49の通り略称を用いて表記する。

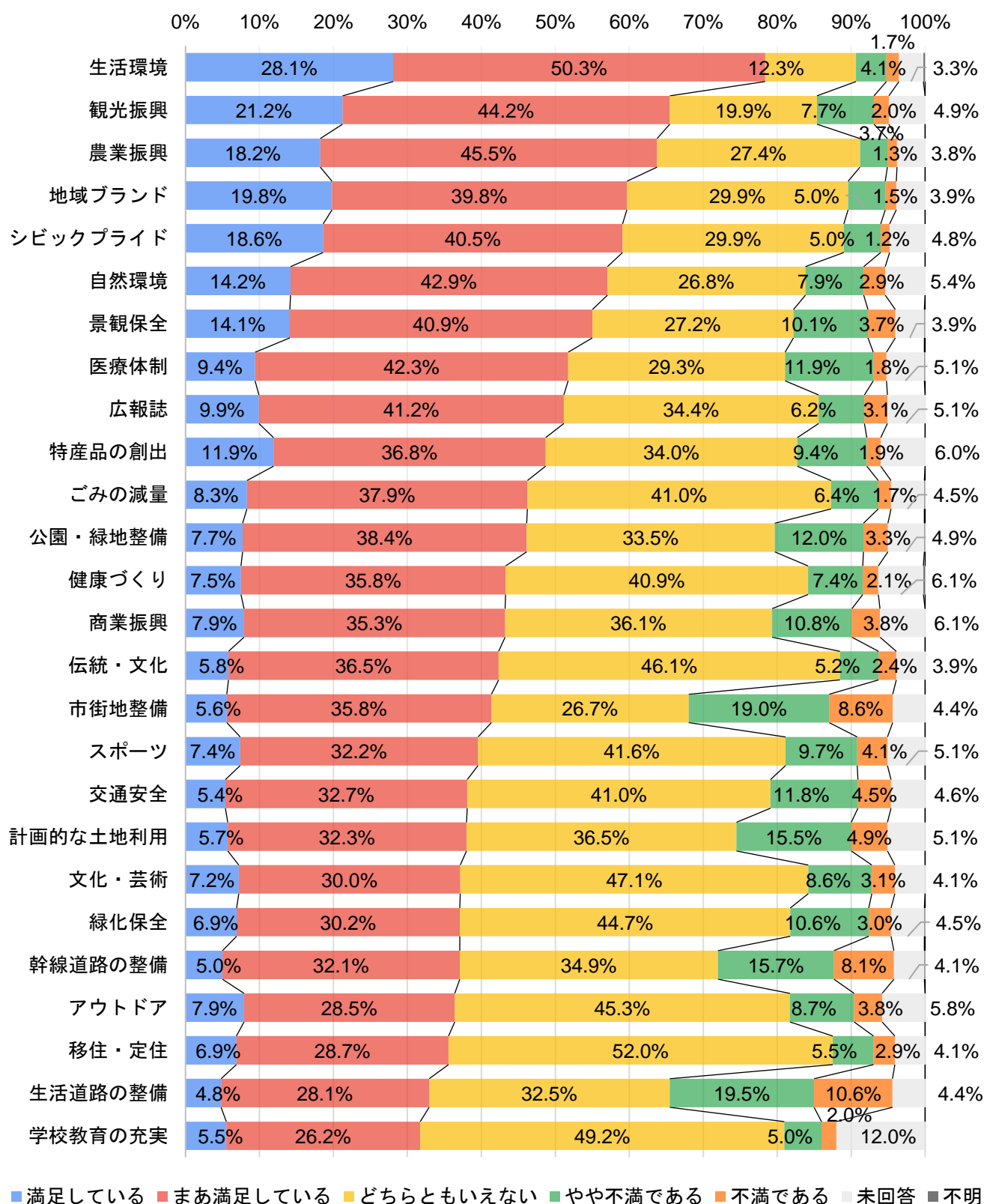
図表49 施策一覧及び施策の略称

分野	施策名	施策名(略称)
自然環境	河川、山林などの自然環境が保全されている	自然環境
	きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	生活環境
	太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	自然エネルギーの普及
	ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	ごみの減量
医療・福祉・人権	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	健康づくり
	医療体制が整っている	医療体制
	地域において、支え合える関係が築けている	地域福祉
	障がい者が安心して生活していける地域である	障がい者福祉
	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	高齢者福祉
	高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	介護支援
	生活に困ったときに相談できる体制が整っている	生活困窮者支援
	性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	男女共同参画
	互いの個性や立場を尊重している地域である	多様性の尊重
性的マイノリティの方への配慮がなされている地域である	性的マイノリティ	
子育て支援	出産、子育てしやすい地域である	出産・子育て支援
スポーツ	スポーツを楽しめる環境が整っている	スポーツ
	アウトドアを楽しめる環境が整っている	アウトドア
教育・学習	小中学校での教育が充実している	学校教育の充実
	小中学校と地域・家庭の連携が図れている	学校と地域・家庭の連携
	年代に関わらず、学びの機会が提供されている	生涯学習
地域の伝統	地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	伝統・文化
文化・芸術	文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	文化・芸術
防災・防犯	地域において、地震や台風などへの備えができています	防災対策
	交通安全の取り組みが行われている	交通安全
	防犯対策が行われている	防犯対策
	特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	消費者保護
都市基盤	市街地は道路等が整備されており、快適である	市街地整備
	周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	計画的な土地利用
	安曇野らしい景観が保全されている	景観保全
	緑化の保全、普及が進められている	緑化保全
	公園、緑地の整備・維持管理がされている	公園・緑地整備
	国道、県道などの幹線道路が整備されている	幹線道路の整備
	生活道路である市道が整備されている	生活道路の整備
公共交通網が整備されている	公共交通網	
農林水産業	地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	農業振興
経済活動	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	商業振興
	工業・製造業が盛んな地域である	工業振興
	働きやすい地域である	労働・雇用環境
観光	安曇野市は魅力的な観光地である	観光振興
	安曇野らしい産品が生み出されている	特産品の創出
地域ブランド	全国的に「安曇野市」の地名が知られている	地域ブランド
	市外在住者に誇ることのできる地域である	シビックプライド
移住・定住	移住者、定住者が多く活気のあるまちである	移住・定住
協働・コミュニティ活動	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	コミュニティ活動
	NPO、ボランティア活動が行われている	ボランティア活動
	まちづくりへの市民参画が進んでいる	市民参画
デジタル社会・行政サービス	情報化社会に対応した基盤が整備されている	地域の情報化
	行政運営の効率化が図られている	効率的な行政運営
	市政に関する情報が入手しやすい	市政情報の入手
	広報紙「広報あづみの」が充実している	広報誌
	市公式ホームページ、SNSが充実している	市のHP・SNS
SDGs	市のラジオ番組(あづみ野エフエム)が充実している	ラジオ広報
	SDGsの達成に向けて取り組んでいる地域である	SDGs達成への取組

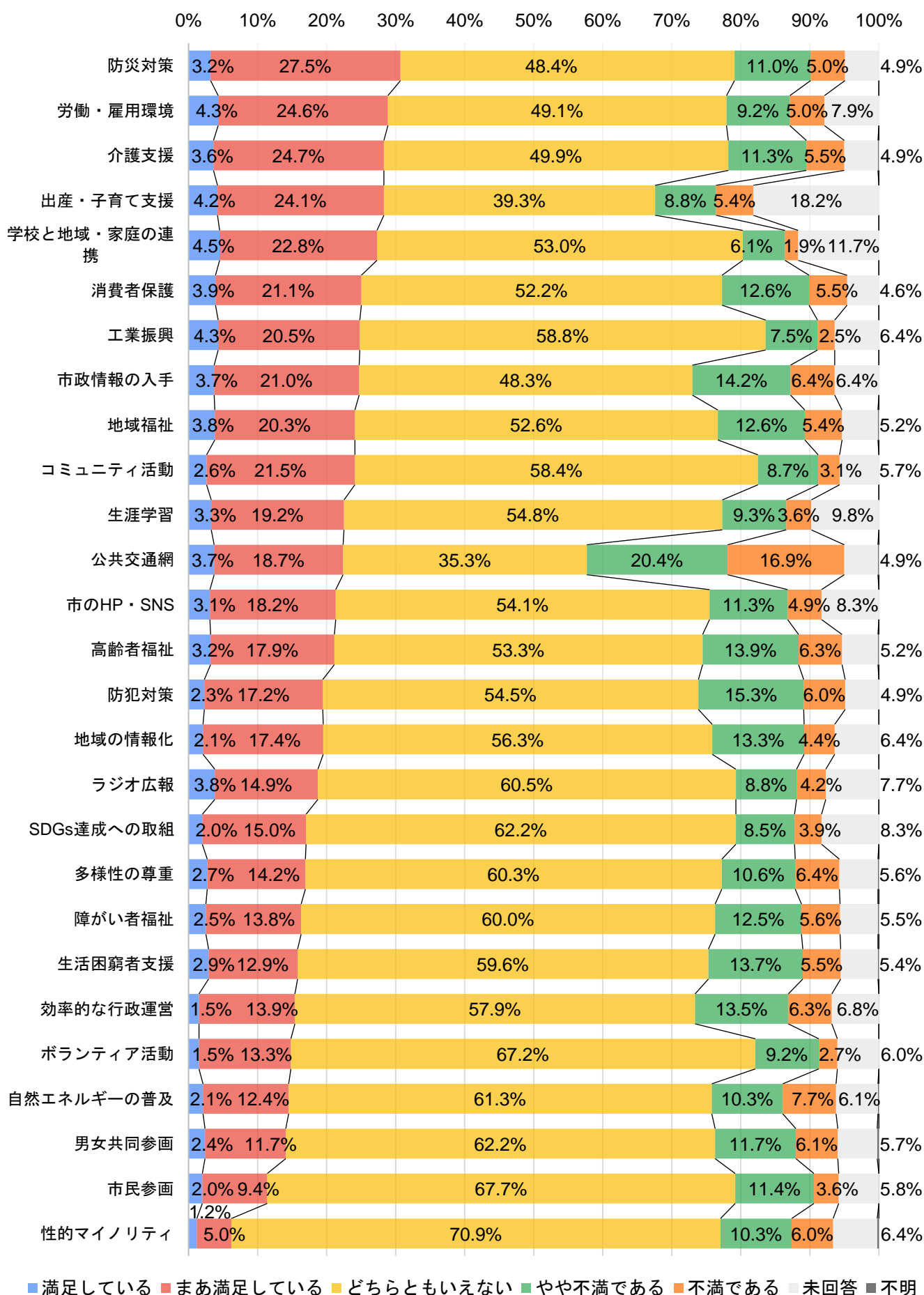
① 市の施策に対する現状の満足度

「満足している」「まあ満足している」を合わせた割合の上位3項目は「生活環境」(78.4%)、「観光振興」(65.4%)、「農業振興」(63.7%)、下位3項目は「性的マイノリティ」(6.2%)、「市民参画」(11.4%)、「男女共同参画」(14.1%)となった。「やや不満である」「不満である」を合わせた割合の上位3項目は「公共交通網」(37.3%)、「生活道路の整備」(30.1%)、「市街地整備」(27.6%)、下位3項目は「農業振興」(5.0%)、「生活環境」(5.8%)、「シビックプライド」(6.2%)であった。

図表 50 市の施策に対する現状の満足度（満足上位 26 項目）



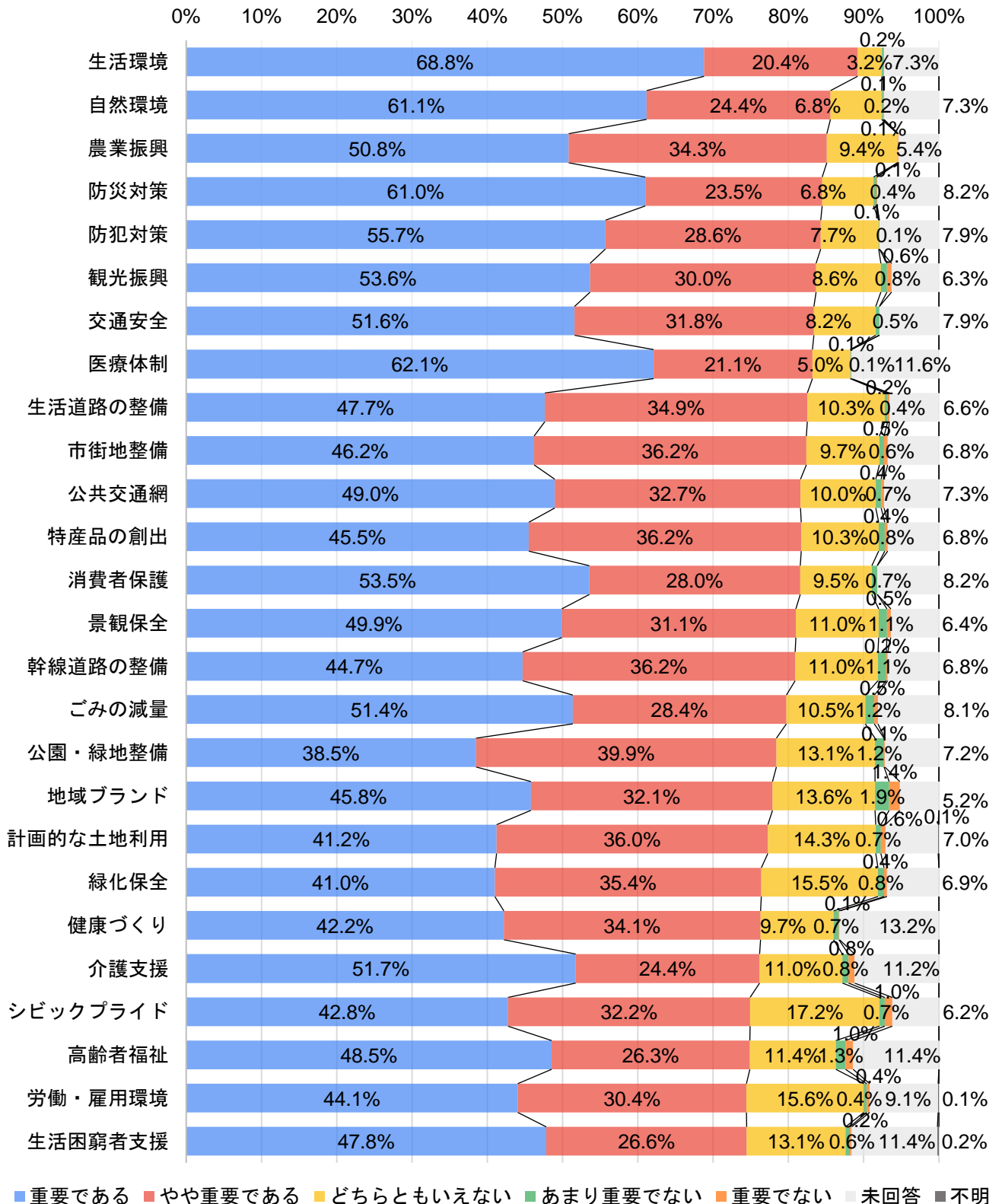
図表 51 市の施策に対する現状の満足度（満足下位 27 項目）



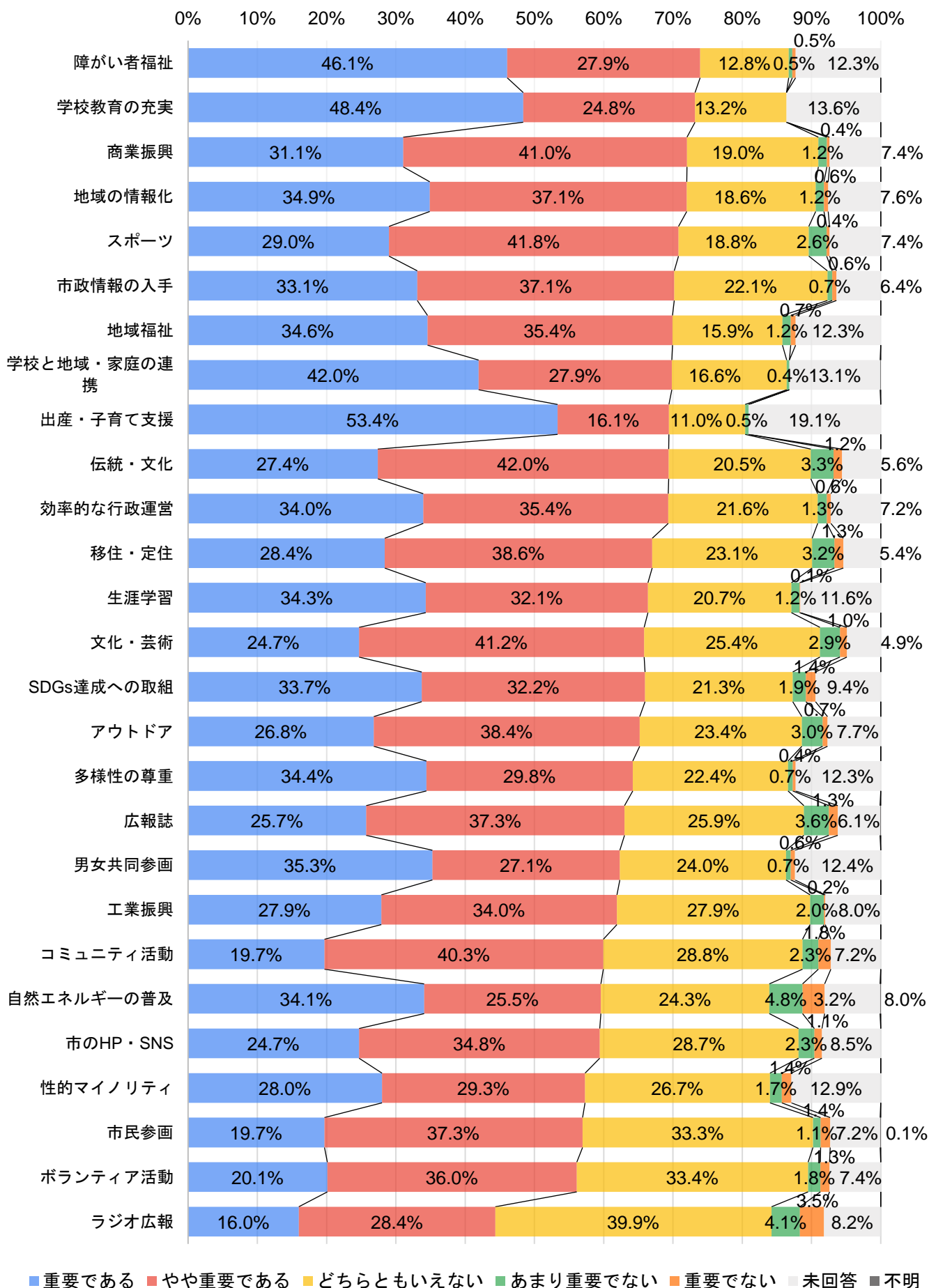
② 市の施策に対する現状の重要度

「重要である」「やや重要である」を合わせた割合の上位3項目は「生活環境」(89.2%)、「自然環境」(85.5%)、「農業振興」(85.1%)、下位3項目は「ラジオ広報」(44.4%)、「ボランティア活動」(56.1%)、「市民参画」(57.0%)となった。「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた割合の上位3項目は「自然エネルギーの普及」(8.0%)、「ラジオ広報」(7.6%)、「広報誌」(4.9%)、下位3項目は「学校教育の充実」(0.0%)、「農業振興」(0.1%)、「防犯対策」(0.1%)であった。

図表 52 市の施策に対する現状の重要度（重要上位 26 項目）



図表 53 市の施策に対する現状の重要度（重要下位 27 項目）



③ 「現状の満足度」と「今後の重要度」のマトリクス分析について

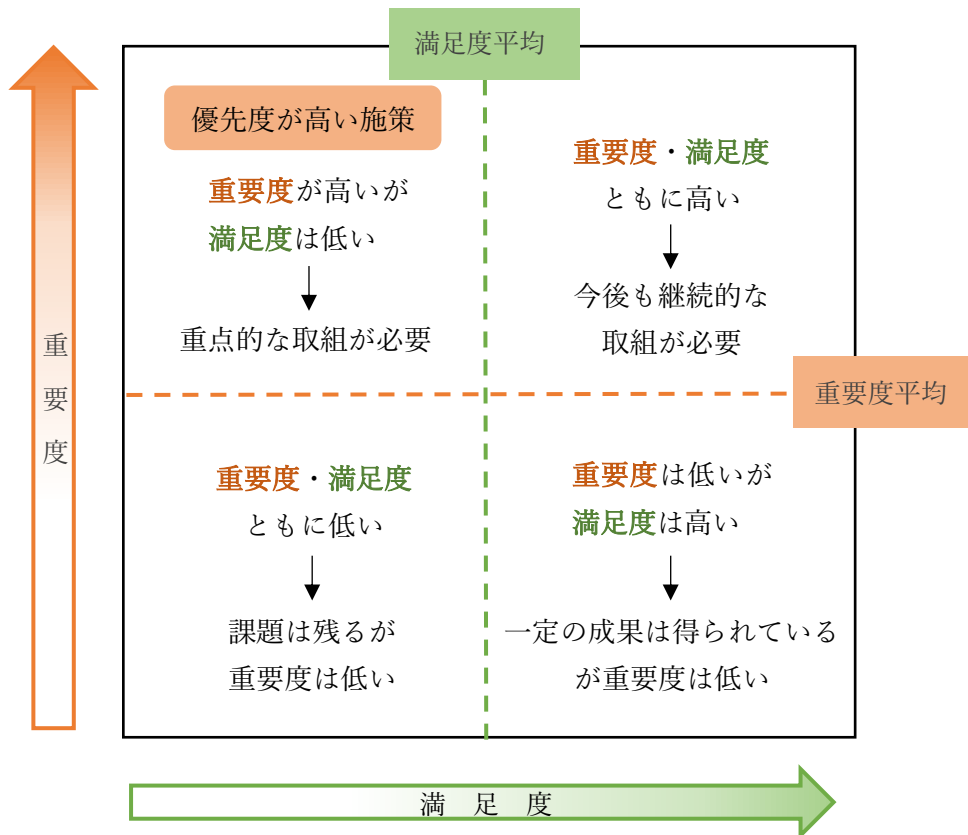
● マトリクス作成方法

- ・市の施策 17 分野 53 項目について、「現状の満足度」（以下、「満足度」という）と「今後の重要度」（以下、「重要度」という）の各選択肢に以下の通り点数を設定し、その点数の総和を回答数で除すことで施策ごとの「満足度」、「重要度」を算出した。（ここで用いる回答数は、「どちらともいえない」および「無回答」を除く。）
- ・全 53 施策の満足度・重要度それぞれの平均値によって 4 象限に区分されるマトリクス上に、各施策の結果をプロットした。

満足度	満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である
重要度	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
点数	4	3	2	1

● マトリクスの見方

- ・ **満足度**【横方向】：市の各施策に対する、住民の現状での満足度。高いほど（右にあるほど）、住民からの評価が高い。
- ・ **重要度**【縦方向】：住民が考える各施策の重要度。高いほど（上にあるほど）、今後重点的に取り組むことを望む住民が多い。



1. 全体

全 53 施策中 16 施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。

図表 54 マトリクス分析結果一覧

分野	施策名 (略称)	満足度	重要度	重要度：高	重要度：高	重要度：低	重要度：低
				満足度：高	満足度：低	満足度：低	満足度：高
自然環境	自然環境	3.01	3.71	●			
	生活環境	3.25	3.76	●			
	自然エネルギーの普及	2.27	3.34			●	
	ごみの減量	2.97	3.60	●			
医療・福祉・人権	健康づくり	2.92	3.53	●			
	医療体制	2.91	3.74	●			
	地域福祉	2.54	3.44			●	
	障がい者福祉	2.38	3.60		●		
	高齢者福祉	2.44	3.59		●		
	介護支援	2.58	3.63		●		
	生活困窮者支援	2.38	3.62		●		
	男女共同参画	2.33	3.52		●		
	多様性の尊重	2.39	3.50		●		
	性的マイノリティ	2.06	3.39			●	
育て支援	出産・子育て支援	2.64	3.76		●		
スポーツ	スポーツ	2.81	3.35				●
	アウトドア	2.83	3.33				●
教育・学習	学校教育の充実	2.91	3.66	●			
	学校と地域・家庭の連携	2.85	3.59	●			
	生涯学習	2.63	3.49			●	
域の伝統 化・芸術	伝統・文化	2.92	3.29				●
	文化・芸術	2.84	3.29				●
防災・防犯	防災対策	2.62	3.71		●		
	交通安全	2.71	3.61	●			
	防犯対策	2.39	3.66		●		
	消費者保護	2.54	3.64		●		
都市基盤	市街地整備	2.56	3.53		●		
	計画的な土地利用	2.67	3.50		●		
	景観保全	2.95	3.58	●			
	緑化保全	2.81	3.51	●			
	公園・緑地整備	2.82	3.46				●
	幹線道路の整備	2.56	3.52		●		
	生活道路の整備	2.43	3.56		●		
公共交通網	2.15	3.57		●			
林水産業	農業振興	3.17	3.59	●			
経済活動	商業振興	2.82	3.40				●
	工業振興	2.76	3.40				●
	労働・雇用環境	2.65	3.57		●		
観光	観光振興	3.13	3.61	●			
	特産品の創出	2.98	3.53	●			
地域ブランド	地域ブランド	3.18	3.51	●			
	シビックプライド	3.17	3.52	●			
住・定住	移住・定住	2.90	3.32				●
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動	2.66	3.22			●	
	ボランティア活動	2.51	3.27			●	
	市民参画	2.37	3.26			●	
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.46	3.44			●	
	効率的な行政運営	2.30	3.44			●	
	市政情報の入手	2.48	3.44			●	
	広報誌	2.96	3.29				●
	市のHP・SNS	2.52	3.32			●	
	ラジオ広報	2.58	3.10			●	
SDGs	SDGs達成への取組	2.51	3.42			●	
	平均値	2.68	3.49				

県内 19 市のうち、令和 4 年度以降の市民アンケート調査にて「満足度」・「重要度」のマトリクス分析を実施している 4 市について、その結果を見てみると、「医療・福祉」や道路整備や公共交通の充実などを含む「都市基盤」や「就労・雇用」に関する施策が「重要度が高いが満足度は低い施策等」として分類されており、複数の自治体で共通する課題となっている。

図表 56 県内他市との比較（重要度が高いが満足度は低い施策等）

佐久市（令和 4 年度アンケート結果）

50 項目中 10 項目が該当	
1	障がい者福祉
2	環境保全
3	医療保険・国民年金
4	ひとり親家庭支援・低所得者福祉
5	地域交通ネットワーク
6	農業
7	地球温暖化対策
8	就労・雇用
9	商業・サービス業
10	少子化対策

諏訪市（令和 4 年度アンケート結果）

39 項目中 7 項目が該当	
1	子育て支援
2	地域福祉
3	障がい者福祉
4	再生可能エネルギー
5	道路整備・交通安全
6	公共交通
7	財政・財務

千曲市（令和 4 年度アンケート結果）

32 項目中 5 項目が該当	
1	都市基盤
2	産業振興
3	雇用
4	行政経営
5	広域行政

岡谷市（令和 4 年度アンケート結果）

31 項目中 4 項目が該当	
1	働く環境の充実
2	幹線道路と交通網の整備
3	商業・サービス業の振興
4	工業の振興

（注）重要度および満足度の算出方法等がそれぞれ異なるため自治体間の単純比較には注意が必要。

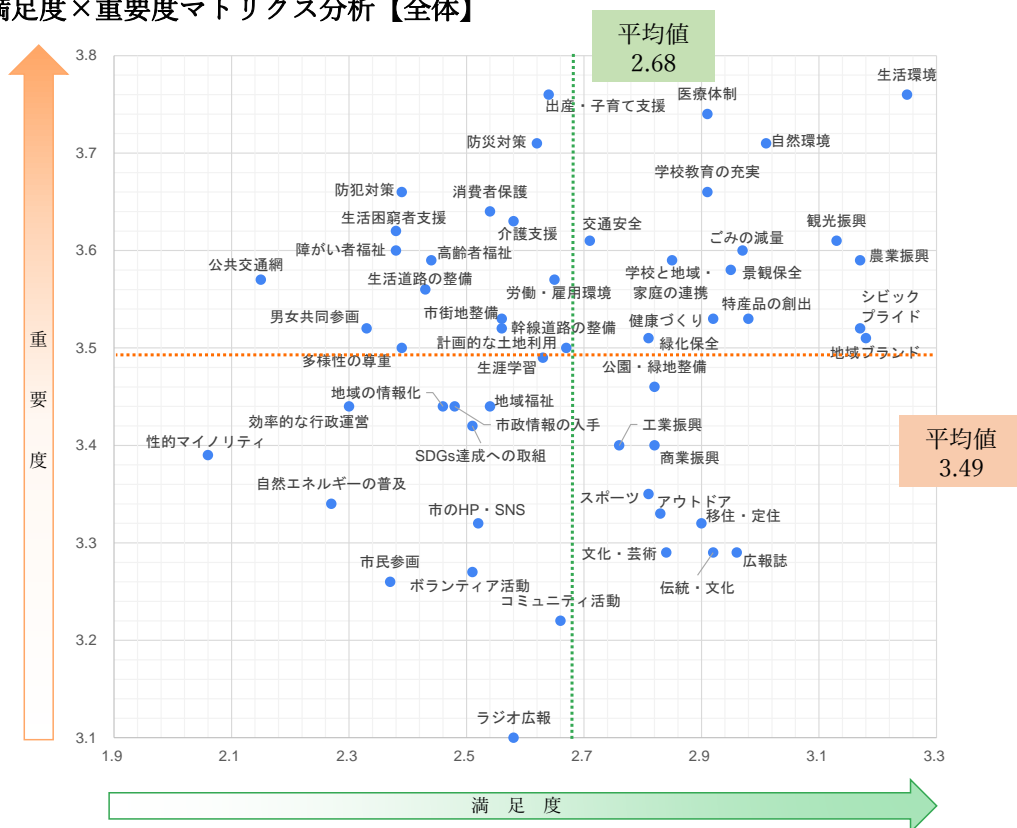
(i) 満足度×重要度マトリクス分析【全体】

全体では、満足度、重要度ともに生活環境が最も高い結果となった。

満足度は「生活環境」(3.25)が最も高く、次いで「地域ブランド」(3.18)、「農業振興」、「シビックプライド」(3.17)の順となった。一方で、「性的マイノリティ」(2.06)、「公共交通網」(2.15)、「自然エネルギーの普及」(2.27)が低かった。

重要度は、「生活環境」、「出産・子育て支援」(3.76)が最も高く、次いで「医療体制」(3.74)、「自然環境」、「防災対策」(3.71)の順となった。一方で、「ラジオ広報」(3.10)、「コミュニティ活動」(3.22)、「市民参画」(3.26)が低かった。

図表 55 満足度×重要度マトリクス分析【全体】



図表 56 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【全体】

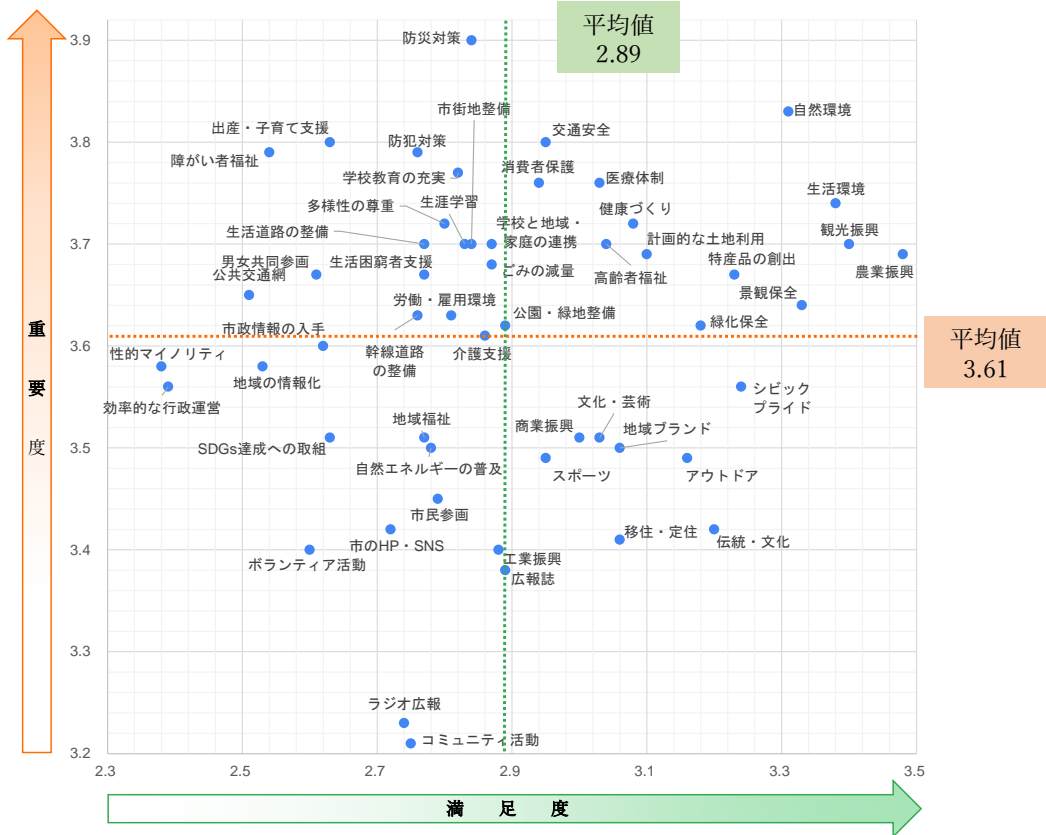
分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.38	3.60
	高齢者福祉	2.44	3.59
	介護支援	2.58	3.63
	生活困窮者支援	2.38	3.62
	男女共同参画	2.33	3.52
	多様性の尊重	2.39	3.50
子育て支援	出産・子育て支援	2.64	3.76
防災・防犯	防災対策	2.62	3.71
	防犯対策	2.39	3.66
	消費者保護	2.54	3.64
都市基盤	市街地整備	2.56	3.53
	計画的な土地利用	2.67	3.50
	幹線道路の整備	2.56	3.52
	生活道路の整備	2.43	3.56
	公共交通網	2.15	3.57
経済活動	労働・雇用環境	2.65	3.57

II. 年代別

(i) 満足度×重要度マトリクス分析【18～29歳】

18～29歳では満足度の平均が2.89となり、全体の平均2.68に比べて0.21ポイント高かった。全53施策中18施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。18～29歳の特徴として、全体では見られなかった「ごみの減量」「学校教育の充実」「学校と地域・家庭の連携」「生涯学習」「公園・緑地整備」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 57 満足度×重要度マトリクス分析【18～29歳】



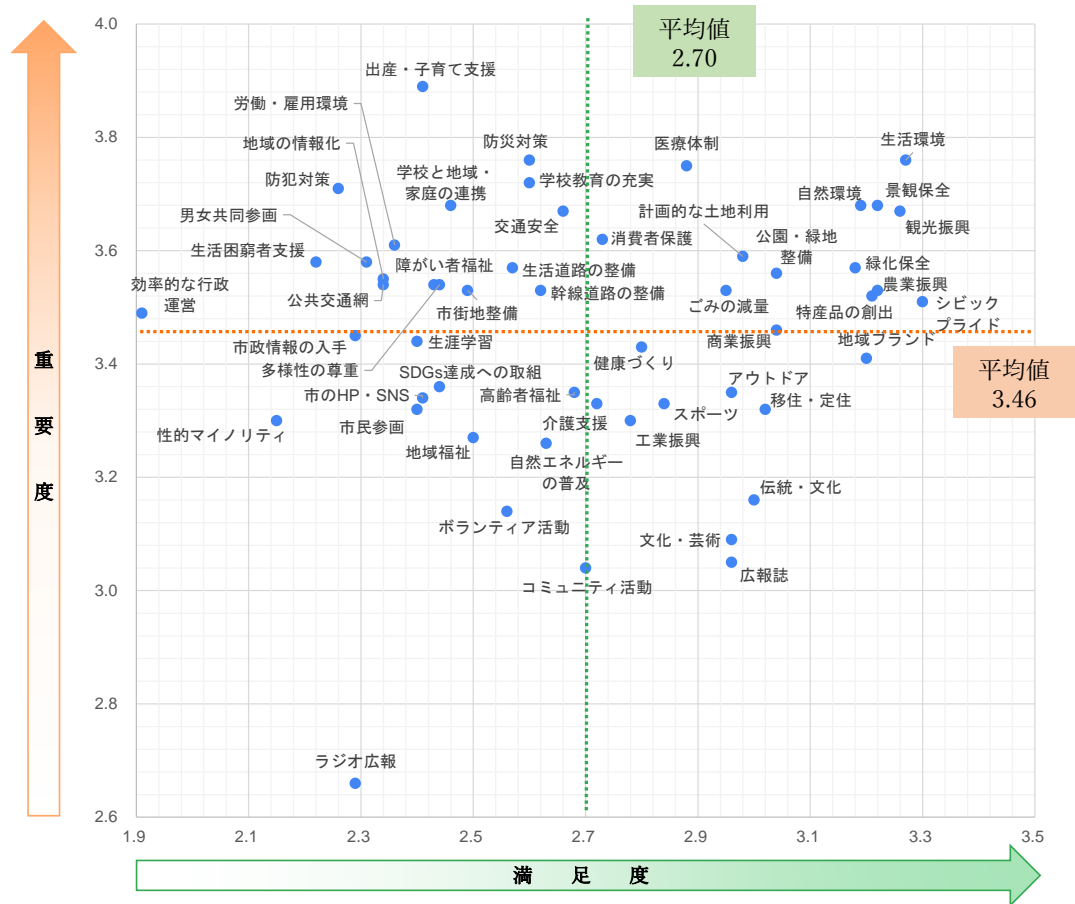
図表 58 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【18～29歳】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
自然環境	ごみの減量	2.87	3.68
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.54	3.79
	介護支援	2.86	3.61
	生活困窮者支援	2.77	3.67
	男女共同参画	2.61	3.67
	多様性の尊重	2.80	3.72
子育て支援	出産・子育て支援	2.63	3.80
教育・学習	学校教育の充実	2.82	3.77
	学校と地域・家庭の連携	2.87	3.70
	生涯学習	2.83	3.70
防災・防犯	防災対策	2.84	3.90
	防犯対策	2.76	3.79
都市基盤	市街地整備	2.84	3.70
	公園・緑地整備	2.89	3.62
	幹線道路の整備	2.76	3.63
	生活道路の整備	2.77	3.70
	公共交通網	2.51	3.65
経済活動	労働・雇用環境	2.81	3.63

(ii) 満足度×重要度マトリクス分析【30代】

30代では満足度の平均が2.70となり、全体の平均2.68に比べて0.02ポイント高かった。全53施策中17施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。30代の特徴として、全体では見られなかった「学校教育の充実」「学校と地域・家庭の連携」「交通安全」「地域の情報化」「効率的な行政運営」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 59 満足度×重要度マトリクス分析【30代】



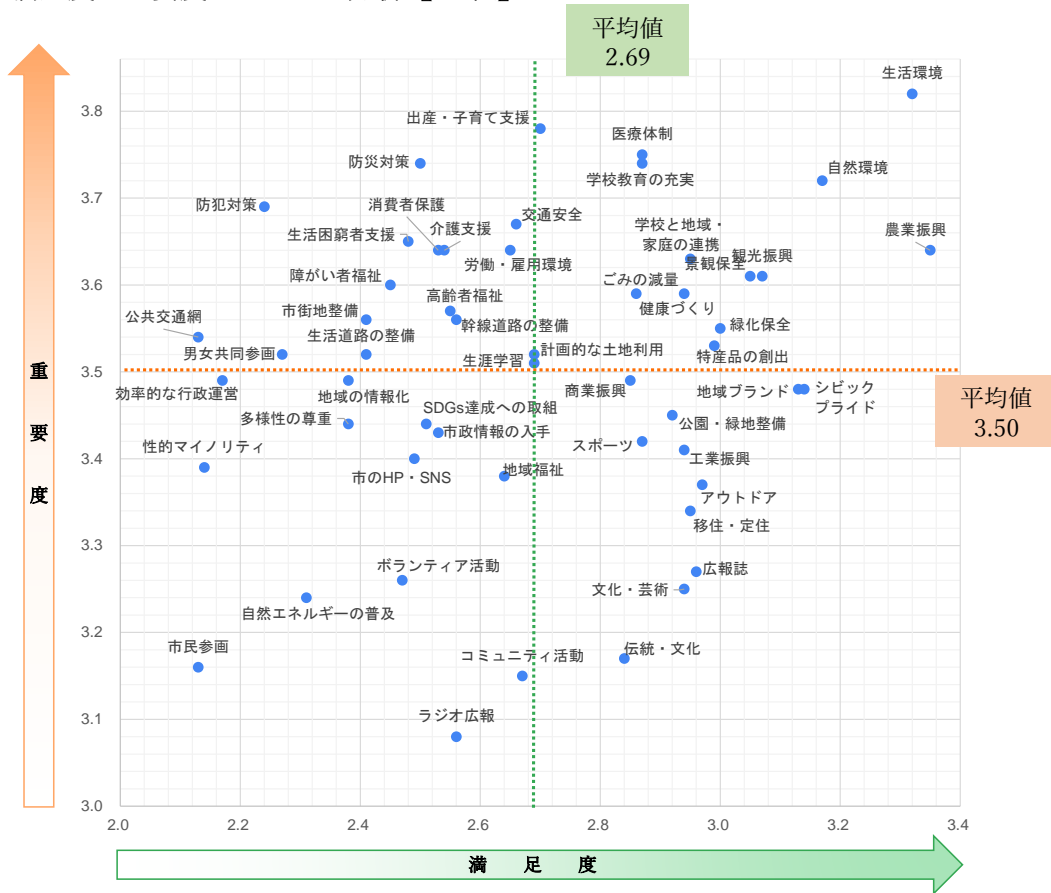
図表 60 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【30代】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.43	3.54
	生活困窮者支援	2.22	3.58
	男女共同参画	2.31	3.58
	多様性の尊重	2.44	3.54
子育て支援	出産・子育て支援	2.41	3.89
教育・学習	学校教育の充実	2.60	3.72
	学校と地域・家庭の連携	2.46	3.68
防災・防犯	防災対策	2.60	3.76
	交通安全	2.66	3.67
	防犯対策	2.26	3.71
都市基盤	市街地整備	2.49	3.53
	幹線道路の整備	2.62	3.53
	生活道路の整備	2.57	3.57
	公共交通網	2.34	3.54
経済活動	労働・雇用環境	2.36	3.61
	地域の情報化	2.34	3.55
デジタル社会・行政サービス	効率的な行政運営	1.91	3.49

(iii) 満足度×重要度マトリクス分析【40代】

40代では満足度の平均が2.69となり、全体の平均2.68に比べて0.01ポイント高かった。全53施策中16施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。40代の特徴として、全体では見られなかった「生涯学習」「交通安全」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 61 満足度×重要度マトリクス分析【40代】



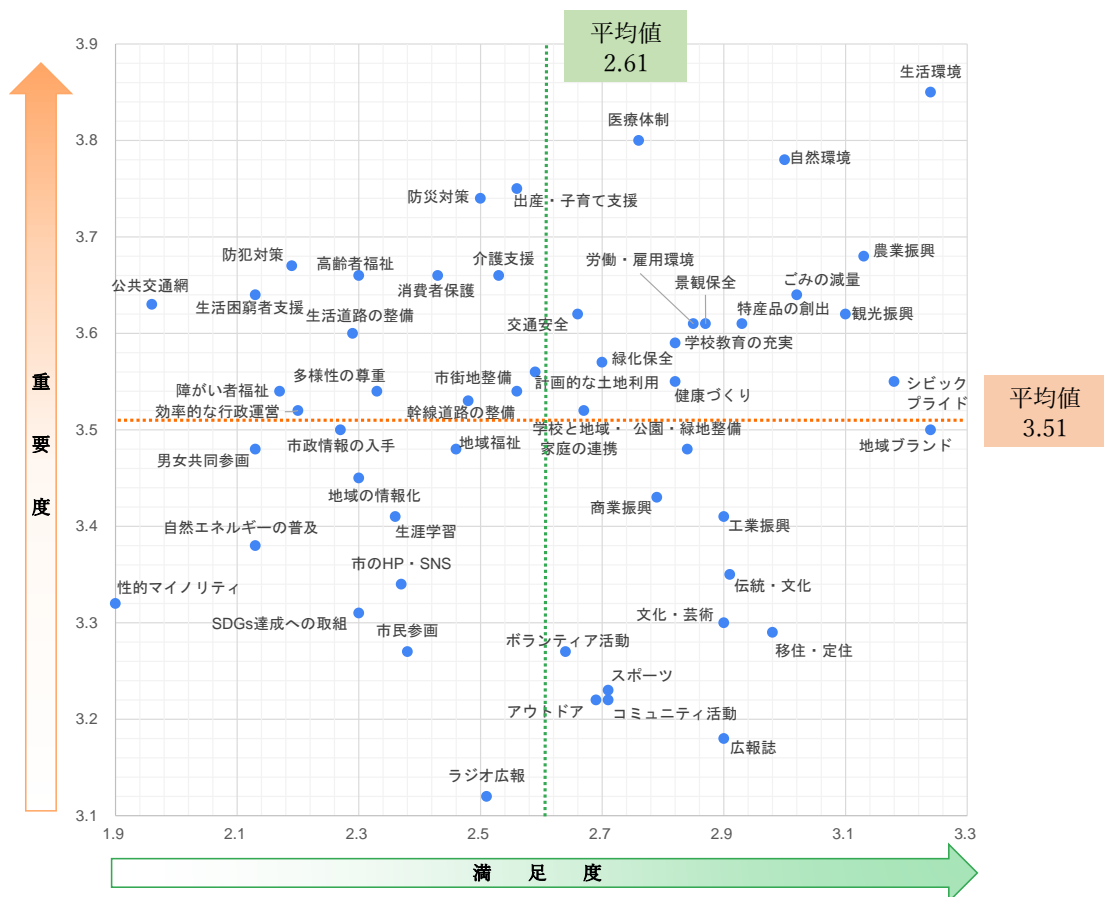
図表 62 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【40代】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.45	3.60
	高齢者福祉	2.55	3.57
	介護支援	2.54	3.64
	生活困窮者支援	2.48	3.65
	男女共同参画	2.27	3.52
教育・学習	生涯学習	2.69	3.51
防災・防犯	防災対策	2.50	3.74
	交通安全	2.66	3.67
	防犯対策	2.24	3.69
	消費者保護	2.53	3.64
都市基盤	市街地整備	2.41	3.56
	計画的な土地利用	2.69	3.52
	幹線道路の整備	2.56	3.56
	生活道路の整備	2.41	3.52
	公共交通網	2.13	3.54
経済活動	労働・雇用環境	2.65	3.64

(iv) 満足度×重要度マトリクス分析【50代】

50代では満足度の平均が2.61となり、全体の平均2.68に比べて0.07ポイント低かった。全53施策中15施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。50代の特徴として、全体では見られなかった「効率的な行政運営」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 63 満足度×重要度マトリクス分析【50代】



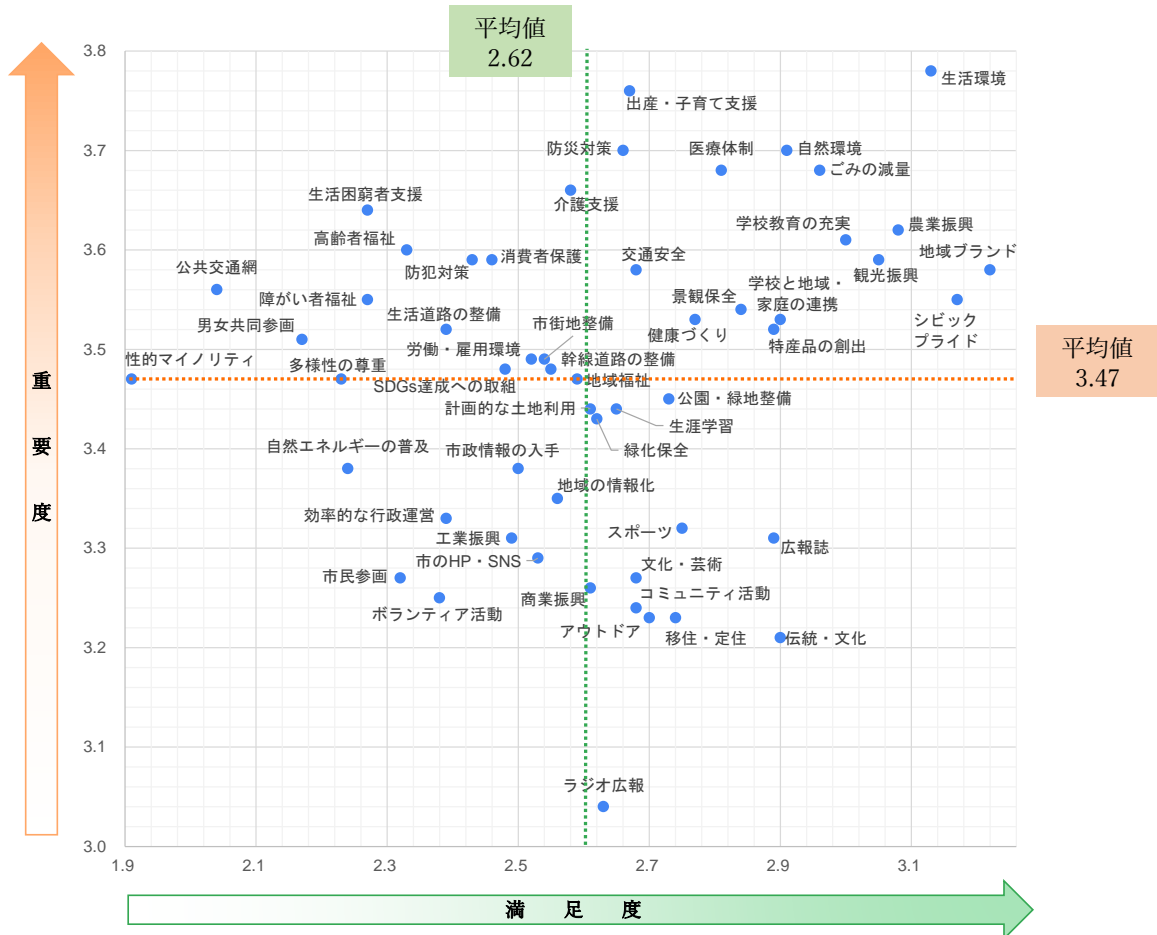
図表 64 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【50代】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.17	3.54
	高齢者福祉	2.30	3.66
	介護支援	2.53	3.66
	生活困窮者支援	2.13	3.64
	多様性の尊重	2.33	3.54
子育て支援	出産・子育て支援	2.56	3.75
防災・防犯	防災対策	2.50	3.74
	防犯対策	2.19	3.67
	消費者保護	2.43	3.66
都市基盤	市街地整備	2.56	3.54
	計画的な土地利用	2.59	3.56
	幹線道路の整備	2.48	3.53
	生活道路の整備	2.29	3.60
	公共交通網	1.96	3.63
デジタル社会・行政サービス	効率的な行政運営	2.20	3.52

(v) 満足度×重要度マトリクス分析【60代】

60代では満足度の平均が2.62となり、全体の平均2.68に比べて0.06ポイント低かった。全53施策中13施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。60代の特徴として、全体では見られなかった「SDGs達成への取組」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 65 満足度×重要度マトリクス分析【60代】



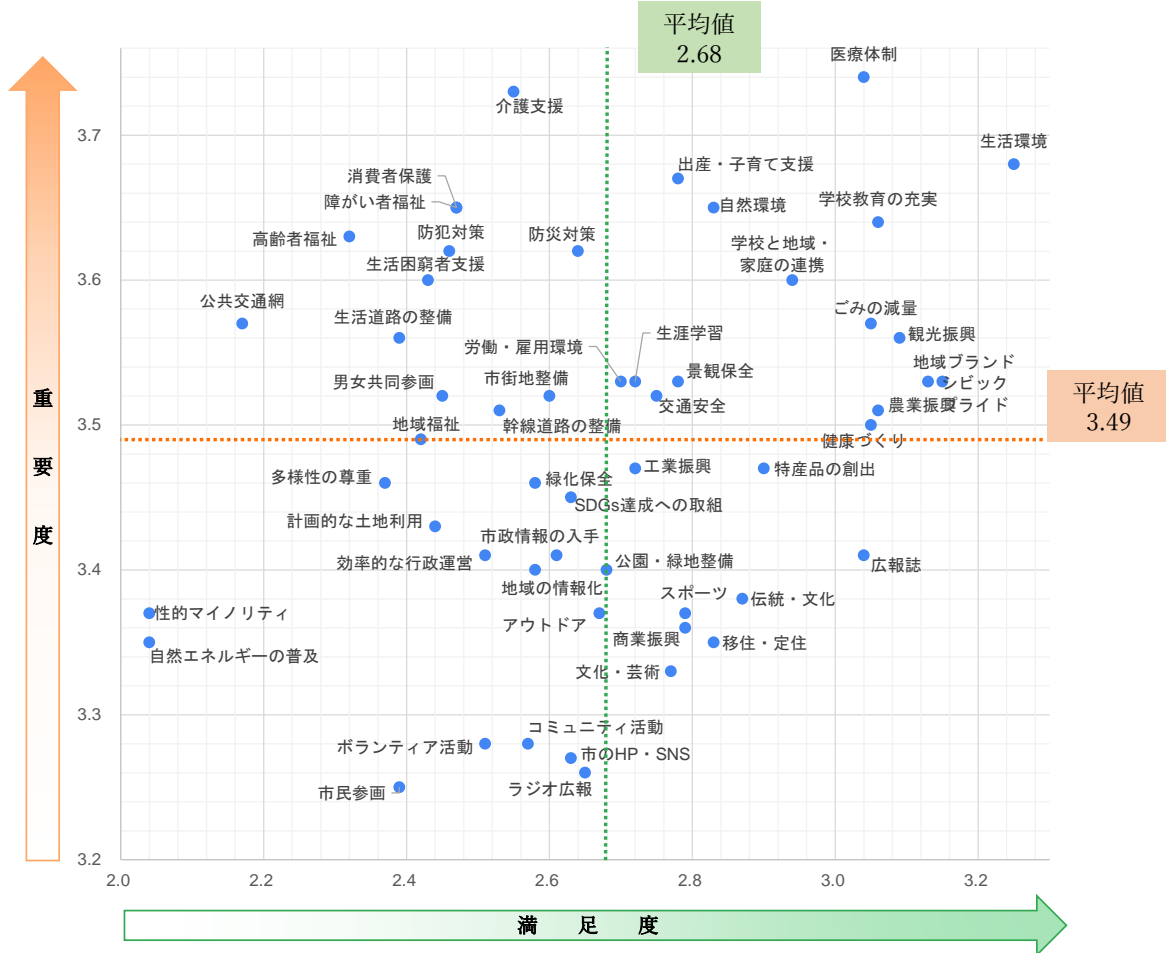
図表 66 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【60代】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.27	3.55
	高齢者福祉	2.33	3.60
	介護支援	2.58	3.66
	生活困窮者支援	2.27	3.64
	男女共同参画	2.17	3.51
防災・防犯	防犯対策	2.43	3.59
	消費者保護	2.46	3.59
都市基盤	市街地整備	2.54	3.49
	幹線道路の整備	2.55	3.48
	生活道路の整備	2.39	3.52
	公共交通網	2.04	3.56
経済活動	労働・雇用環境	2.52	3.49
SDGs	SDGs達成への取組	2.48	3.48

(vi) 満足度×重要度マトリクス分析【70代以上】

70代では満足度の平均が2.68となり、全体の平均2.68と同じになった。全53施策中13施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。70代の特徴として、全体では見られなかった「地域福祉」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 67 満足度×重要度マトリクス分析【70代】



図表 68 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【70代】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	地域福祉	2.42	3.49
	障がい者福祉	2.47	3.65
	高齢者福祉	2.32	3.63
	介護支援	2.55	3.73
	生活困窮者支援	2.43	3.60
	男女共同参画	2.45	3.52
防災・防犯	防災対策	2.64	3.62
	防犯対策	2.46	3.62
	消費者保護	2.47	3.65
都市基盤	市街地整備	2.60	3.52
	幹線道路の整備	2.53	3.51
	生活道路の整備	2.39	3.56
	公共交通網	2.17	3.57

(vii) 満足度×重要度マトリクス分析【年代別結果一覧】

すべての年代で共通して今後重点的に取り組むべきとされた施策は、「障がい者福祉」「生活困窮者支援」「防犯対策」「市街地整備」「幹線道路の整備」「生活道路の整備」及び「公共交通網」の7施策だった。

図表 69 今後重点的に取り組むべき施策【年代別結果一覧】

- …全体で「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策
- …全体では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されていないが、年代別では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

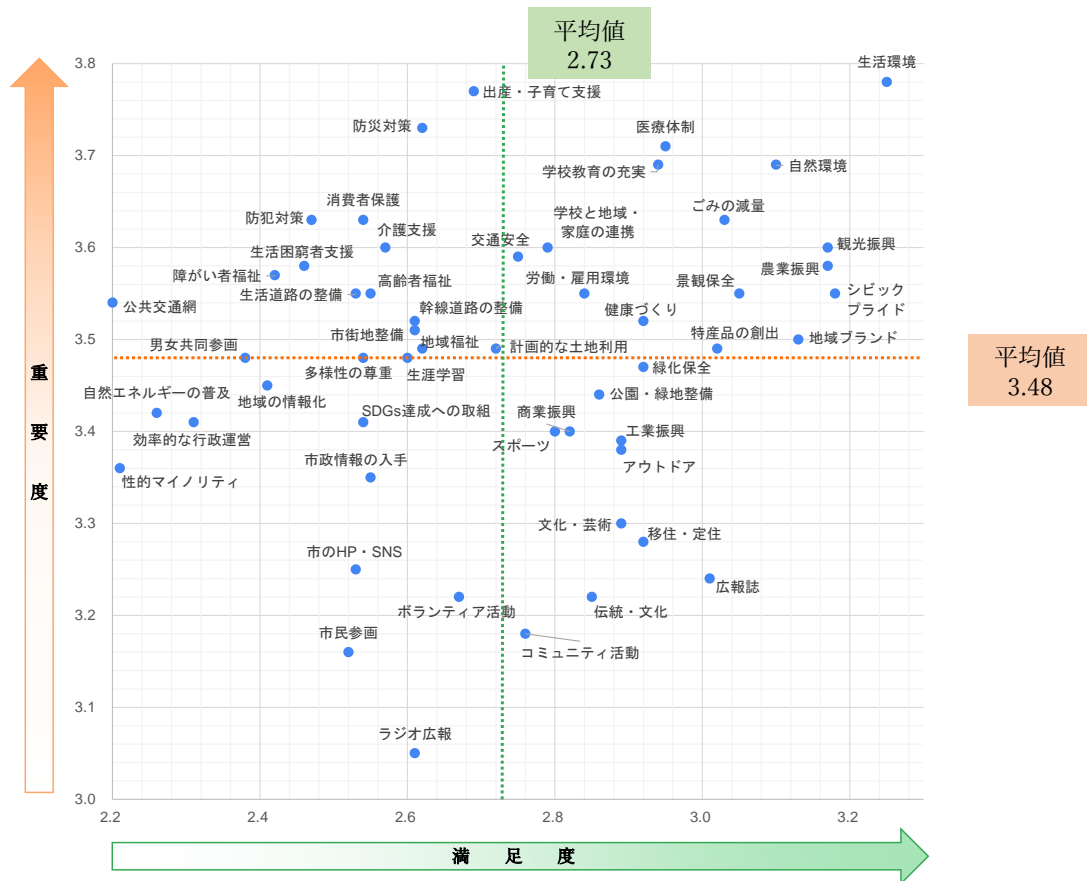
分野	施策名(略称)	全体	18~29歳	30代	40代	50代	60代	70代以上
自然環境	自然環境							
	生活環境							
	自然エネルギーの普及							
	ごみの減量		○					
医療・福祉・人権	健康づくり							
	医療体制							
	地域福祉							○
	障がい者福祉	●	●	●	●	●	●	●
	高齢者福祉	●			●	●	●	●
	介護支援	●	●		●	●	●	●
	生活困窮者支援	●	●	●	●	●	●	●
	男女共同参画	●	●	●	●		●	●
	多様性の尊重	●	●	●		●		
	性的マイノリティ							
子育て支援	出産・子育て支援	●	●	●		●		
スポーツ	スポーツ							
	アウトドア							
教育・学習	学校教育の充実		○	○				
	学校と地域・家庭の連携		○	○				
	生涯学習		○		○			
地域の伝統	伝統・文化							
文化・芸術	文化・芸術							
防災・防犯	防災対策	●	●	●	●	●		●
	交通安全			○	○			
	防犯対策	●	●	●	●	●	●	●
	消費者保護	●			●	●	●	●
都市基盤	市街地整備	●	●	●	●	●	●	●
	計画的な土地利用	●			●	●		
	景観保全							
	緑化保全							
	公園・緑地整備		○					
	幹線道路の整備	●	●	●	●	●	●	●
	生活道路の整備	●	●	●	●	●	●	●
公共交通網	●	●	●	●	●	●	●	
農林水産業	農業振興							
経済活動	商業振興							
	工業振興							
	労働・雇用環境	●	●	●	●		●	
観光	観光振興							
地域ブランド	特産品の創出							
地域ブランド	地域ブランド							
	シビックプライド							
移住・定住	移住・定住							
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動							
	ボランティア活動							
	市民参画							
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化			○				
	効率的な行政運営			○		○		
	市政情報の入手							
	広報誌							
	市のHP・SNS							
ラジオ広報								
SDGs	SDGs達成への取組					○		

III. 居住地区別

(i) 満足度×重要度マトリクス分析【豊科】

豊科地区では満足度の平均が2.73となり、全体の平均2.68より0.05ポイント高かった。全53施策中17施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。豊科地区の特徴として、全体では見られなかった「地域福祉」「生涯学習」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 70 満足度×重要度マトリクス分析【豊科】



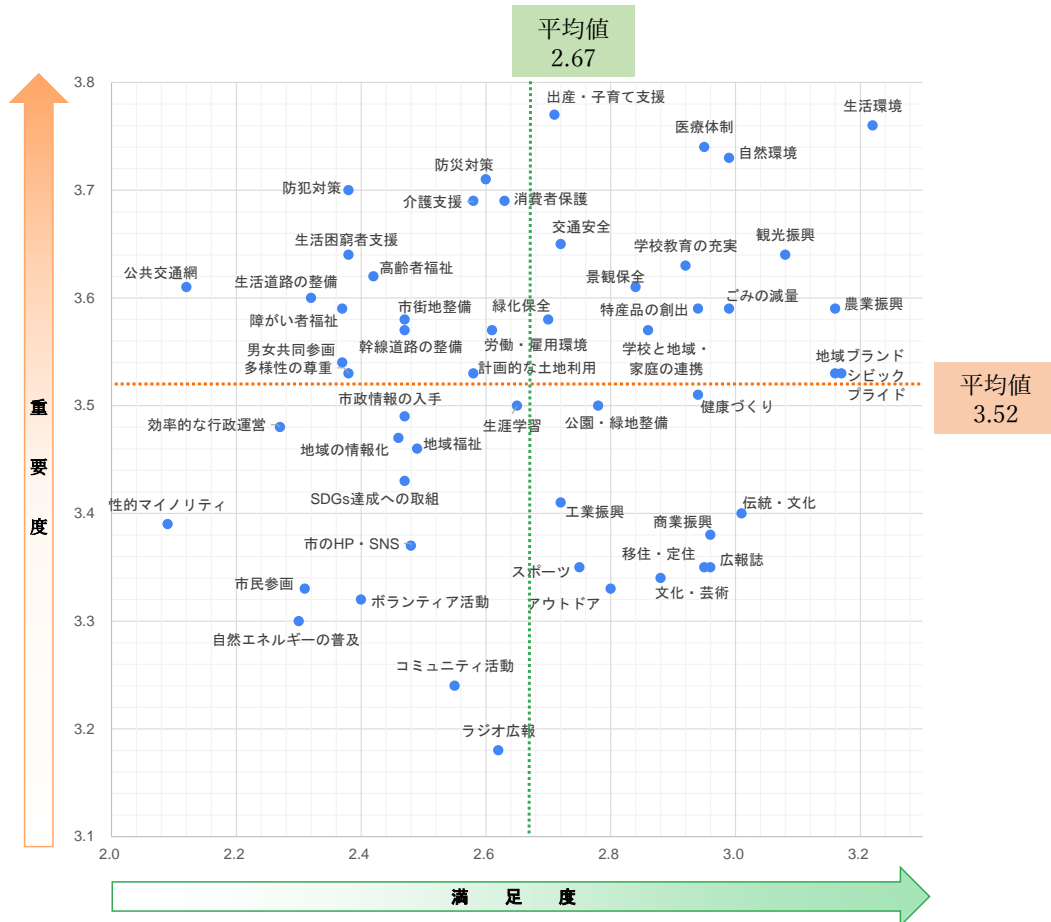
図表 71 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【豊科】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	地域福祉	2.62	3.49
	障がい者福祉	2.42	3.57
	高齢者福祉	2.55	3.55
	介護支援	2.57	3.60
	生活困窮者支援	2.46	3.58
	男女共同参画	2.38	3.48
	多様性の尊重	2.54	3.48
子育て支援	出産・子育て支援	2.69	3.77
教育・学習	生涯学習	2.60	3.48
防災・防犯	防災対策	2.62	3.73
	防犯対策	2.47	3.63
	消費者保護	2.54	3.63
都市基盤	市街地整備	2.61	3.51
	計画的な土地利用	2.72	3.49
	幹線道路の整備	2.61	3.52
	生活道路の整備	2.53	3.55
	公共交通網	2.20	3.54

(ii) 満足度×重要度マトリクス分析【穂高】

穂高地区では満足度の平均が2.67となり、全体の平均2.68より0.01ポイント低かった。全53施策中15施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。穂高地区であがった今後重点的に取り組むべき施策は、全体の今後重点的に取り組むべき施策に含まれていた。

図表 72 満足度×重要度マトリクス分析【穂高】



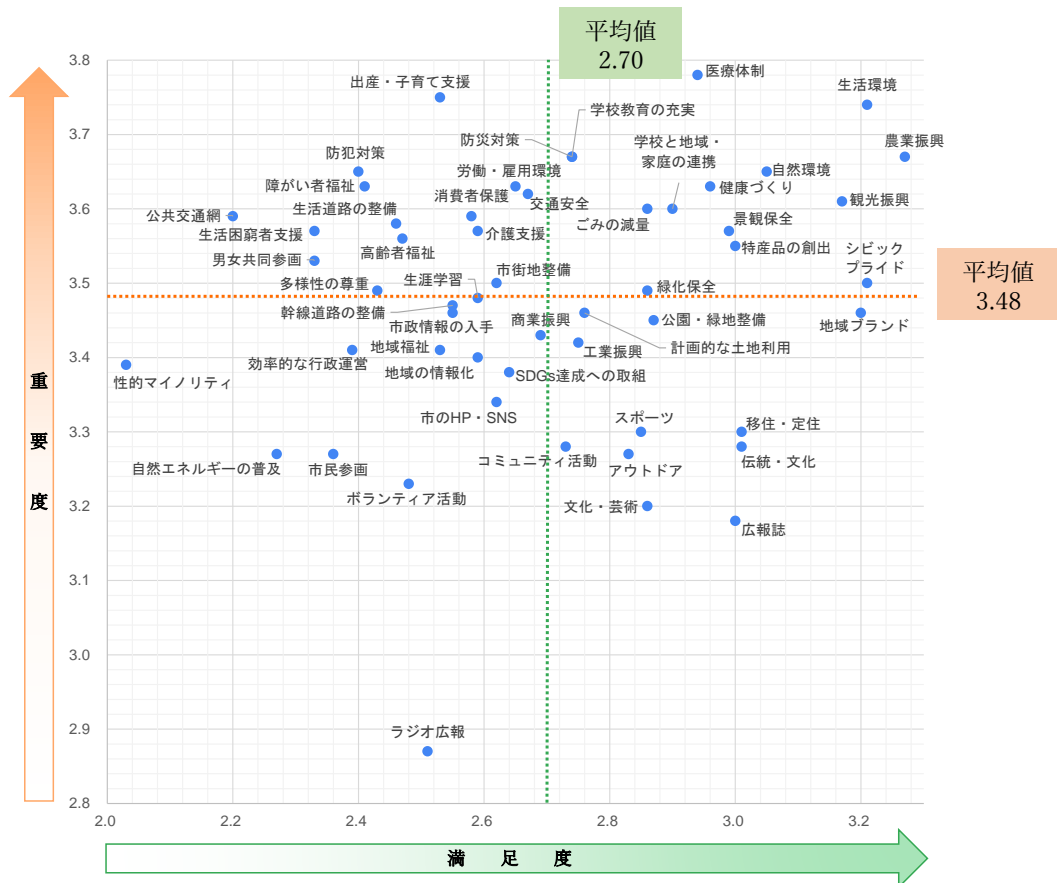
図表 73 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【穂高】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.37	3.59
	高齢者福祉	2.42	3.62
	介護支援	2.58	3.69
	生活困窮者支援	2.38	3.64
	男女共同参画	2.37	3.54
	多様性の尊重	2.38	3.53
	防災対策	2.60	3.71
防災・防犯	防犯対策	2.38	3.70
	消費者保護	2.63	3.69
都市基盤	市街地整備	2.47	3.58
	計画的な土地利用	2.58	3.53
	幹線道路の整備	2.47	3.57
	生活道路の整備	2.32	3.60
	公共交通網	2.12	3.61
経済活動	労働・雇用環境	2.61	3.57

(iii) 満足度×重要度マトリクス分析【三郷】

三郷地区では満足度の平均が2.70となり、全体の平均2.68より0.02ポイント高かった。全53施策中15施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。三郷地区の特徴として、全体では見られなかった「生涯学習」「交通安全」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 74 満足度×重要度マトリクス分析【三郷】



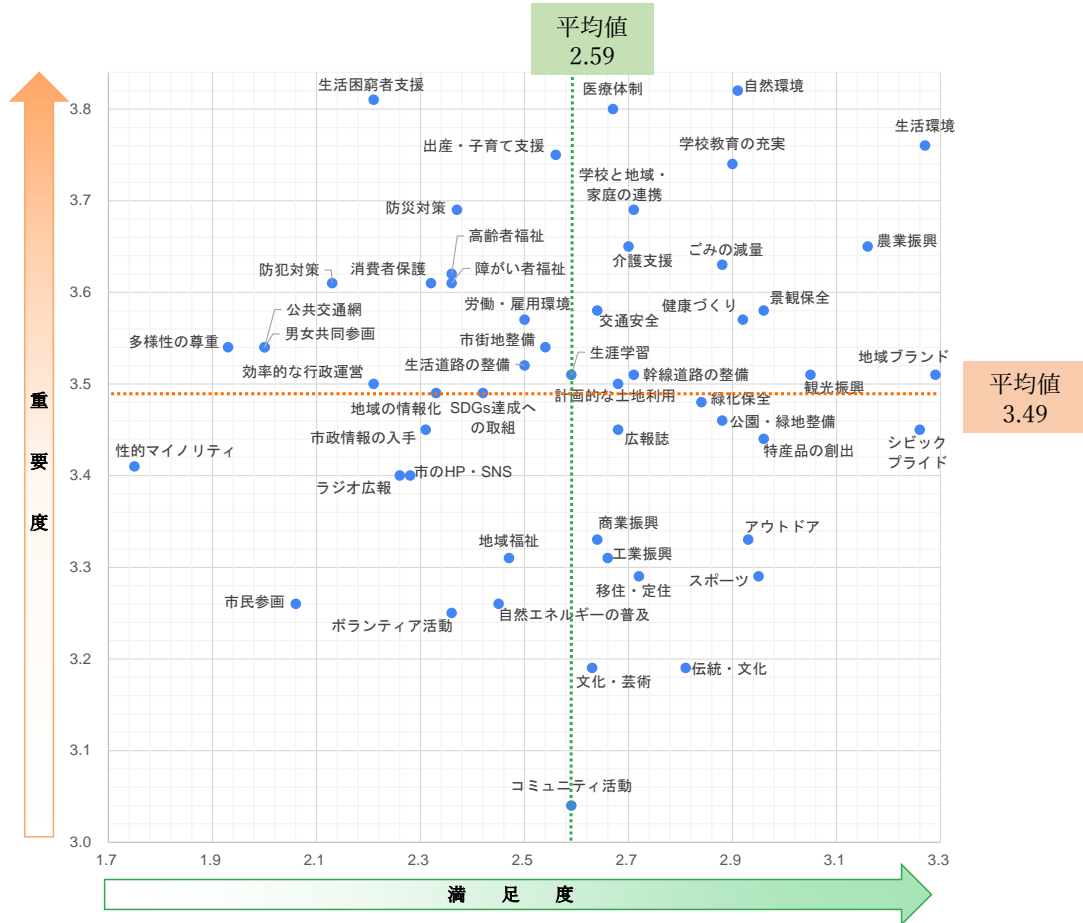
図表 75 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【三郷】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
医療・福祉・人権	障がい者福祉	2.41	3.63
	高齢者福祉	2.47	3.56
	介護支援	2.59	3.57
	生活困窮者支援	2.33	3.57
	男女共同参画	2.33	3.53
	多様性の尊重	2.43	3.49
子育て支援	出産・子育て支援	2.53	3.75
教育・学習	生涯学習	2.59	3.48
防災・防犯	交通安全	2.67	3.62
	防犯対策	2.40	3.65
	消費者保護	2.58	3.59
都市基盤	市街地整備	2.62	3.50
	生活道路の整備	2.46	3.58
	公共交通網	2.20	3.59
経済活動	労働・雇用環境	2.65	3.63

(iv) 満足度×重要度マトリクス分析【堀金】

堀金地区では満足度の平均が2.59となり、全体の平均2.68より0.09ポイント低かった。全53施策中14施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。堀金地区の特徴として、全体では見られなかった「効率的な行政運営」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 76 満足度×重要度マトリクス分析【堀金】



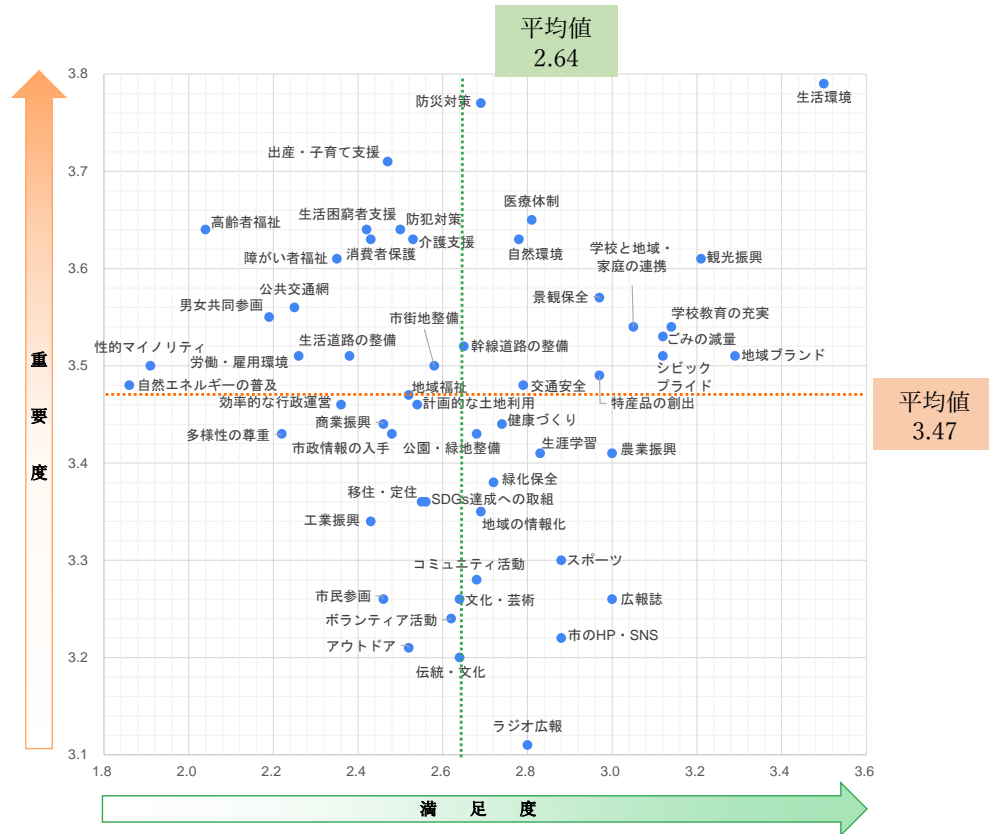
図表 77 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【堀金】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
自然環境	障がい者福祉	2.36	3.61
医療・福祉・人権	高齢者福祉	2.36	3.62
	生活困窮者支援	2.21	3.81
	男女共同参画	2.00	3.54
	多様性の尊重	1.93	3.54
支援	出産・子育て支援	2.56	3.75
防災・防犯	防災対策	2.37	3.69
	防犯対策	2.13	3.61
	消費者保護	2.32	3.61
都市基盤	市街地整備	2.54	3.54
	生活道路の整備	2.50	3.52
	公共交通網	2.00	3.54
経済活動	労働・雇用環境	2.50	3.57
デジタル社会・行政サービス	効率的な行政運営	2.21	3.50

(v) 満足度×重要度マトリクス分析【明科】

明科地区では満足度の平均が2.64となり、全体の平均2.68より0.04ポイント低かった。全53施策中15施策が今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）として分類された。明科地区の特徴として、全体では見られなかった「自然エネルギーの普及」「地域福祉」「性的マイノリティ」が今後重点的に取り組むべき施策としてあがった。

図表 78 満足度×重要度マトリクス分析【明科】



図表 79 今後重点的に取り組むべき施策（重要度：高×満足度：低）【明科】

分野	施策名（略称）	満足度	重要度
自然環境	自然エネルギーの普及	1.86	3.48
医療・福祉・人権	地域福祉	2.52	3.47
	障がい者福祉	2.35	3.61
	高齢者福祉	2.04	3.64
	介護支援	2.53	3.63
	生活困窮者支援	2.42	3.64
	男女共同参画	2.19	3.55
	性的マイノリティ	1.91	3.50
	子育て支援	出産・子育て支援	2.47
防災・防犯	防犯対策	2.50	3.64
	消費者保護	2.43	3.63
都市基盤	市街地整備	2.58	3.50
	生活道路の整備	2.38	3.51
	公共交通網	2.25	3.56
経済活動	労働・雇用環境	2.26	3.51

(vi) 満足度×重要度マトリクス分析【居住地区別一覧】

すべての居住地区で共通して今後重点的に取り組むべきとされた施策は、「障がい者福祉」「高齢者福祉」「生活困窮者支援」「男女共同参画」「防犯対策」「消費者保護」「市街地整備」「生活道路の整備」及び「公共交通網」の9施策だった。

図表 80 今後重点的に取り組むべき施策【居住地区別一覧】

●…全体で「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

○…全体では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されていないが、居住地区別では「今後重点的に取り組むべき施策」として分類されている施策

分野	施策名(略称)	全体	豊科	穂高	三郷	掘金	明科
自然環境	自然環境						
	生活環境						
	自然エネルギーの普及						○
	ごみの減量						
医療・福祉・人権	健康づくり						
	医療体制						
	地域福祉		○				○
	障がい者福祉	●	●	●	●	●	●
	高齢者福祉	●	●	●	●	●	●
	介護支援	●	●	●	●		●
	生活困窮者支援	●	●	●	●	●	●
	男女共同参画	●	●	●	●	●	●
	多様性の尊重	●	●	●	●	●	
	性的マイノリティ						○
子育て支援	出産・子育て支援	●	●		●	●	●
スポーツ	スポーツ						
	アウトドア						
教育・学習	学校教育の充実						
	学校と地域・家庭の連携						
	生涯学習		○		○		
地域の伝統	伝統・文化						
文化・芸術	文化・芸術						
防災・防犯	防災対策	●	●	●		●	
	交通安全				○		
	防犯対策	●	●	●	●	●	●
	消費者保護	●	●	●	●	●	●
都市基盤	市街地整備	●	●	●	●	●	●
	計画的な土地利用	●	●	●			
	景観保全						
	緑化保全						
	公園・緑地整備						
	幹線道路の整備	●	●	●			
	生活道路の整備	●	●	●	●	●	●
公共交通網	●	●	●	●	●	●	
農林水産業	農業振興						
経済活動	商業振興						
	工業振興						
	労働・雇用環境	●		●	●	●	●
観光	観光振興						
	特産品の創出						
地域ブランド	地域ブランド						
	シビックプライド						
移住・定住	移住・定住						
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動						
	ボランティア活動						
	市民参画						
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化						
	効率的な行政運営					○	
	市政情報の入手						
	広報誌						
	市のHP・SNS ラジオ広報						
SDGs	SDGs達成への取組						

IV. 過去調査（令和3年）との比較

(i) 満足度

満足度について、過去調査（令和3年）と比較した上昇幅が大きい10施策を分野ごとに見ると、「自然環境」2施策、「医療・福祉・人権」2施策、「教育・学習」1施策、「文化・芸術」1施策、「都市基盤」1施策、「経済活動」1施策、「地域ブランド」2施策となった。

図表 81 満足度 過去調査（令和3年）との比較

過去調査（令和3年）と比較したポイント差の上位10施策

過去調査（令和3年）と比較したポイント差の下位10施策

分野	施策名（略称）	過去（R3） → 今回			ポイント差	順位
		過去（R3）	→	今回		
自然環境	自然環境	2.92	→	3.01	0.09	5
	生活環境	3.17	→	3.25	0.08	6
	自然エネルギーの普及	2.29	→	2.27	▲0.02	28
	ごみの減量	2.97	→	2.97	▲0.00	22
医療・福祉・人権	健康づくり	2.93	→	2.92	▲0.01	25
	医療体制	2.94	→	2.91	▲0.03	29
	地域福祉	2.70	→	2.54	▲0.16	46
	障がい者福祉	2.37	→	2.38	0.01	17
	高齢者福祉	2.60	→	2.44	▲0.16	45
	介護支援	2.78	→	2.58	▲0.20	50
	生活困窮者支援	2.48	→	2.38	▲0.10	41
	男女共同参画	2.29	→	2.33	0.04	10
	多様性の尊重	2.35	→	2.39	0.04	9
	性的マイノリティ	未調査	→	2.06	—	—
子育て支援	出産・子育て支援	2.79	→	2.64	▲0.15	44
スポーツ	スポーツ	2.80	→	2.81	0.01	16
	アウトドア	未調査	→	2.83	—	—
教育・学習	学校教育の充実	2.84	→	2.91	0.07	7
	学校と地域・家庭の連携	2.85	→	2.85	▲0.00	20
	生涯学習	2.64	→	2.63	▲0.01	23
地域の伝統	伝統・文化	3.01	→	2.92	▲0.09	39
文化・芸術	文化・芸術	2.74	→	2.84	0.10	3
防災・防犯	防災対策	2.65	→	2.62	▲0.03	32
	交通安全	2.70	→	2.71	0.01	18
	防犯対策	2.62	→	2.39	▲0.23	51
	消費者保護	2.65	→	2.54	▲0.11	42
都市基盤	市街地整備	2.53	→	2.56	0.03	12
	計画的な土地利用	2.75	→	2.67	▲0.08	37
	景観保全	2.98	→	2.95	▲0.03	30
	緑化保全	2.91	→	2.81	▲0.10	40
	公園・緑地整備	2.86	→	2.82	▲0.04	35
	幹線道路の整備	2.56	→	2.56	0.00	19
	生活道路の整備	2.43	→	2.43	▲0.00	21
	公共交通網	2.02	→	2.15	0.13	1
農林水産業	農業振興	3.20	→	3.17	▲0.03	33
経済活動	商業振興	2.70	→	2.82	0.12	2
	工業振興	2.73	→	2.76	0.03	13
	労働・雇用環境	2.68	→	2.65	▲0.03	31
観光	観光振興	3.15	→	3.13	▲0.02	26
	特産品の創出	2.95	→	2.98	0.03	14
地域ブランド	地域ブランド	3.09	→	3.18	0.09	4
	シビックプライド	3.12	→	3.17	0.05	8
移住・定住	移住・定住	2.86	→	2.90	0.04	11
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動	2.78	→	2.66	▲0.12	43
	ボランティア活動	2.54	→	2.51	▲0.03	34
	市民参画	2.45	→	2.37	▲0.08	38
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	2.47	→	2.46	▲0.01	24
	効率的な行政運営	2.48	→	2.30	▲0.18	49
	市政情報の入手	2.64	→	2.48	▲0.16	47
	広報誌	2.98	→	2.96	▲0.02	27
	市のHP・SNS	2.59	→	2.52	▲0.07	36
	ラジオ広報	2.57	→	2.58	0.01	15
SDGs	SDGs達成への取組	2.68	→	2.51	▲0.17	48
平均値		2.71	→	2.68	▲0.03	

(ii) 重要度

重要度について、過去調査（令和3年）と比較した上昇幅が大きい10施策を分野ごとに見ると、「スポーツ」「教育・学習」「防災・防犯」及び「デジタル社会・行政サービス」がそれぞれ1施策、「都市基盤」3施策、「協働・コミュニティ活動」3施策となった。

図表 82 重要度 過去調査（令和3年）との比較

過去調査（令和3年）と比較したポイント差の上位10施策
過去調査（令和3年）と比較したポイント差の下位10施策

分野	施策名（略称）	過去（R3）	→	今回	ポイント差	順位
自然環境	自然環境	3.74	→	3.71	▲0.03	43
	生活環境	3.84	→	3.76	▲0.08	51
	自然エネルギーの普及	3.34	→	3.34	▲0.00	34
	ごみの減量	3.64	→	3.60	▲0.04	47
医療・福祉・人権	健康づくり	3.55	→	3.53	▲0.02	41
	医療体制	3.79	→	3.74	▲0.05	49
	地域福祉	3.45	→	3.44	▲0.01	38
	障がい者福祉	3.62	→	3.60	▲0.02	42
	高齢者福祉	3.57	→	3.59	0.02	22
	介護支援	3.64	→	3.63	▲0.01	36
	生活困窮者支援	3.63	→	3.62	▲0.01	37
	男女共同参画	3.51	→	3.52	0.01	27
	多様性の尊重	3.52	→	3.50	▲0.02	40
	性的マイノリティ	未調査	→	3.39	—	—
子育て支援	出産・子育て支援	3.76	→	3.76	0.00	28
スポーツ	スポーツ	3.21	→	3.35	0.14	1
	アウトドア	未調査	→	3.33	—	—
教育・学習	学校教育の充実	3.66	→	3.66	▲0.00	33
	学校と地域・家庭の連携	3.54	→	3.59	0.05	13
	生涯学習	3.43	→	3.49	0.06	8
地域の伝統	伝統・文化	3.27	→	3.29	0.02	25
文化・芸術	文化・芸術	3.27	→	3.29	0.02	24
防災・防犯	防災対策	3.71	→	3.71	▲0.00	32
	交通安全	3.58	→	3.61	0.03	20
	防犯対策	3.59	→	3.66	0.07	5
	消費者保護	3.59	→	3.64	0.05	12
都市基盤	市街地整備	3.48	→	3.53	0.05	11
	計画的な土地利用	3.46	→	3.50	0.04	16
	景観保全	3.58	→	3.58	0.00	29
	緑化保全	3.45	→	3.51	0.06	7
	公園・緑地整備	3.39	→	3.46	0.07	6
	幹線道路の整備	3.48	→	3.52	0.04	15
	生活道路の整備	3.51	→	3.56	0.05	10
	公共交通網	3.55	→	3.57	0.02	26
農林水産業	農業振興	3.55	→	3.59	0.04	17
	商業振興	3.38	→	3.40	0.02	23
	工業振興	3.37	→	3.40	0.03	19
経済活動	労働・雇用環境	3.58	→	3.57	▲0.01	35
	観光振興	3.64	→	3.61	▲0.03	44
	特産品の創出	3.53	→	3.53	0.00	30
地域ブランド	地域ブランド	3.54	→	3.51	▲0.03	45
	シビックプライド	3.48	→	3.52	0.04	14
移住・定住	移住・定住	3.35	→	3.32	▲0.03	46
協働・コミュニティ活動	コミュニティ活動	3.13	→	3.22	0.09	4
	ボランティア活動	3.16	→	3.27	0.11	3
	市民参画	3.20	→	3.26	0.06	9
デジタル社会・行政サービス	地域の情報化	3.46	→	3.44	▲0.02	39
	効率的な行政運営	3.44	→	3.44	0.00	31
	市政情報の入手	3.40	→	3.44	0.04	18
	広報誌	3.26	→	3.29	0.03	21
	市のHP・SNS	3.37	→	3.32	▲0.05	48
	ラジオ広報	2.99	→	3.10	0.11	2
SDGs	SDGs達成への取組	3.49	→	3.42	▲0.07	50
平均値		3.48	→	3.49	0.02	

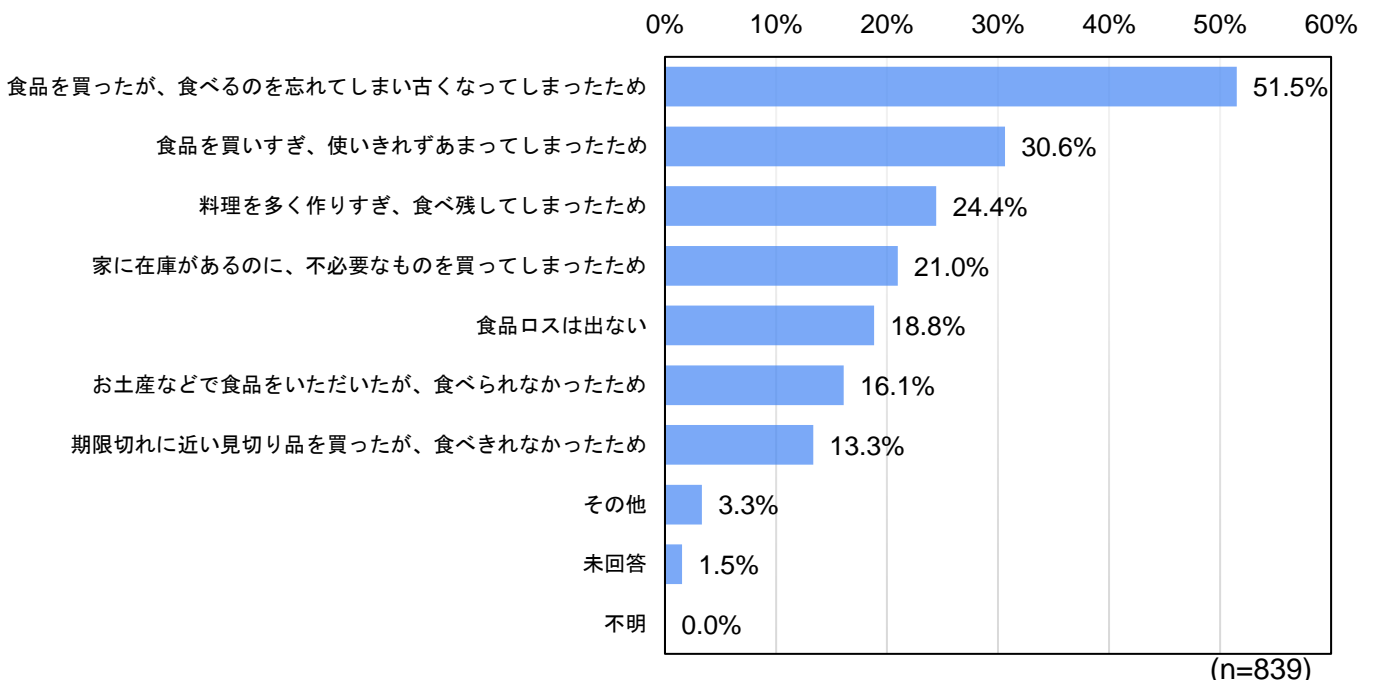
(1) 自然環境について

問7. 日本では、生ごみのうち、本来食べられたはずなのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約600万～700万トン発生していると推計されます。ご家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

「食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため」(51.5%)が最も高く、次いで「食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため」(30.6%)、「料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため」(24.4%)、「家に在庫があるのに、不必要なものを買ってしまったため」(21.0%)の順となった。「食品ロスは出ない(18.8%)」であった。

年代別では、「お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため」は70代以上(10.0%)が低かった。居住地区別では、特徴的な傾向はなかった。

図表 83 食品ロスが発生してしまう原因



図表 84 【年代別】食品ロスが発生してしまう原因

	全体 (n=839)	18～29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため	51.5%	60.0%	60.7%	52.3%	50.4%	52.0%	47.4%	25.0%	0.0%
食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため	30.6%	34.5%	22.5%	32.0%	32.4%	27.6%	33.0%	0.0%	50.0%
料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため	24.4%	27.3%	27.0%	20.3%	21.6%	25.0%	25.9%	0.0%	100.0%
家に在庫があるのに、不必要なものを買ってしまったため	21.0%	18.2%	14.6%	18.0%	18.7%	21.7%	25.9%	0.0%	50.0%
食品ロスは出ない	18.8%	10.9%	16.9%	18.8%	13.7%	19.1%	23.7%	0.0%	50.0%
お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため	16.1%	14.5%	18.0%	21.1%	19.4%	19.1%	10.0%	25.0%	0.0%
期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため	13.3%	14.5%	13.5%	14.8%	12.9%	15.8%	11.1%	0.0%	50.0%
その他	3.3%	3.6%	2.2%	3.9%	7.2%	0.7%	2.6%	25.0%	0.0%
未回答	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	3.3%	50.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 85 【居住地区別】食品ロスが発生してしまう原因

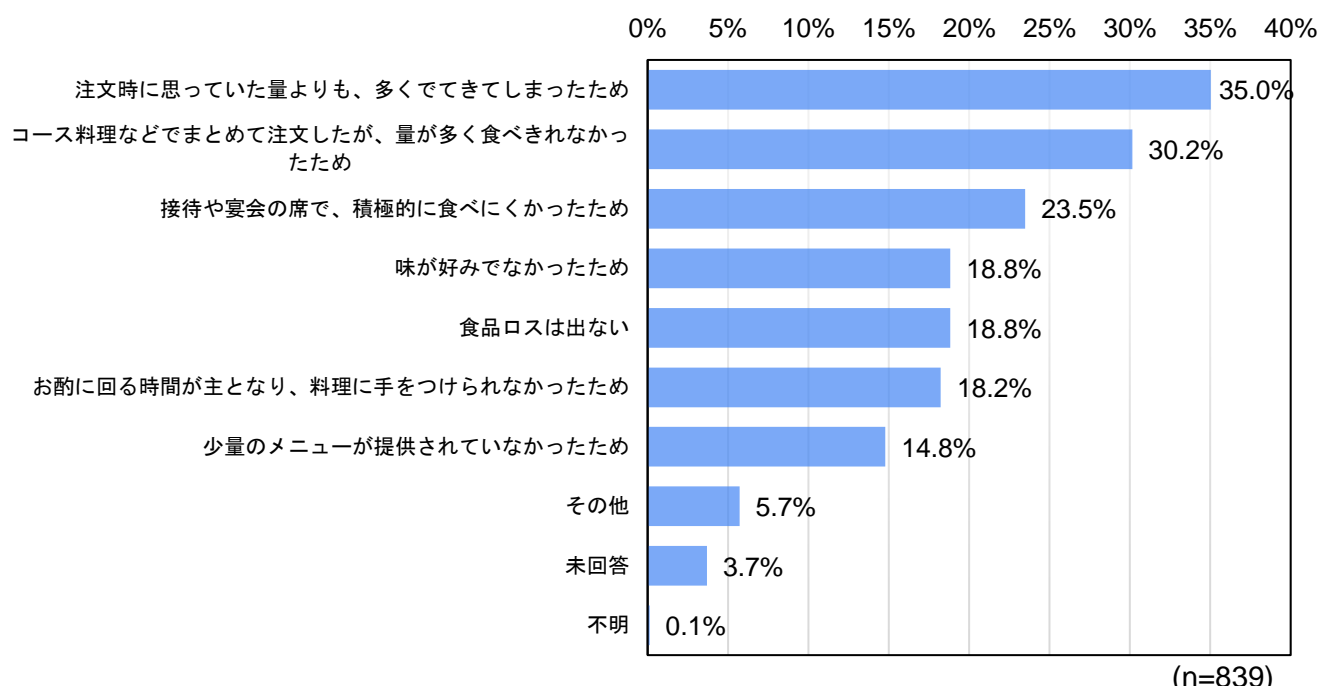
	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため	51.5%	52.8%	48.3%	53.2%	60.5%	48.1%	28.6%	0.0%
食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため	30.6%	29.0%	30.7%	28.5%	32.9%	42.6%	14.3%	0.0%
料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため	24.4%	22.6%	25.3%	24.7%	25.0%	27.8%	14.3%	0.0%
家に在庫があるのに、不必要なものを買ってしまったため	21.0%	23.0%	19.9%	19.0%	22.4%	22.2%	14.3%	0.0%
食品ロスは出ない	18.8%	18.5%	20.9%	17.1%	11.8%	22.2%	28.6%	0.0%
お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため	16.1%	15.7%	15.5%	15.2%	17.1%	20.4%	28.6%	0.0%
期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため	13.3%	11.3%	14.2%	13.3%	13.2%	20.4%	0.0%	0.0%
その他	3.3%	3.2%	3.7%	4.4%	1.3%	1.9%	0.0%	0.0%
未回答	1.5%	1.2%	2.0%	1.3%	1.3%	0.0%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 8. 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

「注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため」(35.0%) が最も高く、次いで「コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため」(30.2%)、「接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため」(23.5%) の順となった。

年代別では、「注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため」は18~29歳(40.0%)で高く、「接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため」は30代(33.7%)で高く、70歳以上(15.6%)で低く、「少量のメニューが提供されていなかったため」は70歳以上(20.4%)で高かった。

図表 86 外食や宴会で食品ロスが発生してしまう原因



図表 87 【年代別】外食や宴会で食品ロスが発生してしまう原因

	全体 (n=839)	18~29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため	35.0%	40.0%	41.6%	35.9%	33.8%	36.2%	31.5%	25.0%	50.0%
コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため	30.2%	45.5%	27.0%	38.3%	28.1%	27.0%	26.3%	50.0%	100.0%
接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため	23.5%	32.7%	33.7%	31.3%	25.9%	19.7%	15.6%	0.0%	50.0%
味が好みでなかったため	18.8%	12.7%	19.1%	18.8%	14.4%	21.1%	20.7%	25.0%	50.0%
食品ロスは出ない	18.8%	20.0%	14.6%	18.0%	20.1%	19.7%	19.6%	0.0%	0.0%
お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため	18.2%	12.7%	19.1%	17.2%	25.2%	17.8%	16.3%	25.0%	0.0%
少量のメニューが提供されていなかったため	14.8%	10.9%	9.0%	13.3%	11.5%	13.2%	20.4%	0.0%	100.0%
その他	5.7%	0.0%	2.2%	4.7%	7.2%	5.3%	7.8%	25.0%	0.0%
未回答	3.7%	1.8%	1.1%	0.8%	0.7%	1.3%	8.5%	50.0%	0.0%
不明	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 88 【居住地区別】外食や宴会で食品ロスが発生してしまう原因

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため	35.0%	35.9%	33.1%	38.6%	32.9%	35.2%	28.6%	0.0%
コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため	30.2%	35.1%	24.7%	36.1%	25.0%	25.9%	42.9%	0.0%
接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため	23.5%	26.2%	21.6%	22.8%	22.4%	22.2%	42.9%	0.0%
味が好みでなかったため	18.8%	19.4%	17.2%	20.9%	15.8%	24.1%	14.3%	0.0%
食品ロスは出ない	18.8%	17.7%	22.6%	13.9%	18.4%	18.5%	14.3%	0.0%
お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため	18.2%	18.5%	15.5%	20.3%	23.7%	18.5%	14.3%	0.0%
少量のメニューが提供されていなかったため	14.8%	16.9%	14.9%	11.4%	13.2%	18.5%	0.0%	0.0%
その他	5.7%	4.0%	7.1%	7.0%	6.6%	1.9%	0.0%	0.0%
未回答	3.7%	1.6%	4.4%	4.4%	3.9%	5.6%	14.3%	0.0%
不明	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

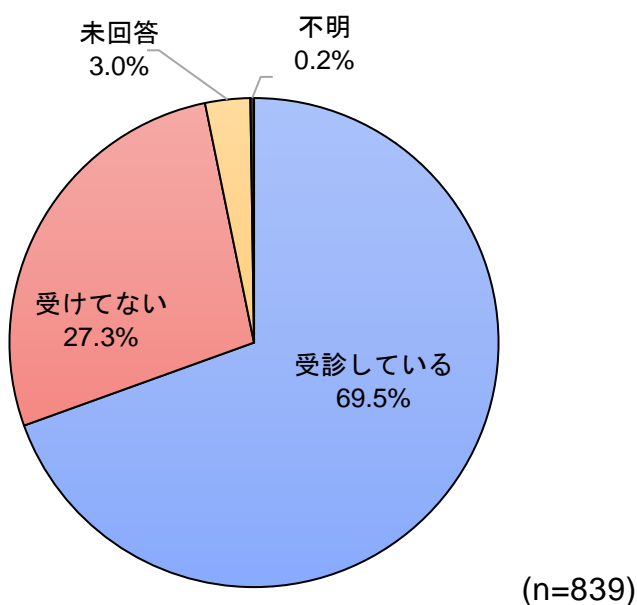
(2) 医療・福祉・人権について

問9. 毎年、健康診断（人間ドックを含む）の受診はされていますか。

「受診している」（69.5%）が最も高く、次いで「受けてない」（27.3%）の順となった。

年代別では、「受診している」は、40代（78.1%）で高く、70歳以上（61.1%）で低かった。「受けてない」は、18～29歳（40.0%）で高かった。

図表 89 毎年の健康診断の受診状況



図表 90 【年代別】毎年の健康診断の受診状況

	全体 (n=839)	18～29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
受診している	69.5%	60.0%	74.2%	78.1%	74.1%	75.7%	61.1%	0.0%	50.0%
受けてない	27.3%	40.0%	25.8%	21.9%	24.5%	22.4%	31.5%	50.0%	50.0%
未回答	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	2.0%	6.7%	50.0%	0.0%
不明	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%

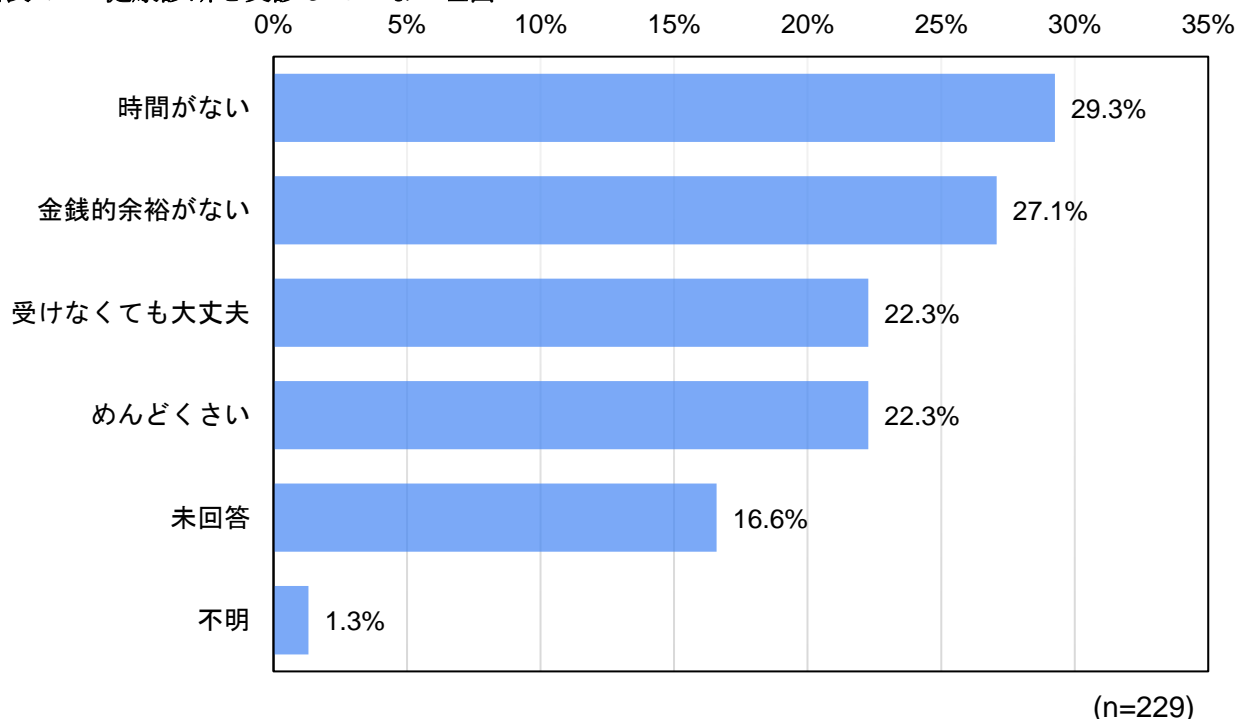
図表 91 【居住地区別】毎年の健康診断の受診状況

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
受診している	69.5%	69.4%	69.9%	77.2%	59.2%	68.5%	0.0%	0.0%
受けてない	27.3%	27.0%	27.4%	20.3%	36.8%	27.8%	85.7%	0.0%
未回答	3.0%	3.2%	2.7%	2.5%	3.9%	1.9%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(1) 問9で「2. 受けていない」と回答した方のみご回答ください。健康診断を受診していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

健康診断を毎年「受けていない」と回答した229人に聞いたところ、「時間がない」(29.3%)、「金銭的余裕がない」(27.1%)、「受けなくても大丈夫」(22.3%)、「めんどくさい」(22.3%)と理由は多岐にわたった。
年代別では、「時間がない」は30代(69.6%)及び40代(50.0%)で高く、70代以上(14.1%)で低かった。「受けなくても大丈夫」は40代(0.0%)で低かった。

図表 92 健康診断を受診していない理由



図表 93 【年代別】健康診断を受診していない理由

	全体 (n=229)	18~29歳 (n=22)	30代 (n=23)	40代 (n=28)	50代 (n=34)	60代 (n=34)	70代以上 (n=85)	未回答 (n=2)	不明 (n=1)
時間がない	29.3%	36.4%	69.6%	50.0%	26.5%	23.5%	14.1%	0.0%	0.0%
金銭的余裕がない	27.1%	31.8%	30.4%	42.9%	29.4%	29.4%	17.6%	50.0%	0.0%
受けなくても大丈夫	22.3%	31.8%	8.7%	0.0%	8.8%	32.4%	29.4%	100.0%	100.0%
めんどくさい	22.3%	18.2%	17.4%	17.9%	32.4%	26.5%	20.0%	50.0%	0.0%
未回答	16.6%	9.1%	4.3%	14.3%	17.6%	8.8%	25.9%	0.0%	0.0%
不明	1.3%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%

図表 94 【居住地区別】健康診断を受診していない理由

	全体 (n=229)	豊科 (n=67)	穂高 (n=81)	三郷 (n=32)	堀金 (n=28)	明科 (n=15)	未回答 (n=6)	不明 (n=0)
時間がない	29.3%	28.4%	24.7%	25.0%	42.9%	40.0%	33.3%	0.0%
金銭的余裕がない	27.1%	23.9%	25.9%	34.4%	35.7%	6.7%	50.0%	0.0%
受けなくても大丈夫	22.3%	29.9%	22.2%	31.3%	7.1%	6.7%	0.0%	0.0%
めんどくさい	22.3%	13.4%	25.9%	18.8%	25.0%	40.0%	33.3%	0.0%
未回答	16.6%	17.9%	17.3%	18.8%	10.7%	13.3%	16.7%	0.0%
不明	1.3%	3.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

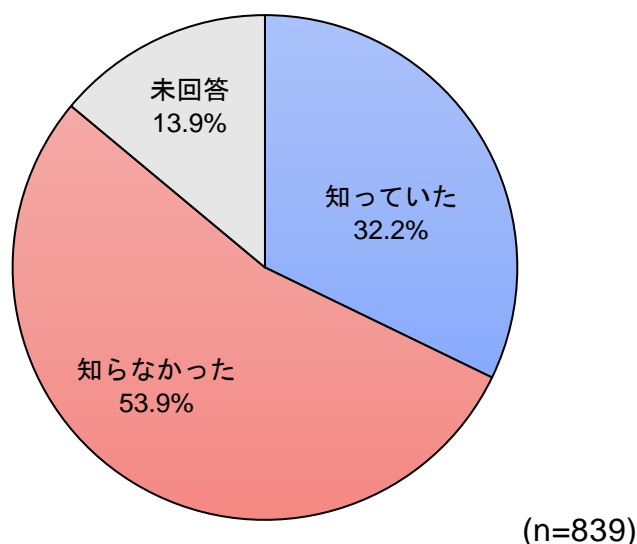
(3) 子育て支援について

問 10. 安曇野市では豊かな自然環境を保育に取り入れ、子どもたちの学びや感性を育む「自然保育」に取り組んでいます。そのことを知っていましたか。

「知らなかった」(53.9%)、「知っていた」(32.2%)と過半数が知らず、認知は3割程度になった。

年代別では「知らなかった」は、18～29歳(69.1%)及び60代(63.2%)で高く、70代以上(46.7%)で低かった。「知っていた」は30代(50.6%)で高かった。「未回答」は、18～29歳(3.6%)及び30代(1.1%)で低く、70歳以上(22.6%)で高かった。

図表 95 「自然保育」への取り組みについての認知度



図表 96 【年代別】「自然保育」への取り組みについての認知度

	全体 (n=839)	18～29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
知っていた	32.2%	27.3%	50.6%	38.3%	28.1%	24.3%	30.7%	25.0%	50.0%
知らなかった	53.9%	69.1%	48.3%	53.1%	56.8%	63.2%	46.7%	25.0%	50.0%
未回答	13.9%	3.6%	1.1%	8.6%	15.1%	12.5%	22.6%	50.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 97 【居住地区別】「自然保育」への取り組みについての認知度

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
知っていた	32.2%	33.5%	29.7%	32.3%	30.3%	40.7%	42.9%	0.0%
知らなかった	53.9%	54.0%	53.7%	58.2%	53.9%	42.6%	42.9%	0.0%
未回答	13.9%	12.5%	16.6%	9.5%	15.8%	16.7%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(4) スポーツについて

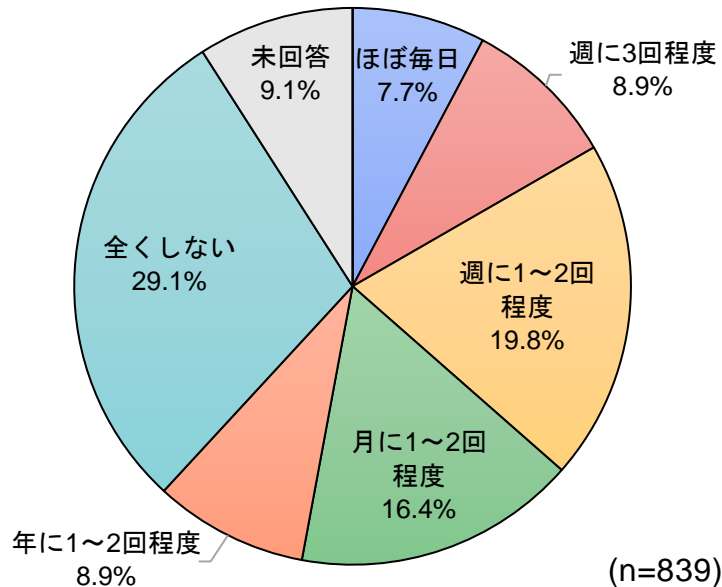
問 11. あなたの運動又はスポーツの頻度について教えてください

「全くしない」(29.1%) が最も高く、次いで「週に1~2回程度」(19.8%)、「月に1~2回程度」(16.4%)、「未回答」(9.1%)、「週に3回程度」(8.9%)、「年に1~2回程度」(8.9%)、「ほぼ毎日」(7.7%) の順となった。

年代別では、「月に1~2回程度」は18~29歳(32.7%)及び30代(27.0%)で高かった。「年に1~2回程度」は70代以上(12.6%)で低く、「ほぼ毎日」は60代(14.5%)で高かった。

居住地区別では、「全くしない」は明科地区(44.4%)で高く、「週に1~2回」は明科地区(7.4%)で低かった。

図表 98 運動又はスポーツの頻度



図表 99 【年代別】運動又はスポーツの頻度

	全体 (n=839)	18~29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
ほぼ毎日	7.7%	5.5%	2.2%	8.6%	7.9%	14.5%	5.9%	0.0%	0.0%
週に3回程度	8.9%	5.5%	4.5%	7.8%	7.9%	8.6%	12.6%	0.0%	0.0%
週に1~2回程度	19.8%	16.4%	24.7%	26.6%	15.8%	16.4%	20.0%	0.0%	0.0%
月に1~2回程度	16.4%	32.7%	27.0%	18.0%	15.1%	10.5%	12.6%	0.0%	100.0%
年に1~2回程度	8.9%	12.7%	14.6%	8.6%	12.2%	8.6%	5.2%	0.0%	0.0%
全くしない	29.1%	20.0%	25.8%	25.8%	32.4%	36.8%	27.4%	50.0%	0.0%
未回答	9.1%	7.3%	1.1%	4.7%	8.6%	4.6%	16.3%	50.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 100 【居住地区別】運動又はスポーツの頻度

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
ほぼ毎日	7.7%	7.3%	9.5%	6.3%	7.9%	5.6%	0.0%	0.0%
週に3回程度	8.9%	11.3%	7.1%	8.2%	9.2%	9.3%	14.3%	0.0%
週に1~2回程度	19.8%	21.4%	20.6%	22.8%	13.2%	7.4%	28.6%	0.0%
月に1~2回程度	16.4%	14.9%	17.9%	15.8%	18.4%	16.7%	0.0%	0.0%
年に1~2回程度	8.9%	10.5%	8.1%	9.5%	6.6%	7.4%	14.3%	0.0%
全くしない	29.1%	23.4%	28.7%	30.4%	35.5%	44.4%	28.6%	0.0%
未回答	9.1%	11.3%	8.1%	7.0%	9.2%	9.3%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(5) 教育・学習について

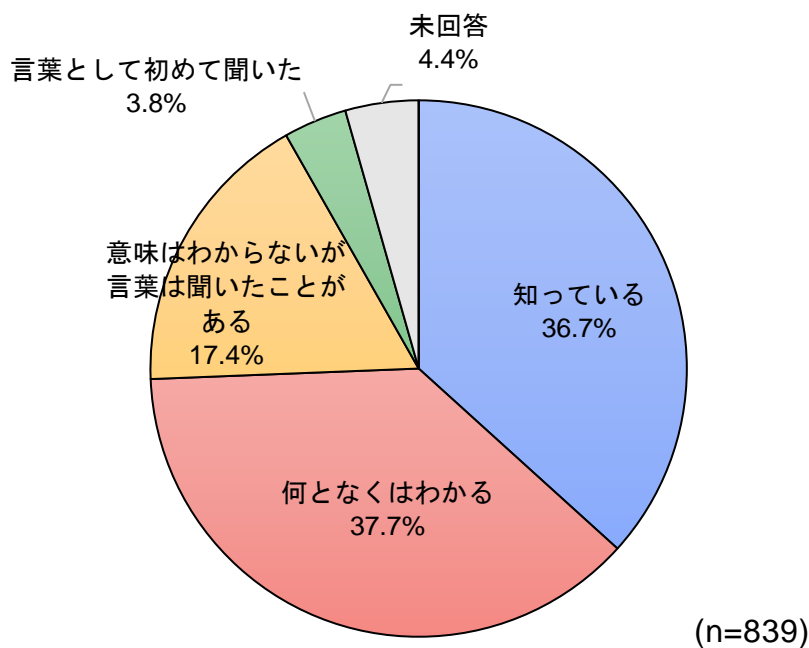
問 12. 「生涯学習」という言葉の意味を知っていますか。

※「生涯学習」とは、乳幼児期から高齢期まで人生の各段階で、個人や家庭、職場、地域社会に生じる課題等に応じて、自己実現や社会貢献、地域の課題解決を目指し、自発的意思に基づいて行うことを基本とした学習活動です。

「何となくはわかる」(37.7%) が最も高く、次いで「知っている」(36.7%)、「意味は分からないが言葉は聞いたことがある」(17.4%)、「言葉として初めて聞いた」(3.8%) となった。

年代別では、「何となくはわかる」は30代(48.3%)で高く、「意味は分からないが言葉は聞いたことがある」は50代(24.5%)で高く、70代以上(11.9%)で低かった。「言葉として初めて聞いた」は18~29歳(18.2%)で高かった。

図表 101 「生涯学習」という言葉の認知度



図表 102 【年代別】「生涯学習」という言葉の認知度

	全体 (n=839)	18~29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
知っている	36.7%	36.4%	27.0%	31.3%	36.0%	38.2%	42.2%	0.0%	100.0%
何となくはわかる	37.7%	25.5%	48.3%	42.2%	36.7%	42.1%	33.0%	25.0%	0.0%
意味は分からないが言葉は聞いたことがある	17.4%	20.0%	19.1%	21.1%	24.5%	16.4%	11.9%	0.0%	0.0%
言葉として初めて聞いた	3.8%	18.2%	5.6%	4.7%	1.4%	2.0%	1.9%	25.0%	0.0%
未回答	4.4%	0.0%	0.0%	0.8%	1.4%	1.3%	11.1%	50.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

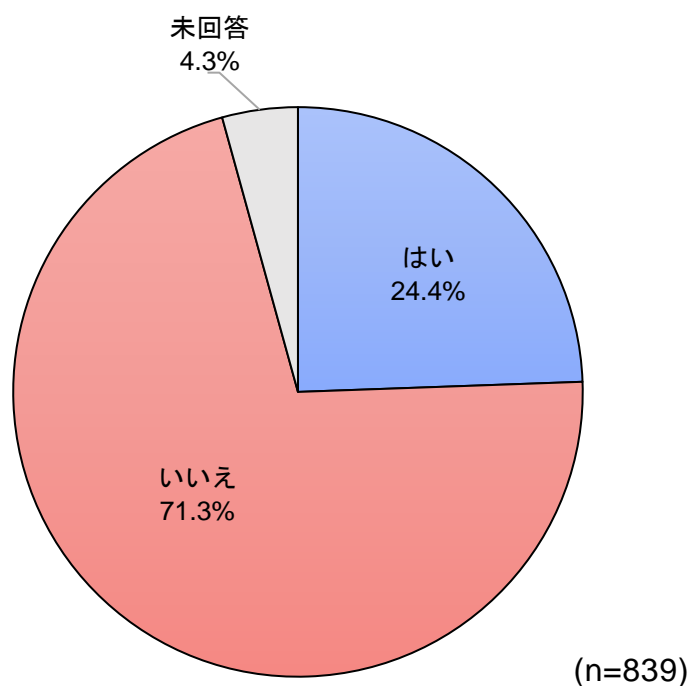
図表 103 【居住地区別】「生涯学習」という言葉の認知度

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
知っている	36.7%	39.1%	35.5%	32.9%	36.8%	42.6%	42.9%	0.0%
何となくはわかる	37.7%	37.1%	38.5%	39.9%	36.8%	31.5%	28.6%	0.0%
意味は分からないが言葉は聞いたことがある	17.4%	18.1%	15.5%	19.6%	15.8%	20.4%	14.3%	0.0%
言葉として初めて聞いた	3.8%	2.4%	5.1%	3.2%	5.3%	3.7%	0.0%	0.0%
未回答	4.4%	3.2%	5.4%	4.4%	5.3%	1.9%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 13. あなたはこの5年くらいの間に、生涯学習の取り組みをしましたか。

「いいえ」(71.3%) 及び「はい」(24.4%) となった。
年代別では、「いいえ」は70代以上(63.0%)で低かった。

図表 104 生涯学習の取り組み状況



図表 105 【年代別】生涯学習の取り組み状況

	全体 (n=839)	18~29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
はい	24.4%	32.7%	27.0%	21.1%	22.3%	21.1%	26.3%	25.0%	50.0%
いいえ	71.3%	67.3%	73.0%	78.1%	76.3%	77.6%	63.0%	25.0%	50.0%
未回答	4.3%	0.0%	0.0%	0.8%	1.4%	1.3%	10.7%	50.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 106 【居住地区別】生涯学習の取り組み状況

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
はい	24.4%	26.6%	23.0%	26.6%	22.4%	20.4%	14.3%	0.0%
いいえ	71.3%	70.2%	72.3%	69.0%	71.1%	77.8%	71.4%	0.0%
未回答	4.3%	3.2%	4.7%	4.4%	6.6%	1.9%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

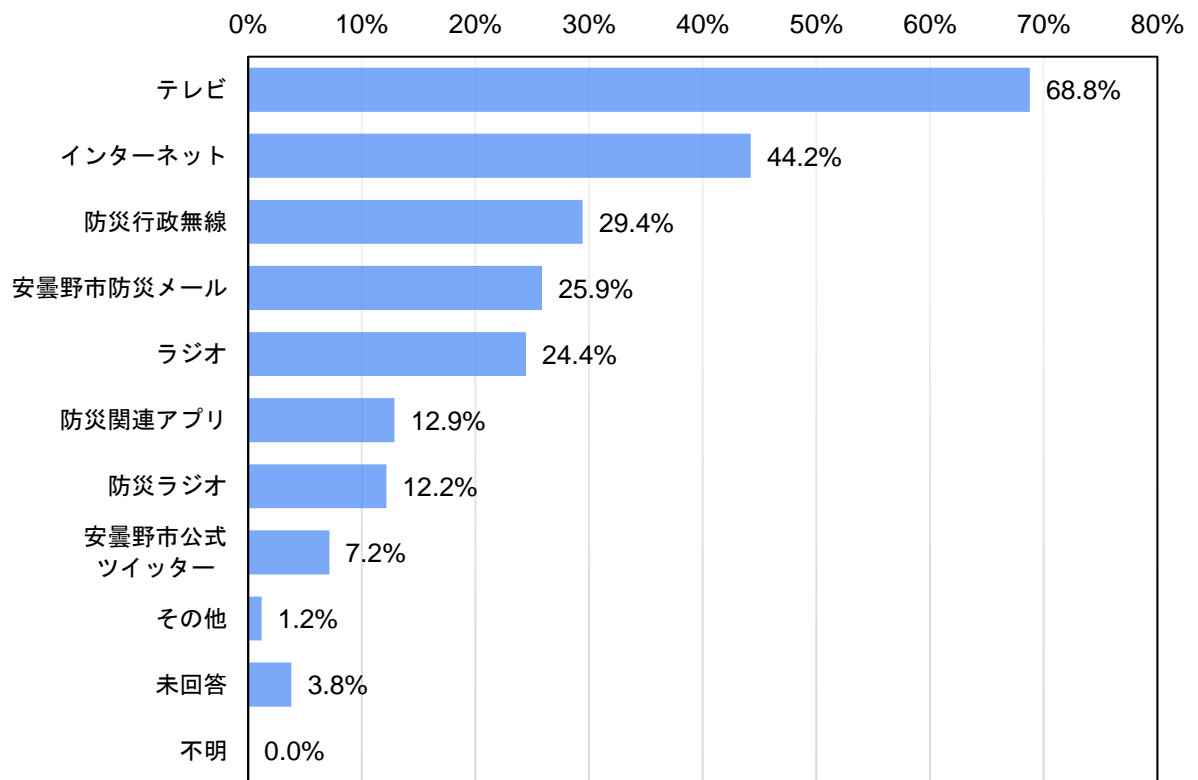
(8) 防災・防犯について

問 14. あなたの災害関連情報の入手方法についてご回答ください。(〇はいくつでも)

「テレビ」(68.8%) が最も多く、次いで「インターネット」(44.2%)、「防災行政無線」(29.4%)、「安曇野市防災メール」(25.9%)、「ラジオ」(24.4%)、「防災関連アプリ」(12.9%)、「防災ラジオ」(12.2%) の順となった。

年代別では、「インターネット」は 18～29 歳 (65.5%)、30 代 (76.4%)、40 代 (67.2%)、50 代 (53.2%) で高く、70 代以上 (17.8%) で低かった。一方で「防災行政無線」は 18～29 歳 (12.7%)、30 代 (18.0%)、40 代 (19.5%) で低く、70 代以上 (36.3%) で高かった。「ラジオ」は 30 代 (11.2%) で低く、70 代以上 (32.2%) で高かった。「防災関連アプリ」は 70 代以上 (7.4%) で低かった。「防災ラジオ」は 30 代 (0.0%) で低く、70 代以上 (20.4%) で高かった。「安曇野市公式ツイッター」は 18～29 歳 (16.4%)、30 代 (13.5%) で高く、70 代以上 (3.7%) で低かった。

図表 107 災害関連情報の入手方法



(n=839)

図表 108 【年代別】災害関連情報の入手方法

	全体 (n=839)	18～29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
テレビ	68.8%	56.4%	64.0%	68.0%	69.8%	72.4%	70.7%	50.0%	100.0%
インターネット	44.2%	65.5%	76.4%	67.2%	53.2%	36.8%	17.8%	25.0%	100.0%
防災行政無線	29.4%	12.7%	18.0%	19.5%	32.4%	36.8%	36.3%	0.0%	0.0%
安曇野市防災メール	25.9%	14.5%	24.7%	31.3%	30.9%	32.9%	20.0%	0.0%	0.0%
ラジオ	24.4%	16.4%	11.2%	21.9%	22.3%	25.7%	32.2%	25.0%	0.0%
防災関連アプリ	12.9%	12.7%	18.0%	15.6%	15.8%	14.5%	7.4%	25.0%	0.0%
防災ラジオ	12.2%	7.3%	0.0%	10.9%	10.1%	9.9%	20.4%	0.0%	0.0%
安曇野市公式ツイッター	7.2%	16.4%	13.5%	8.6%	8.6%	3.9%	3.7%	0.0%	0.0%
その他	1.2%	1.8%	1.1%	0.8%	0.0%	0.7%	1.9%	25.0%	0.0%
未回答	3.8%	7.3%	0.0%	0.0%	2.2%	2.0%	7.4%	50.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

居住地区別では、明科地区において、「インターネット」(24.1%)が低く、「防災行政無線」(48.1%)、
「防災ラジオ」(24.1%)が高かった。

図表 109 【居住地区別】災害関連情報の入手方法

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
テレビ	68.8%	71.8%	67.2%	71.5%	63.2%	66.7%	42.9%	0.0%
インターネット	44.2%	48.8%	42.9%	49.4%	39.5%	24.1%	28.6%	0.0%
防災行政無線	29.4%	24.6%	29.4%	31.6%	27.6%	48.1%	28.6%	0.0%
安曇野市防災メール	25.9%	26.2%	25.7%	26.6%	21.1%	31.5%	14.3%	0.0%
ラジオ	24.4%	24.2%	23.0%	25.9%	27.6%	24.1%	28.6%	0.0%
防災関連アプリ	12.9%	14.1%	10.8%	10.8%	18.4%	18.5%	0.0%	0.0%
防災ラジオ	12.2%	11.3%	13.9%	7.0%	10.5%	24.1%	14.3%	0.0%
安曇野市公式ツイッター	7.2%	10.9%	5.7%	7.0%	3.9%	3.7%	0.0%	0.0%
その他	1.2%	2.4%	0.7%	0.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	3.8%	3.2%	3.7%	3.8%	5.3%	3.7%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

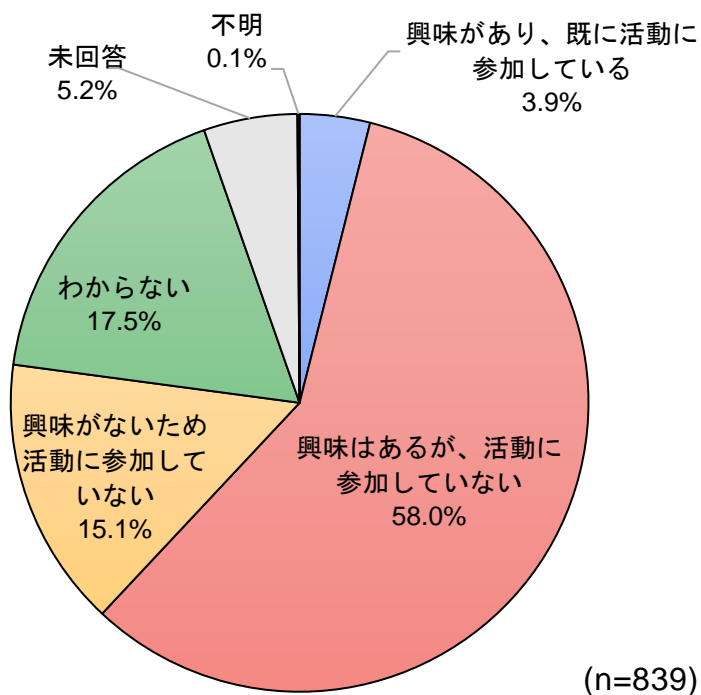
(10) 農林水産業について

問 15. あなたは、里山再生、森林保全といった活動に興味がありますか。

「興味があり、すでに活動に参加している」と「興味があるが、活動に参加していない」を合わせた 61.9%が里山再生及び森林保全活動に興味があると答えた。

具体的には、「興味があるが、活動に参加していない」(58.0%) が最も高く、次いで「わからない」(17.5%)、「興味がないため活動に参加していない」(15.1%)、「未回答」(5.2%)、「興味があり、すでに活動に参加している」(3.9%) の順となった。

図表 110 里山再生及び森林保全活動への興味



年代別では、「興味があるが、活動に参加していない」は60代（70.4%）で高かった。「興味がないため活動に参加していない」は30代（27.0%）及び40代（25.8%）で高く、70代以上（9.6%）で低かった。「未回答」は50代（1.4%）で低く、70代以上（10.7%）で高かった。

居住地区別では、「興味があるが、活動に参加していない」は堀金地区（40.8%）で低く、「わからない」は堀金地区（27.6%）で高かった。「興味がないため活動に参加していない」は三郷地区（22.8%）で高かった。

図表 111 【年代別】里山再生及び森林保活動への興味

	全体 (n=839)	18~29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
興味があり、既に活動に参加している	3.9%	5.5%	2.2%	4.7%	3.6%	3.9%	4.1%	0.0%	0.0%
興味はあるが、活動に参加していない	58.0%	50.9%	49.4%	53.9%	60.4%	70.4%	57.0%	0.0%	50.0%
興味がないため活動に参加していない	15.1%	23.6%	27.0%	25.8%	11.5%	9.9%	9.6%	0.0%	0.0%
わからない	17.5%	20.0%	18.0%	14.1%	23.0%	12.5%	18.5%	25.0%	0.0%
未回答	5.2%	0.0%	3.4%	1.6%	1.4%	3.3%	10.7%	50.0%	50.0%
不明	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%

図表 112 【居住地区別】里山再生及び森林保活動への興味

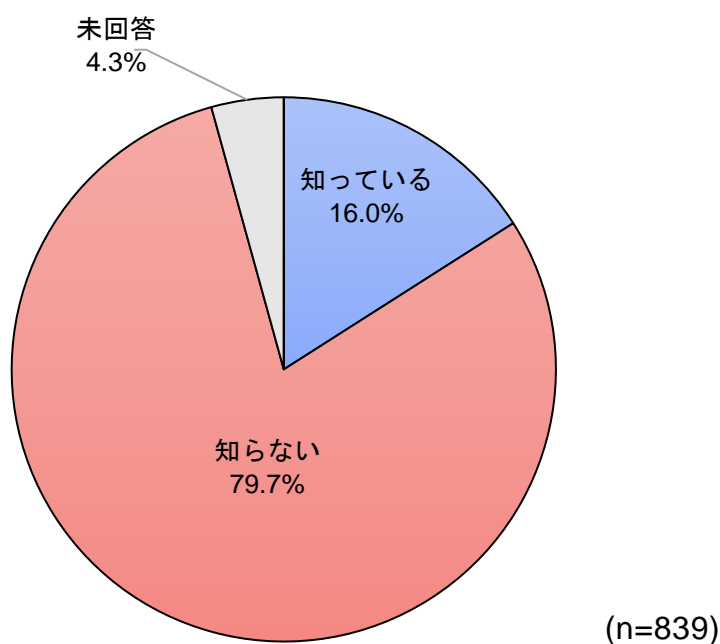
	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
興味があり、既に活動に参加している	3.9%	3.2%	3.0%	2.5%	7.9%	9.3%	14.3%	0.0%
興味はあるが、活動に参加していない	58.0%	62.1%	63.5%	52.5%	40.8%	50.0%	57.1%	0.0%
興味がないため活動に参加していない	15.1%	14.5%	11.5%	22.8%	15.8%	14.8%	14.3%	0.0%
わからない	17.5%	16.1%	16.6%	16.5%	27.6%	20.4%	0.0%	0.0%
未回答	5.2%	4.0%	5.4%	5.1%	7.9%	5.6%	14.3%	0.0%
不明	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 16. 市では、平成 27 年度に「里山再生計画」を策定し、その計画に関連し里山再生を行う取り組みを「さとぶろ。」と位置づけ、里山が抱える課題の解決について様々な取り組みを行っています。あなたは「さとぶろ。」を知っていますか。

「知らない」(79.7%) 及び「知っている」(16.0%) となった。「さとぶろ。」認知度は 2 割を切っていた。

年代別では、「知らない」は 30 代 (88.8%) で高く、70 代以上 (72.6%) で低かった。

図表 113 「さとぶろ。」の認知度



図表 114 【年代別】「さとぶろ。」の認知度

	全体 (n=839)	18~29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
知っている	16.0%	10.9%	10.1%	18.0%	15.8%	15.1%	18.5%	25.0%	0.0%
知らない	79.7%	89.1%	88.8%	80.5%	83.5%	81.6%	72.6%	25.0%	50.0%
未回答	4.3%	0.0%	1.1%	1.6%	0.7%	3.3%	8.9%	50.0%	50.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 115 【居住地区別】「さとぶろ。」の認知度

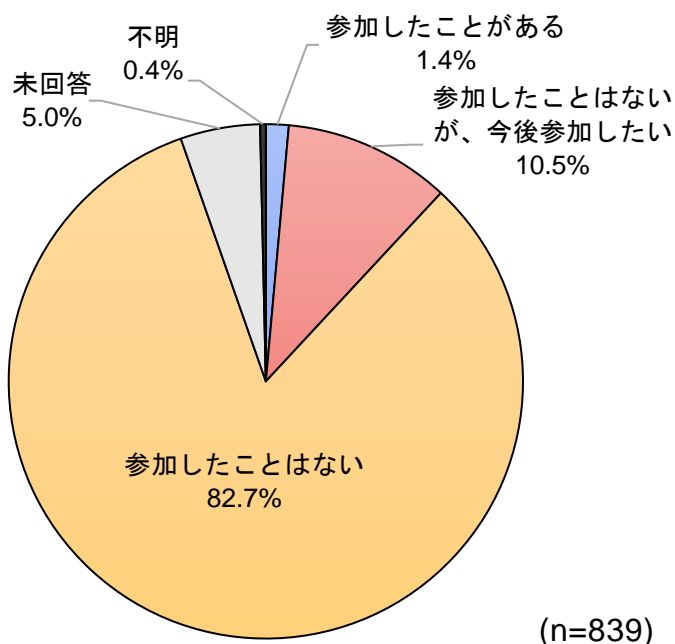
	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
知っている	16.0%	18.1%	16.2%	10.8%	13.2%	24.1%	14.3%	0.0%
知らない	79.7%	79.4%	78.7%	84.2%	81.6%	72.2%	71.4%	0.0%
未回答	4.3%	2.4%	5.1%	5.1%	5.3%	3.7%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 17. あなたは「さとぶろ。」の活動に参加したことはありますか。

「参加したことはない」(82.7%) が最も高く、次いで「参加したことはないが、今後参加したい」(10.5%)、「未回答」(5.0%)、「参加したことがある」(1.4%) の順となった。

居住地区別では、「参加したことがある」は明科地区 (5.6%) で高かった。

図表 116 「さとぶろ。」活動への参加状況



図表 117 【年代別】「さとぶろ。」活動への参加状況

	全体 (n=839)	18~29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
参加したことがある	1.4%	0.0%	2.2%	1.6%	0.7%	0.7%	2.2%	0.0%	0.0%
参加したことはないが、今後参加したい	10.5%	12.7%	6.7%	11.7%	12.9%	10.5%	9.3%	0.0%	50.0%
参加したことはない	82.7%	85.5%	87.6%	84.4%	84.9%	84.9%	78.5%	50.0%	0.0%
未回答	5.0%	0.0%	2.2%	2.3%	1.4%	3.3%	10.0%	50.0%	50.0%
不明	0.4%	1.8%	1.1%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%

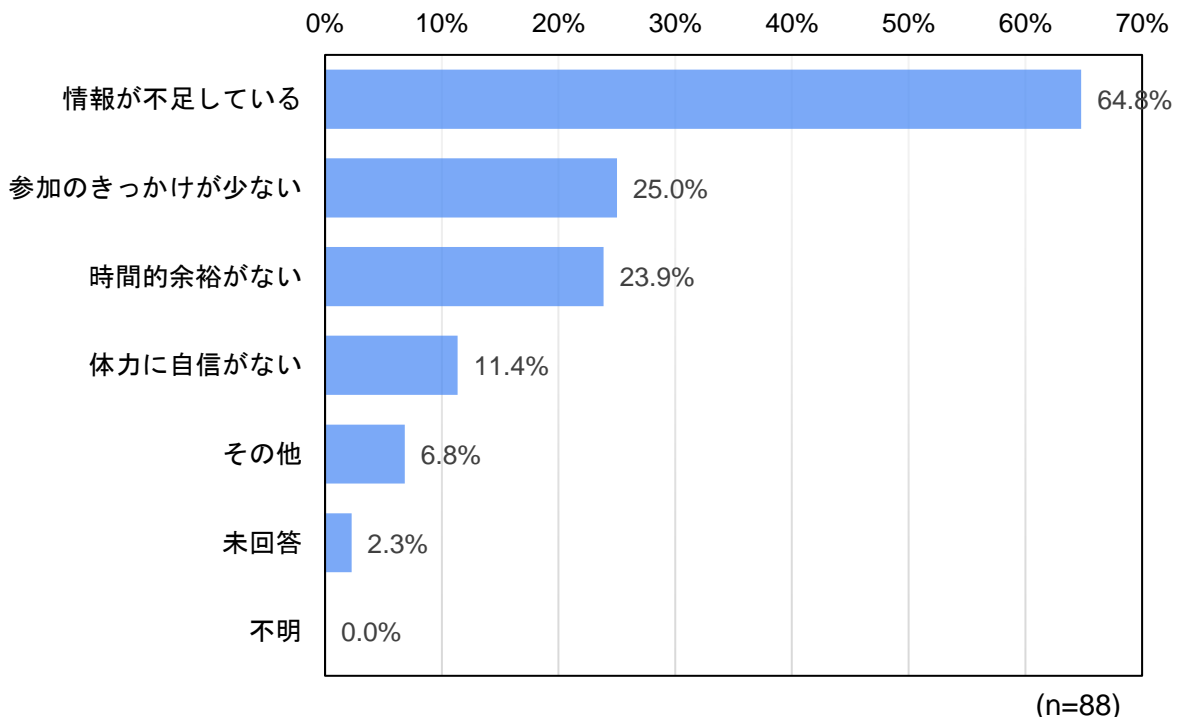
図表 118 【居住地区別】「さとぶろ。」活動への参加状況

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
参加したことがある	1.4%	1.6%	1.0%	0.6%	1.3%	5.6%	0.0%	0.0%
参加したことはないが、今後参加したい	10.5%	10.1%	13.2%	9.5%	6.6%	7.4%	0.0%	0.0%
参加したことはない	82.7%	85.5%	79.4%	83.5%	84.2%	83.3%	85.7%	0.0%
未回答	5.0%	2.8%	5.7%	5.7%	7.9%	3.7%	14.3%	0.0%
不明	0.4%	0.0%	0.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(1) 問17で「参加したことはないが、今後参加したい」を選択した方にお伺いします。参加していなかった理由はなんですか。

「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した方に聞いたところ、「情報が不足している」(64.8%)が最も高く、次いで「参加のきっかけが少ない」(25.0%)、「時間的余裕がない」(23.9%)、「体力に自信がない」(11.4%)の順となった。
 居住地区別では、「時間的余裕がない」は明科地区(75.0%)が高かったが、有効回答数が少なく過誤の可能性はある。

図表 119 参加していなかった理由



図表 120 【年代別】参加していなかった理由

	全体 (n=88)	18~29歳 (n=7)	30代 (n=6)	40代 (n=15)	50代 (n=18)	60代 (n=16)	70代以上 (n=25)	未回答 (n=0)	不明 (n=1)
情報が不足している	64.8%	71.4%	50.0%	46.7%	66.7%	68.8%	72.0%	0.0%	100.0%
参加のきっかけが少ない	25.0%	57.1%	33.3%	13.3%	16.7%	37.5%	20.0%	0.0%	0.0%
時間的余裕がない	23.9%	28.6%	50.0%	46.7%	27.8%	12.5%	8.0%	0.0%	0.0%
体力に自信がない	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%	27.8%	12.5%	12.0%	0.0%	0.0%
その他	6.8%	14.3%	0.0%	6.7%	5.6%	6.3%	8.0%	0.0%	0.0%
未回答	2.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

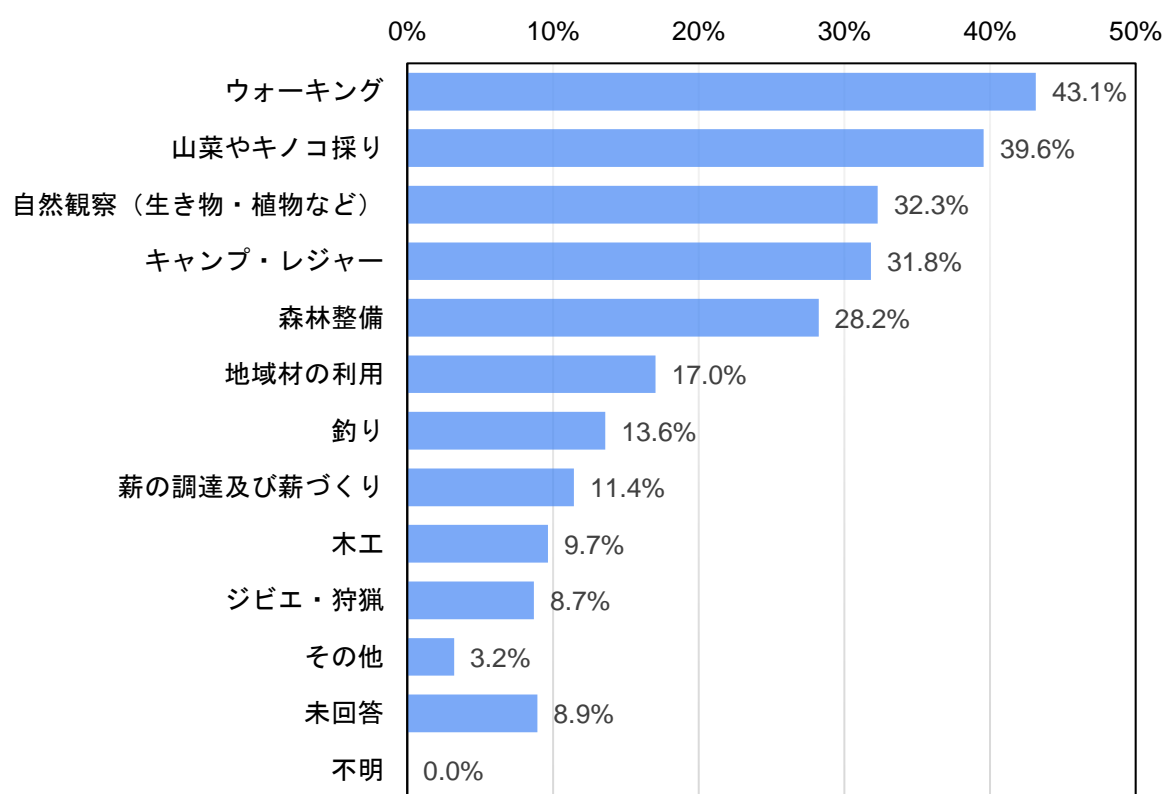
図表 121 【居住地区別】参加していなかった理由

	全体 (n=88)	豊科 (n=25)	穂高 (n=39)	三郷 (n=15)	堀金 (n=5)	明科 (n=4)	未回答 (n=0)	不明 (n=0)
情報が不足している	64.8%	60.0%	64.1%	66.7%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
参加のきっかけが少ない	25.0%	24.0%	28.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
時間的余裕がない	23.9%	32.0%	15.4%	20.0%	20.0%	75.0%	0.0%	0.0%
体力に自信がない	11.4%	4.0%	15.4%	13.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
その他	6.8%	4.0%	5.1%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	2.3%	4.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 18. あなたが、身近な山林での活動において興味があるものは何ですか。(〇はいくつでも)

「ウォーキング」(43.1%)が最も高く、次いで「山菜やキノコ採り」(39.6%)、「自然観察」(32.3%)、「キャンプ・レジャー」(31.8%)、「森林整備」(28.2%)、「地域材の利用」(17.0%)、「釣り」(13.6%)、「薪の調達及び薪づくり」(11.4%)、「木工」(9.7%)、「ジビエ・狩猟」(8.7%)の順となった。

図表 122 興味がある身近な山林活動



(n=839)

年代別では、「キャンプ・レジャー」は30代(56.2%)及び40代(55.5%)で高く、60代(20.4%)及び70代以上(15.2%)で低かった。「森林整備」は30代(15.7%)で低く、「地域材の利用」は40代(26.6%)で高く、70代以上(11.1%)で低かった。「釣り」は40代(22.7%)で高く、60代(7.2%)及び70代以上(6.7%)で低かった。「薪の調達及び薪づくり」は50代(18.0%)で高く、70代以上(7.0%)で低かった。「木工」は30代(13.5%)で高く、70代以上(4.1%)で低かった。「ジビエ・狩猟」は40代(16.4%)で高く、60代(3.9%)及び70代以上(3.0%)で低かった。70代以上では他の世代と比べて、割合が低い項目が多かったが、「ウォーキング」「山菜やキノコ採り」及び「自然観察」については他世代と同程度の割合であった。

居住地区別では、「山菜やキノコ採り」は堀金地区(27.6%)で低く、「薪の調達及び薪づくり」は明科地区(20.4%)で高かった。

図表 123 【年代別】興味がある身近な山林活動

	全体 (n=839)	18~29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
ウォーキング	43.1%	40.0%	41.6%	46.9%	40.3%	46.7%	42.6%	25.0%	0.0%
山菜やキノコ採り	39.6%	30.9%	32.6%	43.0%	41.7%	37.5%	42.6%	25.0%	0.0%
自然観察(生き物・植物など)	32.3%	32.7%	23.6%	31.3%	31.7%	36.8%	33.7%	25.0%	0.0%
キャンプ・レジャー	31.8%	38.2%	56.2%	55.5%	37.4%	20.4%	15.2%	25.0%	0.0%
森林整備	28.2%	21.8%	15.7%	26.6%	32.4%	34.9%	28.5%	25.0%	50.0%
地域材の利用	17.0%	20.0%	15.7%	26.6%	18.0%	18.4%	11.1%	25.0%	0.0%
釣り	13.6%	18.2%	20.2%	22.7%	19.4%	7.2%	6.7%	25.0%	0.0%
薪の調達及び薪づくり	11.4%	9.1%	16.9%	13.3%	18.0%	8.6%	7.0%	50.0%	0.0%
木工	9.7%	7.3%	13.5%	20.3%	10.1%	8.6%	4.1%	25.0%	0.0%
ジビエ・狩猟	8.7%	14.5%	14.6%	16.4%	10.8%	3.9%	3.0%	50.0%	0.0%
その他	3.2%	0.0%	4.5%	0.0%	4.3%	3.3%	4.4%	0.0%	0.0%
未回答	8.9%	5.5%	6.7%	3.9%	5.0%	5.3%	15.9%	50.0%	50.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 124 【居住地区別】興味がある身近な山林活動

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
ウォーキング	43.1%	40.7%	46.3%	41.8%	44.7%	37.0%	57.1%	0.0%
山菜やキノコ採り	39.6%	43.1%	39.5%	39.9%	27.6%	33.3%	85.7%	0.0%
自然観察(生き物・植物など)	32.3%	31.9%	32.1%	36.7%	27.6%	27.8%	42.9%	0.0%
キャンプ・レジャー	31.8%	37.5%	27.7%	34.2%	30.3%	22.2%	42.9%	0.0%
森林整備	28.2%	24.6%	30.1%	26.6%	27.6%	35.2%	71.4%	0.0%
地域材の利用	17.0%	16.5%	14.9%	19.0%	22.4%	16.7%	28.6%	0.0%
釣り	13.6%	14.9%	13.2%	15.8%	9.2%	9.3%	14.3%	0.0%
薪の調達及び薪づくり	11.4%	9.3%	11.8%	8.2%	15.8%	20.4%	28.6%	0.0%
木工	9.7%	9.7%	10.5%	9.5%	9.2%	5.6%	14.3%	0.0%
ジビエ・狩猟	8.7%	10.5%	7.4%	6.3%	7.9%	13.0%	28.6%	0.0%
その他	3.2%	2.8%	3.7%	1.9%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	8.9%	5.2%	8.8%	11.4%	13.2%	13.0%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(13) 地域ブランドについて

問 19. 小説『安曇野』を知っていますか。

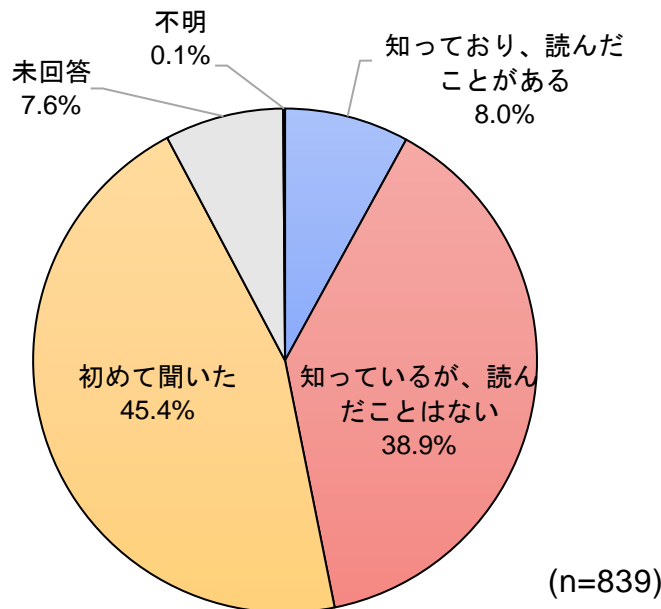
※小説『安曇野』は、安曇野などを舞台とした長編歴史小説で 1974 年に完結しました。作者は旧三田村（現在の安曇野市堀金）出身の白井吉見氏です。

「初めて聞いた」(45.4%) が最も高く、次いで「知っているが、読んだことはない」(38.9%)、「知っており、読んだことがある」(8.0%)、「未回答」(7.6%) の順となった。

年代別では、「初めて聞いた」は 18～29 歳 (74.5%)、30 代 (79.8%)、40 代 (66.4%) 及び 50 代 (59.0%) で高く、60 代 (35.5%) 及び 70 代以上 (17.0%) で低かった。「初めて聞いた」割合は年代が上がるほど低くなる傾向があると考えられる。「知っているが、読んだことはない」は 18～29 歳 (16.4%)、30 代 (15.7%)、及び 40 代 (26.6%) で低く、60 代 (51.3%) 及び 70 代以上 (51.9%) で高かった。「知っており、読んだことがある」は 30 代 (1.1%)、40 代 (2.3%) 及び 50 代 (0.0%) で低く、70 代以上 (19.6%) で高かった。

居住地区別では、「初めて聞いた」は三郷 (53.2%) で高かった。

図表 125 小説『安曇野』の認知度



図表 126 【年代別】小説『安曇野』の認知度

	全体 (n=839)	18～29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
知っており、読んだことがある	8.0%	1.8%	1.1%	2.3%	0.0%	5.9%	19.6%	0.0%	0.0%
知っているが、読んだことはない	38.9%	16.4%	15.7%	26.6%	36.0%	51.3%	51.9%	0.0%	50.0%
初めて聞いた	45.4%	74.5%	79.8%	66.4%	59.0%	35.5%	17.0%	25.0%	50.0%
未回答	7.6%	7.3%	3.4%	4.7%	5.0%	6.6%	11.5%	75.0%	0.0%
不明	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 127 【居住地区別】小説『安曇野』の認知度

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
知っており、読んだことがある	8.0%	8.5%	7.8%	6.3%	10.5%	9.3%	0.0%	0.0%
知っているが、読んだことはない	38.9%	33.5%	43.6%	34.2%	47.4%	37.0%	57.1%	0.0%
初めて聞いた	45.4%	52.8%	39.2%	53.2%	34.2%	40.7%	28.6%	0.0%
未回答	7.6%	5.2%	9.1%	6.3%	7.9%	13.0%	14.3%	0.0%
不明	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(16) デジタル社会・行政サービスについて

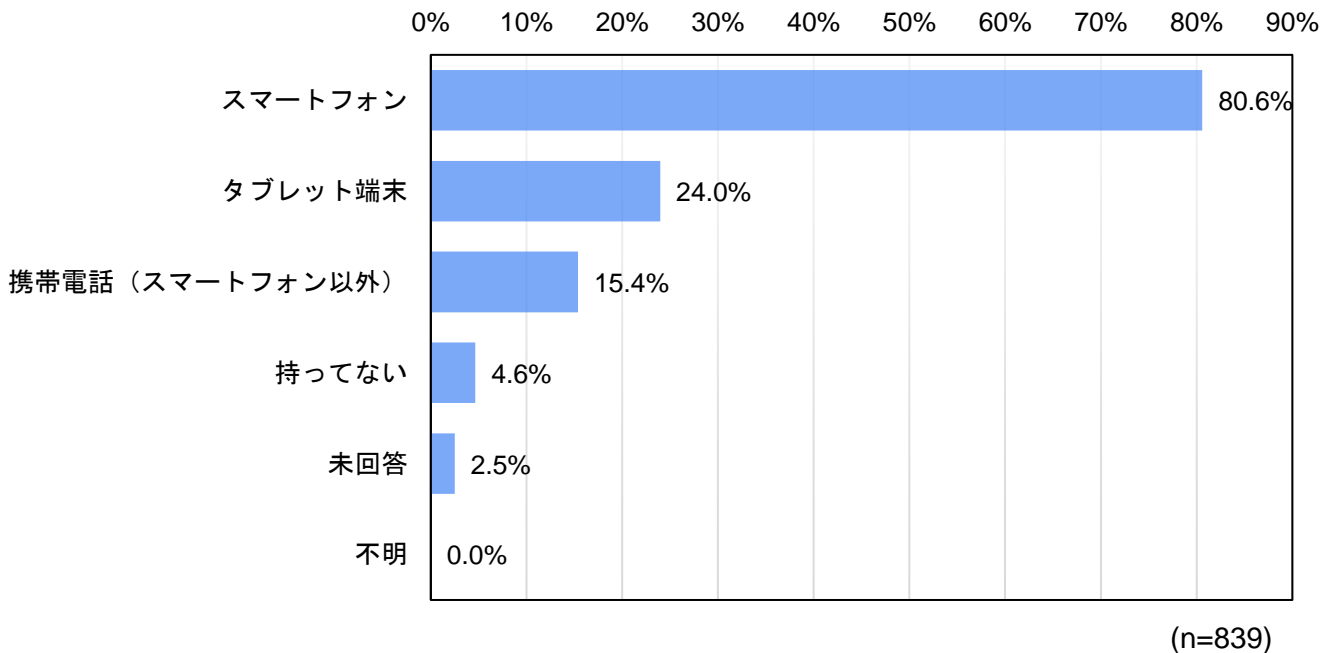
問 20. 次の中であなたが持っているデバイスについてご回答ください。(〇はいくつでも)

「スマートフォン」(80.6%) 最も高く、次いで「タブレット端末」(24.0%)、「携帯電話(スマートフォン以外)」(15.4%)、「持っていない」(4.6%) の順となった。

年代別では、「スマートフォン」は18~29歳(96.4%)、30代(97.8%)、40代(96.1%)、50代(89.9%)及び60代(88.2%)で高く、70代以上(55.9%)で低かった。「タブレット端末」は30代(34.8%)及び40代(37.5%)で高く、70代以上(10.0%)で低かった。「携帯電話(スマートフォン以外)」は18~29歳(3.6%)、30代(6.7%)及び40代(6.3%)で低く、70代以上(30.0%)で高かった。「持っていない」は30代(0.0%)及び40代(0.0%)で低く、70代以上(10.7%)で高かった。

居住地区別では、「スマートフォン」は明科(68.5%)で低く、「持っていない」は明科(11.1%)で高かった。

図表 128 所有デバイス



図表 129 【年代別】所有デバイス

	全体 (n=839)	18~29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
スマートフォン	80.6%	96.4%	97.8%	96.1%	89.9%	88.2%	55.9%	0.0%	50.0%
タブレット端末	24.0%	21.8%	34.8%	37.5%	29.5%	26.3%	10.0%	25.0%	50.0%
携帯電話(スマートフォン以外)	15.4%	3.6%	6.7%	6.3%	11.5%	10.5%	30.0%	0.0%	0.0%
持っていない	4.6%	3.6%	0.0%	0.0%	1.4%	3.3%	10.7%	0.0%	50.0%
未回答	2.5%	0.0%	0.0%	0.8%	0.7%	2.0%	5.2%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 130 【居住地区別】所有デバイス

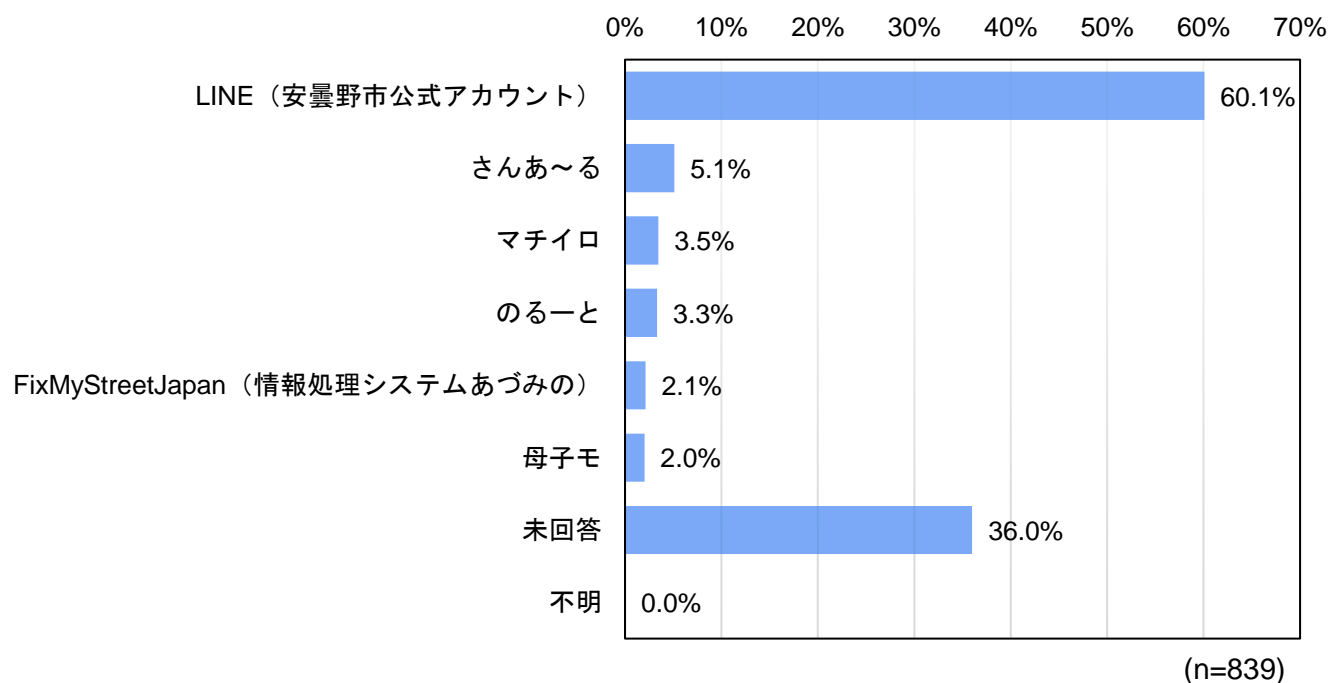
	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
スマートフォン	80.6%	83.9%	80.1%	79.7%	84.2%	68.5%	57.1%	0.0%
タブレット端末	24.0%	25.4%	23.3%	23.4%	23.7%	20.4%	42.9%	0.0%
携帯電話(スマートフォン以外)	15.4%	16.9%	14.5%	15.8%	13.2%	13.0%	28.6%	0.0%
持っていない	4.6%	3.6%	5.4%	3.8%	2.6%	11.1%	0.0%	0.0%
未回答	2.5%	0.4%	3.0%	3.2%	1.3%	7.4%	14.3%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 21. 次の中であなたが使ってみたいまたは使っている市が提供しているアプリについてご回答ください。(〇はいくつでも)

「LINE (安曇野市公式アカウント)」(60.1%) が最も高く、次いで「未回答」(36.0%)、「さんあ〜る」(5.1%)、「マチイロ」(3.5%)、「のるーと」(3.3%)、「FixMyStreetJapan (情報処理システムあづみの)」(2.1%)、「母子モ」(2.0%) の順となった。「未回答」が4割程度となっており、使ってみたいと感じていない市民が一定数いると考えられる。

年代別では、「LINE (安曇野市公式アカウント)」は30代(82.0%)、40代(75.8%)及び50代(69.1%)で高く、70代以上(38.9%)で低かった。一方で「未回答」は30代(15.7%)、40代(22.7%)及び50代(24.5%)で低く、70代以上(56.3%)で高かった。「母子モ」は18~29歳(9.1%)及び30代(7.9%)で高く、70代以上(0.0%)で低かった。

図表 131 使ってみたいまたは使っている市提供のアプリ



図表 132 【年代別】使ってみたいまたは使っている市提供のアプリ

	全体 (n=839)	18~29歳 (n=55)	30代 (n=89)	40代 (n=128)	50代 (n=139)	60代 (n=152)	70代以上 (n=270)	未回答 (n=4)	不明 (n=2)
LINE (安曇野市公式アカウント)	60.1%	69.1%	82.0%	75.8%	69.1%	61.8%	38.9%	0.0%	50.0%
さんあ〜る	5.1%	3.6%	9.0%	9.4%	5.8%	3.3%	3.0%	0.0%	0.0%
マチイロ	3.5%	1.8%	2.2%	3.1%	4.3%	3.3%	4.1%	0.0%	0.0%
のるーと	3.3%	0.0%	0.0%	3.9%	3.6%	4.6%	4.1%	0.0%	0.0%
FixMyStreetJapan (情報処理システムあづみの)	2.1%	1.8%	2.2%	3.9%	1.4%	0.7%	2.6%	0.0%	0.0%
母子モ	2.0%	9.1%	7.9%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	36.0%	23.6%	15.7%	22.7%	24.5%	36.2%	56.3%	100.0%	50.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 133 【居住地区別】使ってみたいまたは使っている市提供のアプリ

	全体 (n=839)	豊科 (n=248)	穂高 (n=296)	三郷 (n=158)	堀金 (n=76)	明科 (n=54)	未回答 (n=7)	不明 (n=0)
LINE (安曇野市公式アカウント)	60.1%	60.9%	60.5%	58.2%	63.2%	55.6%	57.1%	0.0%
さんあ〜る	5.1%	6.5%	5.1%	3.8%	3.9%	3.7%	14.3%	0.0%
マチイロ	3.5%	3.6%	4.1%	1.3%	5.3%	3.7%	0.0%	0.0%
のるーと	3.3%	2.4%	4.7%	2.5%	3.9%	1.9%	0.0%	0.0%
FixMyStreetJapan (情報処理システムあづみの)	2.1%	2.8%	1.7%	2.5%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
母子モ	2.0%	2.4%	1.7%	1.9%	2.6%	1.9%	0.0%	0.0%
未回答	36.0%	35.5%	35.8%	36.7%	31.6%	42.6%	42.9%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他

問 22. その他、市へのご意見やご提案などあれば記載してください。(自由記載)

【生活環境】

〈公共施設〉

- トイレ付の公園を増やしていただきたい。(冬季も利用できるトイレ)
- 施設を安くしてほしい。
- 日頃は、市民のためにお心遣いをいただいて感謝です。ぜひともお願いしたいことがあります。南中、南小(豊科)の学区内に、図書館がありません。車で行かれない小中学生や、自分で歩いて行かれる高齢者が楽しみに通える、南部公園の近くに、早急に設置してほしいです。
- 子どもの遊ぶ場所があるにはあるが、どこも皆が楽しく遊べる公園や場所が少ないと思います。
- 南部公園クラスの物がいくつかあればと思いますし、それぞれ特色も出して子どもやたくさんの方が交流、外に出て遊ぶ場所として認知させて、遠くまで遊びに行かなくても良いと思える場所を作ったり、プール等や若者が集える施設を考えてもらいたい。年配主体の行政というか考えでは発展しないと思います。
- 市内の小中学校のトイレをきれいにしてあげてほしい。そのための寄附やクラウドファンディングなどの場があれば協力したい気持ちは山々だが、自分が立ち上げるまでの苦労は日々の子育てや仕事でなかなか担えないので、市でそのような場を設けてもらえたらなと思っている。
- 安曇野ランドのプールは、本当になくなってしまうのですか？市内に公共のプールは1つもなくなってしまうのですね。確か市議会で1票差だったはずですが、それでも、なくすのですか？自分の家の近くに体育館を作った宮澤市長がプールをやめる方向を出していったので、太田市長はただそれに乗っているだけって、本当ですか。一度壊したら、新たに作るのは大変なんですよ。プールがないから松本市へ移住しようかな。
- 図書館の本を更に充実していただきたい。
- 体育館などの新しい施設など不要、無駄だ。
- 新しく安曇野市墓地公園の開発を希望します。
- 安曇野市でも、樹木葬できる所を造ってほしいです。よろしく願いいたします。
- 明科の駅の前を無料の駐車場があっても良いと思います。
- 図書館施設の充実是他市町村に比べてとても良いです。自習室がおそくまで開いていて有り難いです。

【医療・福祉・人権】

〈医療体制〉

- 安曇野日赤の評判が良くない。職場の人間関係はどうなっているのか。対応してほしい。
- 松本市はコロナの医療費がタダだが安曇野市はお金がかかった。地域によって差がある。
- 福祉医療充実化(松本市と比べて)
- 医療費の拡大。

〈障がい者福祉〉

- 障がい者には、温泉施設は年パスでも良いと思う。
- 障害者施策、バリアフリー等、福祉分野は遅れている。
- 障害者への受け皿の充実をしてほしい。
- 身体及び精神障害者に対する、就職支援サービスの充実を計画してほしい。現在は非正規で仕事をしている身だが、今まで正規で雇用された経験はなかったとえ雇われだとしても試用期間内で切られることばかりで正直働くことの意欲が湧かなくなってきたりもする。このまま諦めたくもないのに諦めざるを得ない状況にはうんざりだ。安定した収入がなければ結婚などには絶対に進めないし、それらが整わなければ少子高齢化が加速するだけだ。

〈高齢者福祉〉

- 市と各区と連絡を取り合い高齢者の要請があれば除雪、生活用品の購入等の支援ができるような体制づくりをお願い致します。
- 子どもに対しての手当も大事かもしれませんが、高齢者でも困っている人たちはいると思います。すべての人に平等であってほしいです。本当に困っている人を助けてください。子どもがたくさんいる家だけ多くもらえたりするのはどうかと思います。
- 市営施設（特にスポーツ関連）の高齢者への優遇措置が足りない。（以前住んでいた市では65才以上は無料であった。）高齢者交流施設の充実（高齢者が自由に使用でき、交流できる場）
- 先日、老夫婦が凍死するという痛ましい事故がありました。電気料金や食品などさまざまな物の値上げがされている中、年金が下がるという事が起きています。昔の人は人に物を頼むことや、ましてお金の事を人に話すのが、恥ずかしいという人もいます。お年寄りが安心して住める所にしてほしいです。子どもにお金を支給するのは良い事だと思います。しかし、一番お金のかかる年代の親世帯に一番もっと手厚い支援が必要だと思います。年収1千万の家に5000円とシングルマザー世帯に5000円とでは訳が違います。もっと考えてください。下の声を上に上げる方法がありません。
- これから少子高齢化が進む中、少子化対策に力を入れるのは当然ですが、増加する高齢者が一人でも生活できるサポート体制の確立が急がれると思います。
- 高齢者が安心して生活できる環境づくりをお願いします。

〈生活困窮者支援〉

- 今、円安だし、物も上がっていて生活していくのが大変です。補助してほしいです。
- ニュースで生活困窮者が増加しているといわれています。安曇野市ではどうなのでしょう。中でも子どもたちが食べ物に困らないようにできればと思います。子ども食堂の取り組み等サポートしてもらいたいと思います。

〈多様性の尊重〉

- 障がい者、発達障がい児、LGBTQの方々に対する意識は、住んでいる地域によっても格差を感じるし、個々それぞれに知識として誤解している、されている部分が多く学校へ通学している子どもにもその影響が少なからずあります。地域格差の起こらないよう、大人の誤解によって住みにくさをうみ出さないような取り組みを考えてほしい。少ない人数の地域だと、伝えづらさを非常に感じます。

〈その他〉

- ヤングケアラーの子どもに家庭訪問してほしい。限界。
- 福祉部からの入浴券もありがたいが他の券とかも選ぶ券があったらと考えます。(図書券、タクシー、のるーと券)

【子育て支援】

〈出産・子育て〉

- 子育て支援を強化してほしい。(待機児童ゼロ、給食費無償化等) ワンオペ育児をしていて保健センターで相談できるのはとてもありがたいと感じている。月1〜2回ではなく可能ならば頻度を増やしてほしい。ワンオペ育児の相談をすると「夫や祖父母を頼って」「ファミサポを利用して」と必ず言われるが、頼れないから困っている。夫も祖父母も仕事をしているし、ファミサポに登録に行く時間的余裕はない。助産院や産後ケア施設の情報をもっと詳しく教えてほしい。名前だけ教えてもらってもどんな施設か分からなければ利用しづらい(桶谷式、こんな取り組みをしているなど)
- 子ども支援の拡充、所得制限なしの児童手当、育児退園の撤廃、未満児保育の無償化、保育士の待遇改善、学童保育の時間延長等、税率の高い子育て世帯を増やしたいなら最低でもこれらを実施すべき。"
- 子どものインフルエンザ予防接種を無料にしてください。子どもの医療費を無料にしてください。出産費用を負担してください。子育て支援を充実させてください。子どもが育てやすい市になる事を希望します。"
- 潜在的待機児童を0にしてほしい。安曇野市で子育てしたいと考えているが、保育園に空きがない場合、職場復帰が難しくなる。給食費の無償化、教育費の無償化、出産の無償化。
- 保育料(未満児)が高い。仕事をしているのにお弁当を持参しなければならない日があり負担に感じる。
- 子育てしにくい地域です。→①子どもを産みにくい所です。産院が少ない。大きい病院も日赤と穂高病院位で、小児科眼科皮膚科も少ないです。それですごい待ちます。子どもたちが大きくなった時にどれだけの病院が残るか心配しています。健康な人しか住めなくなりますよ。②公園が少ない！市民プールが無い！これだけ市民が増えて、子どもたちが増えても市民プールが無くてわざわざラララまで行くのでぜひぜひ作ってほしいです！穂高プールも続けてほしかったです。子育て世代の意見も聞かないで勝手にこわすのはいかなものかとずっと思っています。政治の力ももっと上手に使ってほしいです。よろしくお願いします。
- 2人目の子が希望したこども園に入園できず、仕事に戻ることが難しい状況です。兄弟優先加点など名ばかりで、同一園にも入れなければ、行きたい園にも入れないなんてあんまりです。安曇野市はすばらしい地域ですが、市内の児童館も古く、日曜日に室内で遊べる施設もありません。こども病院があることを除いては、子育てしたい地域とはさほど思いません。お年寄(介護、福祉)、移住者云々よりも、まずは子育て支援をお願いします。安心して子どもを預けられる場所がないと、仕事ができないので生活ができません。安曇野で暮らせません。
- 3才と4才の子どもを育てています。日頃、児童館を利用させていただいており、とても便利でありがたく感じております。しかし、土日祝になると休館になってしまいます。近隣市町村には子育て支援センターなど土日祝も利用できる施設がありますが、安曇野にはあるのか分からない状況です。もしあれば助かります。

- 8才、6才、1才の子持ちです。1才の子を未満で保育園に預けて働こうとして、保育料を聞いてあまりの金額の高さに驚きました。3人目同児通園でなくても、3人目は同等の条件で入れてほしいです。子育て支援に力を入れてほしいです。よろしくお願いします。
- 観光地として発展することは良いことだと思いますが、まず今安曇野市に住んでいる人たちが満足することが大切だと思います。私は今子育てをしているので、子育て支援を充実させてほしい。未満児が入れる保育園をたくさん作ることが大切ではなく、まず親と子が一緒にいる3歳までをしっかりと考えてほしいです。保育園に入れたい人は別で、一緒にいたいのに経済面で働かなければいけない人はたくさんいます。一緒にいたいから無理をして何もできず必死に子育てを頑張っている人にまず支援をするべきです。そういう家庭に支援金をあげるべきだと思います。そうすれば保育園の建設費、保育士の確保はできるはずですが、安曇野市はもっと保育に手厚くしなければいけないです。保育園の1クラス30人に2人の保育士では全く子どもは見てもらえません。当たり前です。2人では全員を見ることはできないからです。子どもができてから保育士の有り難さを心から感じました。保育士さんの給料面を考えるべきです。子育て支援をもっと充実させたら居住者も増えると思います。小学校までの大切な心を育てる時期です。もっと子ども一人一人の個性を育ててほしいと思います。国はやらなくても安曇野市はやるべきだと思います。
- ○○から安曇野市へ引っ越してきました。3歳の子どもがおりますが、一時預かりやファミリーサポートの利用料金が○○よりも高く、もう少し安くなるとうれしいなと思いました。
- 高校生までの医療費を完全に無料にさせていただきたいです。
- 子育て支援をお願いします。
- 子育て支援となるような給付金、又は、ごみ袋の配布等検討いただきたい。
- 子育て支援に力を入れてほしい。
- 子育て世代に対して、給付、減税を徹底していただきたい。
- 子育て世代への支援の充実。特に、保育料の減額、住宅街付近の保育園の増設、悪天候の日でも遊べる施設作りなど。また、通学経路の歩道整備が不十分。用水路が危険。安曇野市に住みたいと思う独自の政策を。
- 子育てについて、保育料の減免は有り難いが、上の子が小学校へ上がると、減免の恩恵がなくなってしまうのはなぜなのでしょう？多子世帯への支援が目的であれば、年齢にかかわらず支援を継続していただくと有り難く思います。
- 子育てのしやすい市にしてほしい。子どもの教育、医療の無償化。出産費用の全額補助。このままでは、子どもがいない活気のない町になってしまいます。(もうなっています。)
- 子育てをするにあたってお金がかかるのもっと手当てしてもらいたい。
- 子どもが遊べる場(特に荒天時)を各地区に作ってほしい。
- 子どもが生まれてからの必要書類、保育園のことなど市役所の職員の方々は皆さんとても親切でいつもお世話になっております。年子育児をしている中で、0～2歳児が屋内、屋外で遊べる所の少なさに驚きました。一時保育も全く入れない月もあつたり屋外の公園があつても保育園以下の子向けが多く遊具では遊びにくいこともあります。明石市の情報をTwitterでよく目にしていたので、安曇野市もそんなふうになったら良いなと思いました。
- 子ども支援を手厚くするようにしてほしい。
- 子どもたちの居場所、遊び場があまりに少ない。

- 子ども手当の拡充を安曇野市として検討してほしい。より多くの子どもが安曇野で誕生しないと老人ばかりの町となってしまう。
- 子どもの遊び場も少なかったです。
- 子持ちの親に優しい環境、制度を作してほしい。子どもが遊べる場所が増えると良い。(公園、施設等)
- 児童館だけでなく、有料でも良いので、土日祝日に子どもを遊ばせられる施設があったら有り難いです。
- 児童館に入るにあたり、祖父母の就労関係なく入れるとうれしいです。(長期休みは特に、数日でも良いので) よろしく願いいたします。
- 待機児童が多いと聞きます。将来、働きたいのに心配です。
- 夫婦フルタイムで共働きで、私(妻)が育休より復帰する時、地元の保育園に入れず、本当に困りました。近所(歩いて行ける場所)に保育園があるのに入れず、他の〇〇地域の園も全て入れず…職場が〇〇なのに、入れたのは逆方向の〇〇の園です。結局、通うのは現実的ではなく、自分で〇〇民間の(企業の)園を探しました。未満児は受け入れが少ないとは分かっていたのですが、こういう状況では、子育てしやすい町とは言えないと思います。〇〇の園に入れてもらえて良かったものの、仕事を辞めなければならないのか、本当に悩みました。市では、このような状況をどのように考えておられるのでしょうか。預ける所がなく、仕事を辞めることのないよう、保育園を整備してほしいです。
- 福祉が全く良くないと思う。税金を福祉に使って子どもの給食費、教育、医療費を考えてほしい。
- 保育園は、施設は新しくなって充実してきたのは良いと思いますが、保育士さんの人数が少ないように思います。マンツーマンでみる必要のある子どもが多いのに、保育士さんが相手をしてあげられないように見えます。保育士さんは、子どもの遊び相手ができず、ケガのないように安全を守り、一日のスケジュールをこなすのに手いっぱいのように見えます。「人とお金」(予算)をつけていただきたいです。
- 保育士の待遇を良くしてほしい。子どもの人数に対して保育士をもっと増やしたほうが良いのではないかと。未満児の定員を広げて待機児童がいないようにしてほしい。学童保育を充実させてほしい。
- 松本市のように子どものおたふくかぜワクチン接種に補助をしてほしい。
- 松本市は近隣市町村の中で、子育て、ごみ、高齢者に対する補助がいろいろと手厚く今後、コロナワクチン等の接種が自費になった場合、一人で子育てしている低所得世帯やお子さんが多いご家庭にとっては、とても負担が大きくなる。例として挙げましたが、インフルエンザも含め、もう少し、補助等の面も検討いただけたらと思います。具体案がなく、申し訳ありませんが、より住みやすい市になっていただけたら、うれしいです。
- 未満児の保育料無料化、又は第2子以降無料化、兵庫県明石市の子育て支援制度をぜひ取り入れていただきたいです。
- もっと子育てしやすい環境にしてほしい。何かと値上げで家計に影響を受けているが、その対象が非課税世帯など限られている。たぶんこのままだと本当に苦しい。子育てパスポートなど、もっと使用できる場所を増やしたりして、毎日のひっ迫を少しでも改善していただきたい。
- 私は〇〇ですが、現在小学生の孫と同居しています。お年寄りの福祉も大切ですが、それ以上

に子どもたちのために税金を使ってほしいです。保険の効かない医療費（例えば歯の矯正とか予防接種とか）にぜひ、ぜひ、全額が無理なら何割かでも良いので出してやってほしいです。子どもたちの習い事（学習塾も含め）にも、補助金を出してもらえれば、もっと子育てしやすい安曇野市になると思います。（子どもたちの笑顔、その親たちの笑顔が年寄りにとっても一番の薬です）

【スポーツ】

〈スポーツ環境〉

- 生涯にわたって子どもから高齢者までを取り込んだ運動、スポーツ活動が（コロナ禍もあって）減っている気がします。
- 生涯スポーツで少年団の指導者を以前はしていました。かなりその当時は環境は良いと思います。おかげで中学校の部活でアドバイザーとなり県代表で北信越大会に数回出場できました。（一部ですがみんな頑張ってます）
- 南部公園横に新しいアリーナができましたが、小中高校生は、無料にしていきたい。すばらしい施設があるのに、市中大会や休日練習など古い学校の体育館で開催されることに、とても不思議に思います。誰が使っているのかも疑問です。スポーツを盛んにと思うのでぜひ。
- 陸上競技場を作ってほしい。
- 子どもが、一つのスポーツではなく、いろんなスポーツをできる環境にしたほうが、いろんな可能性が増えると思う。（大人も）
- ANCアリーナが遠すぎる。高齢者、障がい者などのためのアクセスを考えてほしい。また、解体される豊科武道場跡に、同規模の体育館を造ってほしい。
- スポーツアリーナの利用が全くなされていない。市民の方々のラーラ松本の活用が進んでいる。ラーラは安曇野市の利用が多い。
- スポーツを楽しんでいます。市の体育館を利用しています。機具、道具等の使用劣化が目立っていますが、定期的に点検をしていただき、更新をお願いしたい。

〈アウトドア環境〉

- やまびこサイクリングロードの維持管理について、県と調整して、きちんとやってほしい。草は伸び放題、路面の補修等、駅前前の観光案内板は、汚損していて見苦しい。前にも投書して1年半以上経過しているが、現状のまま、パンフレットは定期的に更新しているが、案内板に対する扱いがずさんである。ハードなものは、メンテナンスが大切で、それができないのなら、作らないほうがよい。
- 「白鳥湖」の看板など、無くなった施設の看板等は撤去してほしい。「サイクリング・ロード」「ウォーキング・ロード」が中途半端になっている。惜しい。
- よくウォーキングします。穂高有明（あるいは国立公園穂高地区）から有明神社ぐらいまでのウォーキングコースを整備してほしい。山麓線は車がよく通るのでところどころ歩いていると危なく感じます。上記のコースか山麓線に歩道を完備してほしい。良いウォーキングコースになると思います。観光客にもよいと思います。
- 美しい自然が守られますように、自然を生かしたアウトドアを楽しめるように、光城山長峰山など東山のトレッキングルートを開拓してアルプス展望を楽しめるようにしてください。
- サイクリングの推進に力を入れているが、これまであった道路の端に青い矢印を足しただけで、車と自転車の双方にとって危険である。やまびこ自転車道だけでなく、自転車のた

めに道を整備してほしい。

【境域・学習】

〈学校教育の充実〉

- 孫世代の発達支援事業や放課後の居場所の整備等、今至急に必要としている事案をすぐ改善していけば安心して子育てできる安曇野市として売り出せると思います。
- 先生が少ない。
- 不登校の子どもの学習方法があればうれしいです。けやきはありますが、全く外に出られない子にはハードルが高いです。学校に行けない子、増えていると聞きますので、ぜひお願いします。
- 近い将来、外国人の労働力に頼らねば経済活動ができなくなると思われる。今から共存できる体制（教育）を模索する必要があると思う。（言語、文化の差異、日本への理解、相互の文化の理解等）

〈その他〉

- 中学校の制服デザインを男女区別なく使えるようにしてほしい。また、公共交通機関（主にバス）を利用できるようにしてほしい。
- こども園や学童の書式は Word での配信をしてほしい。（PDF ではなく）また、マイナンバーと紐付けて、毎年提出しなくてはならない書類を減らしてほしい。小学校も中学のような軽くて安価なリュックで統一してほしい。夏は熱中症対策でリュックにしているのでランドセルの必要性を感じない。

【地域の伝統】

〈伝統・文化〉

- 地域行事として穂高神社関係の行事があるが、「伝統」「文化」といっておしつける人が多い。”多様性”をもっと理解し、行うべき。（地区で寄附を集めたりするのは、参加しない人を地区内でさらしているようで、抵抗がある）
- お祭りなどの伝統行事や地域役員に対して、地域住民の積極的参加が全くなく、一部の該当者のみに負担が集中している状況である。人それぞれの事情があることは理解できるが、少なくとも協力やサポートはすべきであるし、そのようにできるような仕組みややり方を市でも考えていただきたい。自分は市外出身であるが、できる限りそのような行事等には参加、協力するようにしている。特に市内出身で地元に住み続けている方々にはより積極的に地元を盛り上げていただきたい。
- 安曇野の地域文化を高める活動をさかんにしてほしい。

【文化・芸術】

〈文化・芸術〉

- 文化活動がきわめて少ない。

【防災・防犯】

〈防災対策〉

- 農家が減り、宅地が増えている。災害の少ない安曇野でしたが、家がたくさん増え農地がなくなると災害が増えるでしょう。
- 地域において地震や台風などに対する備えができていのかどうかは、実際に大きな震災が発生していないため、有効に機能するか不明であることから、想定外への備えもお願いします。

〈交通安全〉

- 子どもたちの防犯対策、交通事故防止対策が乏しい。
- もっと子どもが通学したりする道の安全確保をしてもらいたい。
- 市道や通学路の街灯や防犯凍結危険箇所について学校教育課へ何度か電話相談したところ、「区長へ話してください。」「個別には受けられない。」「一つ受けると全てを聞かないといけなくなる。」と返されてしまいました。確かに、一つ聞いてしまうと、他の地区でも全て対応しないといけなく大変なのですが、ケガや事故、事件が起こってしまった後では遅いので、通学路危険箇所の見直しをもう一度各区宛て（保護者）に聴き取り、市でUPし対応は各地区に任せようとしていただければと思います。
- 通学路に対して、規制を厳しくしてほしい。
- 安曇野市でも、長野県民交通災害共済の事業を行ってほしい。現在、15市が行っている。

〈防犯〉

- 子どもたちの防犯対策、交通事故防止対策が乏しい。
- 安心安全なまちづくりのため、地域の人との交流は大事だと思うが、イベントを考えるのではなく、日常的にできることを考え発信したほうが良いと思う。例えば、“小中学生の登下校時間に、高齢者は外に出て散歩しましょう、あいさつしましょう”など。
- 郊外にも街路灯、防犯カメラを設置してほしい。
- 有明地域の街灯を増やしてほしい。
- 街の外灯を充実させてほしい。
- 安曇野市内に居住している反社会的勢力の排除をしてほしい。

【都市基盤】

〈道路等整備〉

- カーブミラーで確認しづらい。また冬場全く見えなくなる。街灯をもう少し多くしてほしい。安全面の点検を市民の声を吸い上げて、行っていただきたい。
- 道が悪い所や、穴が開いている所がたまにあるので直してほしいです。
- 市になり、市道の管理がだんだん悪くなっている。対応の遅さや現道舗装も考えてほしい。
- 豊科南小学校そばの電灯が少なく危ない。豊科南小学校から北のカインズ方面に抜ける道路はいつ完成するのか。雪かきがされておらず、アイスバーンになり危険。（国道もどこの道路も）
- 住宅地開発時の許可時に道路特に側溝の接続を厳しく審査し、地区への説明が必要である。
- 道路整備をお願いしたい。幹線道路、生活道路、通学道路の点検、県道で県の管轄もあると思うがそこで生活する市民目線で対応してもらいたい。
- 道路整備事業をもっと進めてほしい。
- 自転車道路、歩道の整備を中・長期計画して実行してほしい。
- 道路整備が悪く、安全でない。せめて国道程は整備してほしい。豊科ばかり良くなるが、穂高

などは道が悪すぎる。

- ずっと安曇野市で暮らしていますが、交通道路その他はあまり変化を感じられず不便だと思います。
- 川に架かる橋の道路が狭く、歩行時に怖い思いをする。広くしてほしい。
- 短距離の市道でも整備に力を（見える所、入口のみ整備されて奥はどうなっているか？）
- 道路の舗装改善してほしい。
- 舗装状況の悪い所の補修があまり進んでいない様に思う。
- 側溝が傾き、道路のひび割れが激しい。
- 道路の穴をお知らせしましたらあっという間に対処して下さった。すばらしい。良い所に住んだと実感した。

〈道路等整備〉

- 家までの市道の整備、除雪をもっとしてほしい。
- せまい橋の整備。歩道、蓋のない用水路の整備。街灯の増設（田畑ばかりでも、人は通ります）
- 道路整備を行ってください。通勤時間で毎日2時間です。
- 柏原西の信号、西(牧方面)から来た車が1～2台しか右折できない。(特に朝)(ほかにも時差式を設けてほしい所有り)
- ○○の前の道路を舗装してください。生活道路として使う方が多く、砂利がなくなってしまう穴が開きます。危ないです。
- 豊科駅前、国道147、南から北へ向かう方向に右折レーン必要！ほかにも穂高白金横断歩道交差点、豊科立石北から南へ方向(交差点)早めの対策をお願いします。除雪をしっかりといていただきたい。中途半端に残るので後が大変。道路整備が悪すぎる。
- 車が安全にスムーズに走ることができてこそ歩行者が守られる。通勤や観光客は車使用が中心。鉄道、国道、河川で東西分断を跨線橋で解消。渋滞、丁字路多すぎ。塩尻市のような道づくりをしてください。
- 拾ヶ堰北交差点道路計画はどうなったか。交通量が多く混雑していて心配。
- 市道が狭く整備されていない。
- 山麓線に歩道を作ってください。歩けない。危ない。山の中の水路で秋になると枯れ葉が落ちてすぐ横にまで住宅の私有地があり、ごみの捨て場に困ります。水路のきわ少し青線にしてもらうことできないのでしょうか。歩くにも困ります。
- 自転車道路をランナーや自転車の方専用にしてほしい。(車の通る道と交差し、「止まれ」などになっているのがとても煩しい) 農道の歩道整備(三郷のところ)をもっとスピーディーにやしてほしい。市内には近年、多くの工場ができています。それに伴い大型トラックが増えています。今一度市内の交通網を見直しと道路作りをお願いしたいと思います。また、観光という観点からも歩道、自転車道の設置をお願いします。自然、観光、工業、商業、農林業とすべての働く場所があります。調和のとれたまちづくりをお願いします。
- 市内には近年、多くの工場ができています。それに伴い大型トラックが増えています。今一度市内の交通網を見直しと道路作りをお願いしたいと思います。また、観光という観点からも歩道、自転車道の設置をお願いします。自然、観光、工業、商業、農林業とすべての働く場所があります。調和のとれたまちづくりをお願いします。

- 塔ノ原交差点の改良をお願いします。
- 交通量の多い十字路には可能であれば、信号機の設置を考えてもらいたい。
- 穂高地区の道路が整備されていない。東西に向う道路がどこも狭い。
- 道路案内標識が文字が読みとれない程の劣化が車を運転し走行中気になります。観光都市のため、ぜひ補修願います。
- 市道(特に交差点)に凹凸や割れの箇所が多いので、補修してほしい。三郷地区は歩道がない道路が多く、歩行者との接触の危険があるので、歩道を整備してほしい。
- 自宅付近は、街灯が少なく夜間は真っ暗になり、大変危険。堰の囲いがない箇所もあり、落ちたこともある。草も伸び放題で道が狭くなっている所もあり、定期的にチェックしてほしい。
- 小学生が安全に登下校できるよう、歩道の整備を更にお願いたします。
- 通学経路の歩道整備が不十分。用水路が危険。
- 立地等、都会に比べ大変細く地区ごとに整備され各地区ハロウィンのように大切に保存できている風を感じる。

〈計画的な土地利用〉

- 田園都市構想を立て裏道路なども整備を期待したい。
- 隣の松本市「楽都」、大町市「岳都」なら、安曇野市は豊かな自然の中で「学都」ガクトと呼ばれるような田園都市となるように。
- 台地を覆う太陽光エネルギーのパネルの乱開発は慎重でありたいです。水田に映る春のアルプスの風景は大切にしたい。
- 人口数にはスーパー、菜店等、大型店が多すぎる。全国の人が憧れる安曇野のイメージがなくなっている。空地に太陽光発電の設置を許可しないでほしい。
- 自宅周辺が開発されていき、宅地となっていくのが残念です。洞合のソーラー施設を市が拒否して下さったとの記事を読み安心しました。安曇野からゆったりとした時間が失われていくことのないよう、発展は開発と同意ではないと考えてほしいです。私は静かなところに住みたいので、周辺の開発にともない引越しを考えています。
- むやみに移住者を増やすことばかり考えず、今暮らしている人々が、長く、平安に暮らしていけるよう、心配りをお願いします。自然が好きで、この地に来たのに、最近では、木々を根こそぎ伐採し、景観を台無しにする家が増えがっかりです。
- 西山地域の宿泊施設等の開発を、今以上進めないでいただきたい。
- 自然環境が良すぎて、利用できていないような気がします。

〈景観保全〉

- 豊科の発展は良いが、昔の豊科の景観がなくなり寂しい。
- 電柱看板など景観に対する施策が遅れている。
- 農家が減り宅地が増えている。安曇野らしい風景がなくなっていく。
- 空き家が増えている一方で、水田や畑だった所に新築の家がどんどん建っていく。安曇野らしい景観が損なわれるのではないかと、農業が衰退の一途をたどるのではないかと心配。
- 農地が継承者不足なのか、どんどん住宅地になっていき、安曇野らしい田と山の景色が損なわれていかないか心配です。
- 私の所では家がいっぱい建ってきています。田んぼや畑がなくなっています。寂しいです。
- 穂高地区の道路（東西に走っている道路）の上の看板「〇〇ライン」字が消えかかっている見苦しい。他県から訪れる人たちに対して恥ずかしいと思う。

〈公園、緑地、その他の整備〉

- 公園、遊歩道にベンチ、椅子があれば優しいのになあ。
- 観光地までの(入口、駐車場等)道の整備。サイクリングロードの整備、休憩場の整備。木材を使用した建物、橋等、できた時はきれいだが、年数と共に劣化が進み、汚い、古くさく感じるの、観光客が見たらどう思うのか。経済産業等の発信を分かりやすく。
- 〇〇の信号から西に向けての道路沿いの緑石のきわから毎年夏は雑草が茂って外から来た観光客はがっかりするのではないかと思いつつ何もできないでいます。
- 歩道の草とりは誰が行うべきか？幹線道路沿いに未処理部が見える。観光客からはマイナスだと思う。
- オオキンケイギクの駆除などもっと徹底してやってもらいたい。市の職員が市内を巡回などしてその区の区長に駆除を依頼して住民に協力してもらおうなどしてほしい。
- 公園の整備がなされていない。〇〇南側の公園は用具が撤去されて、それまでは子どもが遊んでいたが現在は閑古鳥状態、犬の遊び場になっている。土場の橋北側の土手を整備して散歩道を作してほしい。土手の雑草ハルエンジュ撤去希望。

〈公共交通網〉

- 列車ダイヤの充実を JR へ要望していただきたい。
- 公共交通を充実させてください。免許返納したくても、公共交通(デマンド)は利用しにくい。
- あづみんも使えない。バスも少なく不便。
- 「あづみん」を利用するには予約をしなければ当日では乗れません。コースを作り停留所で時刻表を作ってもいつでも自由に乗り降りができるようになれば良いと思います。塩尻のほうでは始めたようです。ぜひ考えてみてください。
- 高齢者の“足”、あづみんの利用しやすい改善、巡回バスの検討など、プロジェクトチームを作り研究し提言してほしい。
- 両親が高齢のため、運転免許証の返納を考えていますが、交通機関が充実していない点をとっても不安に感じています。〇〇から越してきたのでなおさらです。私(娘)は、病院に勤務していますが、足がない、という理由で通院を諦めてしまう高齢の方も少なくない、というのが日々感じている点でもあります。何とかならないでしょうか。
- 公共バス(あづみん)の使いづらさ。
- 親があづみんを利用させていただいているが、イベントの多い日曜が休みだったり、エリアが

限られていたり、担当の方が地域に詳しくなかったりで…。今後、免許返納の方々が増える中、移動手段の便利さは、町の活性化にもつながるので非常に重要と捉えます。やはり、小型の路線バス等が何らかの形で実現していただきたいと思います。

- 電車バス等の機関がもう少し便利だと学生、高齢者が住みやすくなると思う。
- 公共の交通機関の充実を希望します。車がなくなったら生活できません。
- あづみんは時間的に不便がある時があります。定期便バス等があればよいと思います。
- 高齢者(老人)が気楽に出かけられるような交通機関を密にしてほしい「あづみん」をもっと便利に。
- 高齢化が進む中で医者、買い物に行くのが不便です。デマンドタクシーも目的地に行くのに時間がかかりすぎます。
- 車の運転ができなくなった時の外出や買物が心配(病院への通院)です。
- 高齢者が免許返納しても、困ることのないようにしてほしい。現在のあづみんのような高齢者に配慮しているようで実際には配慮していない交通機関では困っていると思います。
- 市内バスを利用しようと思いましたが、デザインも悪く、200円もするので非常に不便でした。高齢者は免許返納してほしい世の中なのに、あんなバスでは車のほうが楽ではないかと思ってしまいます。今は元気な年代の住民も高齢者、障がい者になる時が来ます。全ての住民ができるだけ利用しやすい交通手段がもう少しあれば、市内を楽しめると思います。
- 安曇野市は車が無ければお店や病院等、どこにも行くことができない。「あづみん」もあるが利便性が悪く、免許を返納した時のことを考えると、このまま安曇野市に住み続けることができるか考えてしまう。公共機関についてもっと充実してほしいです。
- 公共交通機関をもっと利用できるよう駅近くに駐車場を増加してほしい。
- バスを休日にも動かしてほしい。穂高～池田明科等。
- あづみんを利用したいが不便と聞く。免許返納したは良いが、安心した老後とは言えない現状。日々不便と不安で一杯
- 安曇野というブランドはアルプスと共に他県にも通じており持家があるのでこのまま住み続けたい。年を取るごとに免許返納後の買い物・交通・除雪が不安である。この先安心してここで生活していきたいものです。あづみんは日赤等家族が入院したおりなど利用している。のる一とになってからはまだ利用していないが、昨年説明会には参加した。より良くなるように市のほうでもいろいろ考えていると実感しました。必要な時はぜひ利用したいと思っています。
- 巡回バスの充実。
- バスを使えるようにしてほしい。車を持たなくても生活できるようにしてほしいです。よろしくをお願いします。
- 免許返納された方や車の免許を持っていない方が使用している「あづみん」がありますが、本数や行ける場所の問題があり、もっと使いやすくしてほしいです。
- 大町市のふれあい号のように定期バスを用意してもらいたい。
- 車がなければ生活できません。あづみんの便数を増大し、利便性を高め、車がなくても暮らせる安曇野にしてください。年配者が引きこもる安曇野では困ります。願ういたします。

【水道光熱費】

〈地域格差〉

- 地域格差を無くしてほしい。
- 現在居住の地域（旧穂高町北部：ex.北穂高）と、市役所を中心とした地域の格差が大きすぎる。「南北問題」は歴然として存在することに市幹部は気づくべき。合併から久しいが、「一体化」とは程遠い状況を痛感している。行政すべてに、「弱者、目立たない事象に目配りができるか」という目線があるかを常に意識してほしい。「バランス感覚に基づいた行政ができるか」に、市の一体化はかかっている。

【農林水産業】

〈農業振興〉

- 野菜や果物など農産物、豚肉など畜産物、牛乳などが新鮮でおいしく、安全なものが四季を通じて豊富に入手できることは、ここに住む私たちにとって大きな恵みです。安曇野の食を大切に守り農家を育成してくださる施策をお願いします。
- 休耕地を減らして、農産物の一大拠点にできたら良いな。
- 空き家が増えている一方で、水田や畑だった所に新築の家がどんどん建っていく。安曇野らしい景観が損なわれるのではないかと、農業が衰退の一途をたどるのではないかと心配。
- 今、食料不足が懸念されています。いずれ来ると思っていました、こんなに早く来るとは。自給率30%と言われてますが、肥料の事や種の事も考えるとほぼ0%絶望的です。安曇野は産業都市でもあります、農業都市でもあります。いち早く自然農に転換し、そのノウハウを、県外に広めていくぐらいの、事を望みます。今、〇〇のお力をお借りして、安曇野の農業を自然農に転換する時だと私は考えます。肥料がない、種がないで、農地を外国の人や、大きな企業に売られるのではないかと危惧しています。農地を買った外国人が、外国の企業が、自分の国に転売すると、安曇野は、日本ではなくなってしまう市民農園をもっと長くお借りしたいです。

〈商業振興〉

- 自然と食をテーマのテーマパークがほしい。（そばではダメ）
- 安曇野しかない商業施設を作ってください。全国から来るようなアウトドアショップなど。テーマパークっぽくすればやばいと思います。子どもの世代が喜ぶような町にしてください。
- 三郷の農道をお店などがあったら、県外の人たちもよってくれると思うし、常念岳が美しく見える所なのでカフェとかあったらゆっくりと過せそう。
- 〇〇との境に住んでいますが、〇〇、〇〇、〇〇の様に大型店が進出してるわけでもなく活気の無い地域に感じます。取り残されている気がします。
- 若者向けの施設がないので増やしてほしい。（ショッピングモール、カフェ、居酒屋など）
- 娯楽施設（カラオケや映画館など）を増やしてほしい。
- 子ども用品（服やおもちゃ）店の増加。バースデイやトイザラスなど。TSUTAYAなどのレンタル店の増加。
- 同じ場所に同じ施設を作らないでほしい。安曇野市にはTSUTAYAのような施設が少ないので、この機会に検討してもらいたい。

〈工業振興〉

- 最近いろいろな業種の店が増えて、少し活気も出てきたと思いますが、工業や製造業の分野の進出があれば雇用の幅も広がるのではないかと思います…。特に男性が市内で働ける場が増えれば良いですね。

〈労働・雇用〉

- 安曇野市から通勤できる大企業が極少なため優秀な人材が流出している。大企業の企業誘致を進めてほしい。
- 安曇野市で雇用が増えるような会社が設立されればおのずと人口も増え活気もでてくると思います。
- 田園都市。観光の都市 PR は結構ですが雇用を増し人口増を希望する。太田市長に期待する。
- 安曇野の四季の景色がすばらしくとても気に入っています。しかし、ここに6年住んでみて、それだけではこれからは成り立たないのではないかと心配しています。近隣の大町、池田町、白馬などは、若い方達への補助が良好で、移住者も増えているとの事。このままでは安曇野市は通りぬける場所になる気がしています。私の娘達夫婦も安曇野に住みたくても適切な仕事がないため住めません。旦那さんたちは、特にないようです。若い人達の力を借りるには企業誘致もとても重要だと思います。ぜひ頑張ってくださいたいです。
- 会社に気を遣わず子どもをもてるような意識を特に経営者に植えつけてほしい。
- 生活費ばかり値上がりをしているので、時給をもっと上げてほしいです。
- 保育士の賃上げをぜひともお願いします。

【観光】

〈観光振興〉

- 観光客増に向けて、市側で考えるように、何も努力してないかのように見える。
- 山ちかければ山忘る 白井吉見のエッセイです。(佐藤校長に言われ吉見さんも気づいた。) 長野県は山岳県。松本にまけず山岳観光に力を入れてほしい。(北アルプス全体) 宝。
- 北アルプスは勿論、中央アルプス、南アルプス、更に戸隠方面の山まで望め、美しい水にも触れられる。安曇野はすばらしい所。この環境に負荷をかけず多くの人に楽しんでもらえるような観光開発をしてほしい。地味だが、老若男女が徒歩旅行できるように、歩くための道を整え、要所要所に水の補給できる設備、トイレ(有料でよい)ベンチ(木製のベンチの手入れが大変なら自然石を利用して“休み石”を。)を置き、大勢の人に安曇野の良さに浸ってもらいたい。
- 安曇野市の特産の天蚕をもっと知っていただきたい。天蚕センターを観光客が、入りやすいところにしていただきたい。
- 北アルプス登山口の慢性的渋滞の解消、自転車利用者への利点の促進、北アルプス前山(大滝山など)へのアクセスの向上、またはロープウェイの設置で観光資の開発を行い、安曇野の魅力的を付加価値の高いものにする。
- スワンガーデンは安曇野の玄関口にありますが、閉店が多くなり寂れてきてませんか。観光地らしい活気を取り戻してほしいです。
- 燕岳、蝶ヶ岳の駐車場を広くしてほしい。登山者には人気の山だが、夏は満車で止められない。市も山のアピールは少ないと思う。
- 山紫水明の地、安曇野は、観光地でもあると思います。昔から鉄道唱歌にも歌われていま

す。西に常念岳、東に明科鱒の町、アルプス連峰見ながら釣も良し、また全国名水百選に選ばれて、おいしい水所、日本一のわさび田、田園風景をも大事にしながら、もっと観光地として宣伝すべきだと思いますが？この地で見られる北アルプスの眺望を大切に、窓を開けたら見わたせるような、施設がほしいと思います。私はこの地で生れ、しばらくは、はなれていましたが主人定年と同時にやはり故郷に帰って来ました。いろいろな所、旅行もしましたが、この安曇野が何かにつけ一番と思います。市政につきましては、まだ使用できる場所を、なくしていると聞きますが市民の声もよく聞いて、事を進めていただきたいと思います。

- 大糸線、穂高駅周辺のこと。転住しました。引っ越しに当り、周りの人たちから、“どちらへ”と聞かれ、“安曇野の穂高です”と答えると、ほとんどの人が“良い所ですね”と言います。ただ前に行った時は、案内所とか休憩する場所がないと言われました。(我々年寄りも一休みする所がほしいです) 名前は広く浸透しているので駅周辺を、明るくにぎやかにすることを考えてみてほしいと思います。(目玉になるようなものはありません) 読みにくい字を書き、申し訳ありません。

【地域ブランド】

〈地域ブランド〉

- テレビ、マスコミへの露出度が少ない(話題→少) 東信地区、佐久市等ではほとんど毎日くらい露出度が多い。
- ボーイズグループJO1が日本の魅力を全国、世界に広めるプロジェクト「Hot Japan」というのをやっています。自然豊かなこの安曇野市をPRして全国の人に安曇野市の魅力に気付いてほしいです。
- 大河ドラマ「安曇野」は実現に向けて更に進めてもらいたい。
- 安曇野市を台材にした“大河ドラマ”をぜひ行っていただきたいです。
- ぜひ「安曇野」大河ドラマ化をお願いします。
- 白井吉見の「安曇野」の文庫本は絶版となっています。もっと「安曇野」を知ってもらうには、この本の再出版が必要ではないかと思えます。
- 商業施設が多くできますが、同じ業種が多くもう少し違う店があればと思います。
- 安くたくさん売るのではなく、高く少量売るブランディングが大切と考える。
- 古くからの制度やしきたりが多く、他地区(市町村)から移住などした者にとっては、暮らしにくいことが多い。一度区や組に加入した者が脱退してしまう例が年々増加している。「部落」、「耕地総代」など、地区名や役員名も現在の状況にそぐわず、転入者にとっては、垣根となっている。市が各区の規定や名称(地区名、役職名など)をある程度統一して、旧5町村が一体となることをすべきだ。市民に統一感がない。(旧町村まかせではダメ)
- 安曇野市に住みたくて〇〇から移りました。
- 〇〇から引越してきたので、まだよくわからないというのが本音です。この短い期間で感じた事は、市役所の方が非常に親切、丁寧であること。一方で、行政の動きが生活している中でほぼ見えないことです。市が提供しているアプリがこんなにあることは、このアンケートで知りました。このアプリを使えばもう少し市の動きが見えたのかもしれない。市の良さをもう少し周知しても良いかなと。同じく観光客をもっと呼び込む広告に力を入れても良いかと思えます。20年前に訪れた時のスイス村と現状の違いに今回びっくりしました。このままでは、衰退してしまう危機さえあります。コロナ禍を抜け出しつつある今こそPRに力

を入れるべきではないでしょうか。移住者を呼び込んで人口を増やすことに力を入れているようにも見えますが、移住者への助成が長野近郊からの県に限るというのも首を傾げるところです。

- 外の県からの住民に対する態度が理解し難く接しにくい。私個人的に言うと、真剣に聞いていて関心を示していたが、後からその事について聞くと面倒がられたり、嫌がられて後味の悪い思いを何度もする。他県からの人に好奇心あるようではあるが冷たすぎる態度をとる人が多い。気が合う人は親しくしてくるが、全体に用心深いか閉鎖的な人が多い。

【移住・定住】

〈移住・定住〉

- この地に移住して○年余り、祖母、母を看取り、今は1人となり何とか周りの人たちにお世話になり感謝しております。その際の市の対応も感謝しています。生涯スポーツで少年団の指導者を以前はしていました。かなりその当時は環境はいいと思います。おかげで中学校の部活でアドバイザーとなり県代表で北信越大会に数回出場できました（一部ですがみんな頑張ってます）新しく移住する人はいますが地区に入らない人が多く○年たった今も役員は同じ顔ですが、新しい人はいろいろ要求するだけで何もしないのが現状。そこを行政で何とか。
- 住民税など税金が他市に比べて高すぎる。区費や組合費などの出費が高すぎることや、区や組合の役員が毎年何がしか回ってきて毎年毎年本当に大変で、友人に移住は勧められない。
- 地区の役員の負担が重荷すぎる。区に入らなければその地域で暮らしていけない雰囲気はおかしいと思う。せっかく安曇野に憧れて移住してきた人たちもここでの生きにくさに疲れて帰ってしまった人も多数いる。

【土地・建物】

〈空き家・古民家〉

- 空き家や中古住宅の再利用に力を入れてほしい。新築物件は、価格が高くなっているため、そもそも建てること自体が難しくなっている。今ある空き家や中古物件を再利用して、若い世代が移住しやすくなると思う。
- 空き家や古民家の活用策を促進してほしい。
- 空き家対策として、市が得た情報を不動産業者に提供することが、活性化につながるのでは。
- 空屋ボロ屋をなんとかしてほしい。
- 一代限りの住宅地が増え、いずれ空き家だらけになります。宅地造成に何らかの制限を加えない限り美しい田園風景が失われ、空き家だらけのゴーストタウンになってしまいます。今ではなく、未来を考える市政を望む。
- 空き家が増えるので移住者を増やしましょう。安曇野市良い町にしましょう。

〈土地・建物〉

- 外国人（中国人に限らず）による市内の土地・建物等の不動産取得の監視、規制をしっかりと行っていただきたい。

【地域】

〈協働・コミュニティ活動〉

- コロナ禍で各地域の活動、区の活動が中止になり、市政とのかかわりも希薄になりました。以前のような市民同士のつながりや御役所のお付き合いもなくなり、寂しい限りです。これからは、多くの市民ができるような事業、施策の推進に向けていていただきたいと思えます。
- 地域コミュニティが活発に動く工夫がほしい。各地区の状況に応じた対応。
- 年金ぐらしの年寄りが、安く、楽しめる、サークルみたいなのを、いろいろなカテゴリーで企画していただきたいです。ばあさんの「趣味」がなくて困ってます。
- 市民参加。行政等行事が中央で開かれることが多く年をとると交通手段がないと参加できない。今まではボランティアなどで参加させていただきましたが年とともに出席できなくなりました。これからは皆様にお世話になります。お願いします。

〈自治会〉

- 少子高齢化社会になり、市内各区では、高齢者ばかりの世帯や、空家が増えてます。区の役員選定等も、高齢世帯では役員をできないので区を離脱する等、問題がでてきております。区の役割などを根本から変えて行かないといけないかと思えます。
- 隣組への加入者が年々少なくなってきている。市として地域、組、組織強化のために積極的に組加入を働きかけてほしい。
- 地域の行事が多く、そのため役員の仕事が多い。そのことが住みにくいと思う原因です。アルプスが一望でき、水がきれいで、誇れる安曇野市です。今の時代にあったやり方へ誘導してください。
- 私は〇〇に住んでいます。とにかく役が多くて大変です。体がわるくて歩くのもおっくうです。なんとか働いています。生活があるので…。役を決めるのがとても大変です。とくにスポーツ祭です。でる人がいなくて役員の人が出るしかないのです。スポーツ祭をできればやめてほしいです。日曜日ぐらいゆっくり休んでいたい。体育部がスポーツ祭の役を決めなくてはいけません。本当に大変です。役が多い〇〇には住みたくないです。しかたなく住んでいます。できれば引っ越したいです。〇〇大嫌いです。
- 安曇野へ移住して感じたことは、区費が高いこと、区内で委員や組合長の仕事が多いことでした。区長さんの負担も大きく、区長選出に苦労しています。もう少し区で行っている仕事を市で行ってもらい、区の負担を減らしてほしいと思えます。
- 地区の役員の負担が大きい。(勤め人は大変) 募金活動訪問も気を遣う。
- 市へ言っても仕方ないのですが、地区の会費等高すぎます。生活切り詰めても簡単に当たり前に回収しに来るのでやめてほしい。ほんとうに。ごみだけ出せば良い。ゴミ袋高いし。
- 自治会ですが、高齢の方が多くなり、毎年役員決めが大変で、みなさん自治会にイヤイヤ参加しているのが実態です。自治会活動が負担になり、若い方の自治会脱退が多くなっており、なんのための、誰のための自治会なのか、疑問に感じている最近です。部会数を少なくし、簡素化してほしい。また、回覧版も、ほんとに必要な物のみをまわしていただきたい。近所の方の話でも、まわってきても、ほとんど見ずにまわしていますとのこと。紙がもっていないと話していました。
- 各地区の自治会において、組長がまわってきた場合の役が多すぎて、それぞれが負担となっ

ています。改善してほしいです。(ゴミ当番、区長、等)

- 地域の公民館の活動について、他の地域から引っ越してきた方が分かりにくいルールがあり、馴染めないという方がいます。昔ながらの活動に縛られ、若い方たちが住みやすくしようとする取り組みがないと思います。
- 常会の役割、活動内容について、考え直す時期ではないか、と感じます。
- 区費や組合費などの出費が高すぎることや、区や組合の役員が毎年何がしか回ってきて毎年毎年本当に大変で、友人に〇〇への移住は勧められない。
- 地区の役員の負担が重荷すぎる。区に入らなければその地域で暮らしていけない雰囲気はおかしいと思う。せっかく安曇野に憧れて移住してきた人たちもここでの生きにくさに疲れて帰ってしまった人も多数いる。

〈ごみ捨て〉

- 生ごみの袋が高くてびっくりしました。(中)の大きさをせめてマチがついていてほしかった。ごみ箱にしっかりとかぶらなくて、移住してきてショックでした。発砲スチロールの回収日があるといいなと思いました。発砲スチロールをどんどん溶かす液体があり、あっという間に片付きます。自分で割ってプラ袋に入れてますが、静電気で体に細かいごみがくっついて大変です。
- 〇〇に移住しました。快適に過ごしておりますが…ごみ収集の件です。各自治体や地区に住んでいる方以外でも、ごみは、どこのストックハウス又は、ネット等に置けるごみ捨て場に捨ててもよいです、と役所から説明を受けました。ごみ捨て場の管理は、市の補助と、地域の組費等で営んでます。清掃も、区民でやっていますので、捨てるごみは、各地区の自治体設定の所に決めていただけると、ごみ料が少しでも減り、助かります。交通量の多いごみ捨て場は、他の地区の方の持ち込みも多いです。最近、市の補助金+区費で、ストックハウス(ごみ捨て用)を新しくしていただきました。ありがとうございます。また、移住をされる方々には、ぜひとも地区区民になっていただくように進めてください。お願い致します。
- 自治会に入っていない住人のゴミの出し方のマナーが悪いので、ガイドラインを作してほしい。
- ゴミ集積所利用のマナーが悪い。当番制ではあるが、該当地区以外、または隣組非加入の方のルールを無視した利用が目立つので対策をお願いしたい。
- 庭の木々の落ち葉や雑草を、他の地域のように、大きな専用袋に入れて出したいです。
- ゴミ収集業者がゴミ収集に来る時、住宅街の中でも子どもが歩いていてもスピードを落とさないで通っていくのが危なくて気になる。
- ゴミ回収業者のトラックの住宅地内での配慮が足りない。小さい子どもがいるのに、スピードを落とさないため、危ない。
- ゴミ袋のコストが他地区にくらべて高すぎませんか。
- ごみ出しの徹底。各アパートにごみ集積施設を設ける様、市からお願いしてほしい。
- ゴミ回収の記名について。マナー等の課題があるためと思うが、ゴミ袋への記名に抵抗があります。無記名のものも見かけますが回収している現状があるのであれば、記名は無しにしてほしいと思います。
- ゴミの袋代高い。(松本市と比べて)
- ゴミ袋が高い。

- ゴミ袋の代金が高い。もう少し安いと助かります。
- 市指定のごみ袋の値下げ。

【SDGs】

〈食品ロス〉

- フードロスをなくす為にも、自動販売機方式でフードロス削減を目的に安く提供可能であれば希望する。

〈自然環境の保全〉

- 安曇野の自然の保全にもっと取り組み、これ以上の開発をしてほしくない。
- 「さとぶろ。」の取り組みは、市のSDGsに関する施術の代表例。SDGsを推進したいのなら、今ある政策（さとぶろ、水資源の保護、など）に磨きをかけ、若者を巻きこむ手立てを考えてほしい。
- 山ろく線沿線の森林が伐採され、景観が悪くなっています。森林の保全に注力していただきたい。
- 松くい虫で枯れた山の再生。

〈野生鳥獣被害対策〉

- 猿の出没による生活(日常)への影響が大変に成っている、地域全体で取り組める様、行政の指導がほしい。
- 猿がたくさん増えて困っています。群れで山から来て屋根にのぼったり、電線の上を歩いて危険です。駆除してほしいです。
- ○○在住ですがここ数年猿が集団で庭やベランダに来るので怖い時があり困っています。

〈エコカー〉

- 無料充電機の設置。(EV用)
- CEV 補助金を新設してほしい。

〈太陽光発電〉

- 公共の建物の屋根には必ず、太陽光発電プレートをのせてほしい。東京都のように、個建住宅にものせて補助金も少しでも出してほしい。安曇野は晴天の日が多く、利用した方がいい。節電にもなるし、経済的メリットもある。開発行為ももっとゆるくしてほしい。
- 台地を覆う太陽光エネルギーのパネルの乱開発は慎重でありたいです。水田に映る春のアルプスの風景は大切にしたい。
- 人口数にはスーパー、菜店等、大型店が多すぎる。全国の人があこがれる安曇野のイメージがなくなってきている。空地に太陽光発電の設置を許可しないでほしい。
- 蓄電池設置の補助金を出してほしい。
- メガソーラーはこの街には必要ありません。税金を使って環境破壊は反対です。

〈ごみの減量〉

- ゴミの分別に関し、分別方法の周知徹底だけでなく、それぞれの処理方法、再利用方法等の情報発信に積極的であってほしい。
- ゴミ削減に関して。安曇野市に越してきてから、粗大ゴミの捨て方が分かりづらく捨てずに家に置いてある。結果ゴミは減ったが、ただ捨てていないだけ。こんな家庭は他にもあると思う。

〈その他〉

- SDGs ですが、問題は一人ひとりの危機管理のなさと、行動を起こすにはお金と手間がいること。

【デジタル社会・行政サービス】

- 1月から広報誌あづみの変わりましたが、表誌のカラー次の見出しのカラーがあり読みやすいです。今までの広報誌が良いと思います。
- 防災無線は、家の外に出ている時は聞きとることができますが、家の中にいる時は、聞きとることができない。家の中にあればと思います。(以前の有線のほうが良かった)
- 地域防災の広報、伝達手段の改善(防災無線のスピーカーの増設)
- 安曇野市の警察や行政の連絡が流されるが、家の中にいると聞きとることができない。外にいても風の向きにより聞きとれない。昔は各家庭に有線電話があったが、これも外にいと聞えない。何か、このような緊急・重要な事柄を伝える仕方を工夫されたい。
- 高齢者に様々な情報が届くことに工夫をしてほしい。
- YouTube、SNSをもっと活用し、リアルタイムで必要な情報を発信すべき。松本市に遅れを取っている。
- 高齢者にはデジタル社会はついていけません。
- 補助金に係る検索ページが見づらい。対象になるかサイト上で判断できる様になれば良いかと思う。
- 広報「あづみの」はすばらしい、さらなる発展を。
- 前にあったような各家にあったほうそうせつびがあるといいなあと思います。
- 広報、回覧等は大半が市民に読まれていない。広報誌としてもっと市民が親しめる様内容を工夫したらどうか。
- 安曇野市緊急通報システムを用いて「安曇野市役所職場説明会開催」案内を出すってどういうこと？誰もおかしいと思わなかったのですか。
- "長く住んでいても、知らない情報が多い。
- ケーブルテレビに加入すると、市の色々な情報が入りやすいのかなとも思うが、加入する予定はない。アプリを取り入れてまで…とも思わず。自然と様々な情報が入ってくるような環境を整えたいと思う。松くい虫の被害がすごく、山肌が見えてしまい、問題視されているが、これからどの様な計画がなされているのか、自然豊かと言えなくなってしまう悲しさがある。"
- なんでも、かんでもデジタルの世の中になってしまっていて、アナログ世代は住みづらくなってしまいました。両方をバランス良くしてもらえるとありがたいです。
- 少子高齢化、過疎化対策、問題は多いと思います。今より暮らしやすい町に、情報に取り残されないよう自分達も学び、情報を得ていくことも大事だと思います。情報の伝達方法は、年齢の差にも寄りますが、情報を受け取りやすいもの活用しやすいものを提供して欲しいです。
- 住宅は防音性が良く屋内にいると何を言ってるのか分からない
- インターネットの活用が苦手な人たちは、今後不安がある。
- これからのデジタル社会で、年齢に関係なく、とり残される人がいないようにしてほしいので、ぜひ対応をよろしくお願いいたします。

- のる一とは更に進化してほしい。定期的に利用している人も予約がとれない時があるようだし、たまに利用してみようかという人はほとんど予約が取れないようだ。市政の中でとても良い取り組みだと思うものもいくつかあるが、それを知ってもらおう努力が足りないように思う。広報「あづみの」は良いできだと思うけど、必要な情報が必要な人に届けられているかということ、まだまだ方法を考えないといけないと思います。
- 例えば『広報あづみの』NO.353 2月号の25ページ荒廃農地防止対策としてJAの営農センターに貸出し用の歩行型草刈り機を配置し活用いただいたとあるが、そんな事は全く知らなかった。周知徹底がされていない。
- 外の放送は全く聞こえない（防災無線）もっと考えた方が良いのでは。
- 無線で詐欺防止情報を流してくれるのは重宝しますので続けてほしい。
- スポーツ講座等のサークルを簡単に検索できるサイトを作ってほしい
- 行政のデジタル化は犯罪に使われるリスクが高いからやめた方が良いのでは
- デジタル化が進む中、高齢者や操作に苦手さを感じる方への丁寧なサポートも必要かと思います。
- 全戸に配布している「広報あづみの」ですが、ほとんどの家庭では1回目を通せば、新聞とっしょで廃棄するのに、あんな上質の紙を使う必要はないです。コストをおとして、税のムダを省くべきです。
- 情報化社会へ向けたDX化は必要ですが、地域性を考慮し、デジタルに弱い高齢者等を置き去りにしない仕組みが求められると思います。
- 移住者のために自治会の情報を公開していただけると、良いかとも思います。（自治会費や行事、区域図等）HPで公開されている道路台帳は、家を購入する際に参考になりました。

【市への意見・要望・提案】

〈意見・要望・提案〉

- 市職員の療養休暇が多すぎる。
- 「適材適所」の言葉実に上手に職員が回っていると思われる。（人事） 本日も仕事ご苦労様です。
- （入口右側）案内係の数人いて、お互いに立ち話をされていて、質問をした際の対応が非常に悪い方がいた。もっと人数を絞ったらどうか。
- 内情はよくわかりませんが、市役所の職員が多い気がします。
- 市役所の開館延長日、土日の開館日をもう少し増やしていただけるとありがたいです。マイナンバーカードの手続等々、市役所に行く必要が多くなり、不便を感じます。（平日8:00-17:00勤務のため、わざわざ休みをとって行きますが、足りないこともありまして）
- 市職員のやる気の無さ、事なかれ主義が目立ちます。（特に管理職の人たちは無駄ではないですか）年功序列はやめたほうが良い。
- 市議会議員の定員を減らすべきと考えます。
- 私も含め娘も、いろいろな手続きなどで市役所へは、今まで何度も伺いました。とても、ていねいに説明して、話を聞いてくれる職員さんがいる反面、すごく適当で、めんどくさそうに話を聞いて、全くNGな職員さんもいます。NGな職員は、窓口立つべきではないと思います。
- 安曇野条例の撤廃及び条例を出している意味が理解できない。

- 行政が住民にいろいろな役（町内会の各役員）を押し付けている（募金活動、町内美化、安協等）役を押し付けるならばそれなりの対価を払うべき。
- 市職員の対応がとても良いので感心している。老人には解からない文書が多くて四苦八苦している。老人用書式として別にならないかと常々思う。子どもが家に来る時に全部目をとおしてもらっているが本人ではかなり書類に不備があるのではと不安になる。
- 太田市長は親しみやすく、今後に変期待しています。
- 市長さんも変わり新しい変化がと期待していましたが、それも期待はずれなかんじで残念です。子どもが小さかったり年を取ると何かしら恩恵があるのかもしれませんが働き盛りの年齢の人たちには住みやすさや安曇野市はここが良いと自慢できる他地域に負けない市の取り組みがあると感じられない。不満です。
- 物の値段が上がっている中、60歳以上高齢者や、母子家庭（父子家庭）などの収入が少ない人（収入がない人）などに、市から何か買い物券みたいなこと、プレゼント、補助金などがあれば助かります。子どもがいる家庭などとかにもあったらいいと思います。
- 安曇野ナンバーは必要ないのでは。車のナンバーで安曇野をアピールする必要性あるのかな。市長の人気取りだけの施策。職員の人はどう思ってますか。
- 農家のたき火、野焼きについて。煙の臭いがひどく窓を開けられない。洗濯物を干せないなど大変迷惑しています。もちろん禁止にしてほしいとは言いませんが、時間を決めていただきたいです。例えば早朝、18時すぎとか。
- 野良猫対策にもっと力を入れてほしい。おかしな指導はしないで餌を与えたら手術をするよう指導をお願いしたい。補助金は行政の責任でお願いしたい。
- 生まれたふるさとへ一言。選挙のための行政では〇〇時代と同じ変化しない街、自然の良さにあぐらをかいてはいけな。もっと良い街に市になろう。
- 高齢者や子ども子育てに関して力を入れていると感じるが、子どものいない夫婦（20代～40代）には魅力を感じる物が少ない街だと感じた。
- 毎日、ご苦労様です。夫婦とも体力がおち、大雪などは除雪が大変です。皆様もお体お気をつけください。
- 近隣自治体との合同取り組みを増やすこと重要ではないでしょうか。少子高齢化に向かい単独で考えると限界がありそうな気がします。
- すべてに対し、豊科中心に進んでおり、郊外への取り組みはなされていない。ホームページは、見つけるの（目的が見当たらない）に時間がかかり、うんざりする。電話しても回されてばかり。議員が動かない、どんな行動をしているのか、一般質問で初めて知る。本当に動いてくれているのか、疑問である。市で開催している行事のほとんどは、新聞の記事で「あったんだ」と知っている。市民同士が楽しく、高齢者が孤立しない、町づくりに取り組んでほしい。
- 市に地域（農地、林地）活用、担手について、想談、提案したが、市は関係ないと、無視された。市職員が市の事を考えていない。
- 仕事の休みを取り〇〇支所に朝一で確定申告に行ったが既に当日の枠は一杯になっていた。職員さんにどうすればいいか尋ねたが、「無理ですねー」のみ。忙しい中休みをとって来た。今日しか休みが取れない旨伝えたが「皆さん朝早いですよー」のみ。その後本庁に問い合わせをし、空きがあったため、手続き完了したが三郷の職員からは「本庁で空きがあるかも」

という提案すらなかった。予約が一杯なのは仕方ないが、その後の対応は民間ならクビレベル。公務員がバカにされるのも仕方ない。そもそもあなた方の給与となる税金を納める手続きに仕事を休んで出向いているのに、その意味を分かっていない「公務員はバカばかり」と痛感させられました。何も期待していません。あなた方の雇用主は安曇野市民です。民間では通用しない方が多く呆れるしかない。(上記以外でもそう感じる事が複数回ありました)よって安曇野市には住みたいと思わない。

- マイナンバーカード取得の手続き窓口応待について 手続きは初めての事で高齢者にとって難しい説明や手続きの補助をして下さる方のイラ感がこちらに伝わり何とも言えない気持ちになりました。これは必要のない手続きで(保険証は保有しており)税金の無駄使いだと考えます。
- 市長、議長の収入が高すぎる。役に立たない議員が多く、半分にしてもらいたい。松本に対してゴミ袋の値だんが高すぎる。ラーラのゴミ処理にいきたいが、松本市民以外はつかえない。私の家からは近いのに松本市の人しかつかえず、雪降りの時一人ぐらしの、年よりは、雪かきができないかわいそう、これから高齢者が増える中、市はどのような取り組みをするのか。〇〇の田んぼの土地は、売ることができない限り、移住者は増えない。ばかだ。
- 市役所職員の質向上をお願いしたい。ただのお役所仕事する職員は必要ない。時々居る。むかつく職員。名前言って良いボックスとか置いて。
- 地区には役員が10年後には高齢になり引き受ける手がいなくなります。今後重要度が上がるので早期から検討していただき、今の生活が安定できる安曇野市にしてほしいです。
- すばらしい環境にめぐまれながら利便性も確保されており移住の満足度は大変高い。また周囲の方々もとても親切にしてくださっており安心して育児・就労できている。しかし訪れてくれる市外県外の友人たちの意見を総合すると観光資源のアピールがうまくいっていない印象(ツールやHP等)、また労働力人口の誘致に本格的に取り組んでいただきたい。インターネットが広まり地方移住のハードルは決して高くなく、また安曇野は大変魅力的である。市役所の窓口で就労支援の問い合わせをした際に「そういう事はしてないですね～」と返答しているのは問題だと感じる。
- 高齢者の運転マナーが悪く、何度も危険な目に会っています。できれば免許返納を積極的に行い、“安全な町”にしていきたいです。
- 田畑の野焼きを夜間にさせるのをやめさせてほしい。
- 安曇野ナンバーについて意見の聴き取りが不十分ではないか。
- 車のナンバーについて、松本ナンバーを気に入っていたので、せめて安曇野か松本か選べる様にしてほしかったです。
- "市より末端自治体(例…区、地区等への業務依存はなるべく少なくすること、また区、地区等へ市職員(区、地区在住者)の派遣の上ベーシックサービス向上につなげることを希望する。
- SDGs(17)及びLGBTについて、市としての基本方針をもっと発進すべきである。"
- "職員数は適正でしょうか。個々がマルチに仕事していないのでは。時間内に精一杯の様に見える方が多いです。見られている意識をもってください。
- 技術系の部門における技術職員がほとんどいません。上下水や道路維持等の部署には、技術職員の配置をして、一般の職員と同じ様な移動をしない様にしてください。上下水について

は、部ではなく、局等で独立性を高めてください。"

- 20代、30代の若者の意見を取り入れてほしい。特に自宅通勤をしている人たちを大切にすることは将来的に空家防止、少子化防止、市税増収になると思う。
- “安曇野らしい”という表現が多く見られましたが、市民に伝わっているのでしょうか。一度手を掛けた事はスピーディーに仕上げる。公園は役所の物件しかし市民の物。
- 金のバラまきでは少子化は止まらない各家族化に問題があると思う。
- コロナがあり、生活様式や人の動き、人との関わり方に变化した現状。安曇野市としても、“現状保持”ではなく、進化、考え方の前進をしていってほしいと思います。マスク生活、制限のある環境で育った子どもたちに明るい前向きな未来が訪れることを期待したいです。
- 市のとり組みって、人の声として、聴ける場がありますか。市の取り組みをやっている人の心が市民に響く時、いいことが起きそうです。
- いつも市民のために骨折って下さり大変ありがとうございます。今後の様々なご努力にも感謝致します。期待しております。
- 日々の生活は、大変であるが、まじめに働き税金をきちんと納めている層にも、希望ある政策を望みます。安曇野市にはやりのなんとか宣言とかいららないです。
- 確実に使った物でも忘れることが多くなりました。スマホを使用している方に聞いても電話以外は…多いです。私の住む地域も一人、二人世帯が多くなり空家も多くなっています。市の窓口で聞いても間違った事を教えられたり知らない人が多いと感じます。私のように年寄りには生きづらい世の中になってきました。市には窓口の充実を願います。昨年対応の悪さに強く感じました。
- 自分の地域（地区）の子どもが確実に減っています。国の対策も後手に回っている状態。安曇野市独自の対策が必要。一回安曇野市役所へ行ったのですが、職員の対応もすばらしかったです。ワンフロアで対処できますので良かったです。
- 正規、非正規にかかわらず不要な人員は削減すべきである。有能な非正規職員には手当を厚くすべきである。市議員は人員と給与を半分にすべきである。市民サービスという大義名文のもとにつまらない出費はすべきでない。
- 市の大変な苦労の上に私たちの生活があるんだと思います。全然何してるか知りませんが、ありがとうございます。
- 精神疾患の患者さんへの対応、高齢の行方不明の捜索に関して尽力していただけると、有り難いです。
- 土曜営業してもらいたい。市役所など。時間もPM7時くらいまで営業日をしてもらいたい。
- 安曇、〇〇に生活していることが他地域の方からうらやましいと言われます。
- 税金を正しい方向へ使ってください。安曇野ナンバー等への移行は必要ないと思います。若い人たちが市に残りたいと思える市にしてください。
- 平日17時までの窓口が多いが仕事をしていると手続きが間に合わないので、仕事終わりや土日にも開いている窓口があれば良いと思う。
- 安曇野市の将来を決めるときには、これからの安曇野で生きる若い人たちの言葉を聞いて決めていってください。
- 犬を散歩中の人のマナーが悪すぎるので、その辺の啓蒙をしていただきたく思います。

- プレミアム商品券またお願いします。
- プレミアム商品券について、他の市に比べて申込できるセットが少ないと感じた。1人何セットならわかるが1家族単位で申込むのも不平等だし、一度は抽選に外れて商品券を買うことすらできなく大変不満でした。
- 住民税など税金が他市に比べて高すぎる。
- 市民はもちろん県外者からも魅力ある環境づくりをお願いします。
- 安曇野市に住みたいと思う独自の政策を。
- 出生率増加へつなげる一助として、市主導で街コン、お見合いを推進してほしい。
- 安曇野市が活性化していくような企画を考えてほしい。(個人も企業も)
- もう少し活気のある安曇野市になるといいなあと思います。
- 明科地域の活性化に向けて具体的な施策を地元住人にわかりやすく明示してください。
- 出生率を高めるための国の施策に連携し、産業の活性化と子育て支援に力を入れてほしい。
- 人口(子ども)が増えないと安曇野市は活性化しない。"
- 企業の誘致、人口の増加、子育ての充実。
- 情報発信が良くないと思う。農業、観光に力を入れてほしい。

〈質問〉

- 安曇野市の夏の花火大会の日時を知りたいです。去年、引っ越しをしてきて3回くらい続けてありました。どこへ問い合わせればよろしいでしょうか。

〈その他〉

- スマートフォンについて、もっと勉強したいが、近くにないのが残念。
- SDGsを言っている割に、運転している時、道を譲らない車が多い。特に右折待ちで、後ろに長い列を作っているのに譲らない車が極めて多い。景観の良さにあぐらを組んでいる市民性の表れと思う。

〈アンケート〉

- 高齢のためあまり理解できない質問が半分くらいあり、正確な解答でない個所がいくつかありました。
- これってあまり意味の無い調査でしたね。これが市政に反映できるとは考えにくいです。
- 関わりのない小、中学校の事はほぼわからない。どちらともいえないというより、わからないと言ったほうが良い。
- 80歳近い者にアンケートをいただいたけれど答用がありませんでした。
- 子育てが終わっているため、教育関係は全くわからないため回答していません。
- 市民の税金で作成しているアンケートですよね。市が市民に対してどれほどメリットのある政策をしているのか知りません。市民に対してのアピール不足があるのでは。それとも一部の市民に対してだけはメリットがあるのでしょうか？18歳以上の市民にアンケートを送付された様ですが、高校生を含めお若い方々が答えられる質問が何問あったのか疑問です。もっといかされる税金の使い方を望みます。
- ありがとうございます。
- アンケートの内容、意味不明なものが多い。後期高齢者に聞くのは困難な内容が多い。
- このアンケートで何を知らうとしているのか理解できない。例えば、スポーツについて「1. スポーツを楽しめる環境が整っている」といった質問に対し、不満であるという欄に○をし

たのであるなら、不満は何かと再度問うべきではないでしょうか。今、アリーナを利用したいという人が増加しているのに免許返納した場合、そこまで行く手段が整備されていない。そういった施設を建設するなら、誰でもいくつになっても手軽にあまりお金をかけずに行けるような交通網が整備された所に建設するといった配慮が必要ではないでしょうか。そういったものが汲み取れる設問にすべきだと思うのですが。

- このアンケートの転記集計は人手でするのですか。公務員のそういう雑務を画像認識の元データとの差分で自動集計するシステムなどは取り入れていますか。役所での ICT 化でアンケート程度とってはアレですが、手間がかかるけど「ひどく重要」ではないことはどんどんシステム化して業務工数を減らして楽にして、他へ余力を回せるように予算をみながら頑張ってくださいね。
- 形だけのアンケート調査にならないよう、取り組みは何事も「結果」で示してください。ただやって満足しているようなものが多い印象。
- 質問に対しての回答で「わからない」があっても良いのではないか。安曇野市と比較する他市町村の現状が分からないので回答が難しい。
- 居住年数が短く、アパート暮らしであるため、回答が難しい設問が多かったです。
- アンケートが長すぎる。もっとシンプルに少なめにしないと、これではいい加減なアンケート結果が増えてしまうと思う。
- 一部のアンケートの質問が受取側によってはどちらとも取れる選択肢しかなく、個人としての適正な回答が難しいものであった。
- アンケートの設計に不安を覚えます。例えば市民が現状を把握していない中で「わからない」という答えが設定されていないことなど。横浜市等先進自治体の意識調査を参考に制度設計されることを望みます。
- 自由入力フォームの文字数制限をなくしてください。

設問別 その他の意見（自由記載）

問1（3） 主に従事している職業等 その他の内容

- フラワーインストラクター、デザイナー
- ダブルワーカー
- 育休中
- 障害者雇用
- 勤め人（非常勤）
- 非常勤職員
- 非常勤講師
- シルバー
- シルバー人材センター
- 定年退職

問1（4） 通勤先、通学先の市町村 その他の内容

- | | |
|--------|-------------|
| ● 飯田市 | ● 松川村 |
| ● 上田市 | ● 山形村 |
| ● 岡谷市 | ● 木曾郡 |
| ● 佐久市 | ● 東筑摩郡 |
| ● 諏訪市 | ● 松本市、大阪豊中市 |
| ● 茅野市 | ● 富山県富山市 |
| ● 長野市 | ● 群馬県安中市 |
| ● 池田町 | ● 新潟県柏崎市 |
| ● 信濃町 | ● 県外 |
| ● 下諏訪町 | ● 県内 |
| ● 立科町 | ● 現場による |
| ● 坂北村 | ● 時々（松本市） |
| ● 白馬村 | ● 農地 |

問1(6) あなたの出身地は その他の県内市町村の内容

- | | |
|--------|---------|
| ● 飯田市 | ● 辰野町 |
| ● 伊那市 | ● 松川町 |
| ● 上田市 | ● 箕輪町 |
| ● 岡谷市 | ● 朝日村 |
| ● 駒ヶ根市 | ● 梓川村 |
| ● 小諸市 | ● 生坂村 |
| ● 佐久市 | ● 王滝村 |
| ● 須坂市 | ● 小谷村 |
| ● 諏訪市 | ● 麻績村 |
| ● 千曲市 | ● 喬木村 |
| ● 茅野市 | ● 筑北村 |
| ● 中野市 | ● 野沢温泉村 |
| ● 長野市 | ● 白馬村 |
| ● 阿南町 | ● 本城村 |
| ● 池田町 | ● 松川村 |
| ● 軽井沢町 | ● 美麻村 |
| ● 木曾町 | ● 山形村 |
| ● 坂城町 | ● 北安曇郡 |
| ● 信濃町 | ● 東筑摩郡 |
| ● 下諏訪町 | |

問1(6) あなたの出身地は その他の道府県の内容

- | | |
|-------|--------|
| ● 青森県 | ● 新潟県 |
| ● 秋田県 | ● 兵庫県 |
| ● 岩手県 | ● 広島県 |
| ● 愛媛県 | ● 福井県 |
| ● 岡山県 | ● 福岡県 |
| ● 香川県 | ● 福島県 |
| ● 岐阜県 | ● 北海道 |
| ● 京都府 | ● 三重県 |
| ● 群馬県 | ● 宮城県 |
| ● 静岡県 | ● 宮崎県 |
| ● 千葉県 | ● 山形県 |
| ● 長崎県 | ● 山梨県 |
| ● 奈良県 | ● 和歌山県 |

問1(6) あなたの出身地は 外国の内容

- | | |
|--------|--------|
| ● アメリカ | ● 中国 |
| ● 韓国 | ● ベトナム |
| ● タイ | |

問1(7) 移住前の居住地 その他の県内市町村の内容

- 飯田市
- 伊那市
- 上田市
- 大田市
- 岡谷市
- 更埴市
- 駒ヶ根市
- 小諸市
- 佐久市
- 須坂市
- 諏訪市
- 千曲市
- 茅野市
- 中野市
- 長野市
- 池田町
- 木曾町
- 信濃町
- 下諏訪町
- 高森町
- 辰野町
- 松川町
- 御代田町
- 朝日村
- 梓川村
- 生坂村
- 小谷村
- 麻績村
- 筑北村
- 白馬村
- 原村
- 松川村
- 南箕輪村

問1(7) 移住前の居住地 その他の道府県の内容

- 青森県
- 茨城県
- 岩手県
- 愛媛県
- 岐阜県
- 京都府
- 群馬県
- 滋賀県
- 静岡県
- 千葉県
- 富山県
- 奈良県
- 新潟県
- 兵庫県
- 広島県
- 福岡県
- 北海道
- 山梨県

問1(7) 移住前の居住地 外国の内容

- 韓国
- 中国
- スイス
- ネパール
- ベトナム
- 語学留学

問2 世帯状況について その他の内容

- しせつ
- ばあさんと2人
- ○○では一人、○○では妻と
- 妹
- 弟
- 姉及び妻の3人
- 四世代同居
- 内縁の妻と二人暮らし
- 時々

問3 生活にどの程度満足しているか その他の内容

- 4月から転居予定です。
- まだ引っ越したばかりでわからない。

問4 これからも安曇野市に住み続けたいか その他の内容

- 当面の間
- 交通の便など不便だけれど住み続けるしかない。
- 仕方ない。
- 住むしかない。
- 年齢を考慮すれば移住は不可。
- 家を建てたので、住み続けるしかない。
- 仕事の状況による。
- 結婚、仕事などで変わると思うから。
- 転勤の影響があるため。
- ○○に一人暮らしをしており、やがては母のもとへ行つての介護も必要になるかと思う。自分自身、安曇野市になじんでは来たがやはり地元育ちではない、という気持ちも残っている。そのため、実家の財産(土地など)のことを考えると、故郷に戻ることもアリか…と考える。
- 安曇野の冬は寒い。お金があれば京都で桜を愛でたら、安曇野に来て、野菜作りを、安曇野で紅葉を鑑賞したら、京都へが理想。
- 将来的には離れたい。
- 老後は必要があれば移住すると思う。
- 出身地に帰りたい。
- 海外に移住してみたい。
- 他に良い市町村があれば住んでみたい。
- 他の地域も魅力的だから。
- 検討中
- 人間関係が希薄。
- 娘がこの県民性と合わない。

- いつかは〇〇に帰る。家は安曇野の山荘として残す。
- 魅力的な街ではあるが、地元に戻ることが決まっている。
- 行政に不満、若い新しい世代へ。
- 戻って来てまで住みたいとは思わない。
- どちらでもよい。
- 特にこだわってはいない。
- 福祉サービスの悪さは感じてるから分からない。

問4 (1) 住みたいと思う理由 その他の内容

- 自然がとても良い。
- 素晴らしい景色
- 美しい風景
- 四季がある、気候がおだやかである。
- 山とその景色が好きだから。
- 風景、空気、水等自然な土地だから。
- 自然(山々)が天国のように美しいから。
- 空気がきれい。
- 山が好きなのでアルプスが見えるから。
- 自然が多く残されているから。
- 自然がとても豊かで美しいから。
- 自然が豊か。空気、水がおいしい。
- 自然環境が良いから。
- この街の風景と空気が好きだから。
- 静かな場所に自宅があり、安心して生活ができているから。
- 住んでいる場所の周りが静かで落ち着くから。
- 環境が良い。
- 農業地域でもショッピングセンターが多い。
- 松本や塩尻ほど渋滞しないから。
- スキー場が近い、県内どこへ行くにも苦でない距離な所。
- 文化的なくらしができるから。絵を書くことコーラスができる場所があるから。
- 温泉、スキー、登山、などが身近にできる環境があるから。
- 犀川で釣りができる。
- 子供が近くに住んでいるから。
- 近くに子供、孫達が住んでいるから。
- 娘家族の近くで生活したい。
- 姉がいたから。
- 老齢でもあり墓もあるから。
- 頼れる義実家があるから。
- 独立した子が市内に住んでいるから。
- 近くに親族がいるから。

- 生まれ故郷に近いから。
- 安曇野市に住みたくて越してきたから。
- 最終地
- 終家として安曇野に移住した。
- 魅力ある歴史があるから。
- 田畑があるから。
- 田畑でのら仕事が理想ですが。
- 農家だから。
- 商売が続けられる限りここで暮らしたい。
- 転居先の購入には費用がかかる。経済的な理由。
- 他の市等を知らない。
- 他に行く所がない。

問4 (2) 他の市町村へ移りたい理由 その他の内容

- 人に魅力がない。
- 区民のわだかまり他。
- 住民の人格・マナーの欠如。
- 人とのつき合いがむずかしい。
- ①〇〇病院で出産したが対応が非常に悪かった。
②病児後保育もない。
③市役所職員の質が悪い。
- 文化活動が少ない。
- 生まれた場所にもどりたい。
- 地元に帰りたいから。
- 通勤時の渋滞。
人が多いから。
- 血縁にも、お金もうけにも引っぱられずに、地球と人と幸せを愛する人の力に引っぱられている。
〇〇に行くかもしれませぬ。
- 農地が際限なく住宅地に変わっているから。〇〇地域の良き田園風。
- 温暖な地域にあこがれる。(海がある)
- 北アルプス見える〇〇

問5 (1) 愛着を感じる理由 その他の内容

- 山がすばらしい。
- 整備されていない自然がある。
- 空が広い、山々の景色がすごく素敵な所。
- 四季折々、朝夕の北アルプスの景色にここに生まれて良かったと思います。
- 豊かな自然環境に恵まれている。
- 景観・田園風景が美しい。
- 自然が美しい。
- 北アルプス
- 北アルプスを背景に自然との調和がこち良い。
- 空と山の美しさ。
- 自然環境が良いから。
- 食べ物や空気がおいしい。
- 自然環境がいいだけで他は普通か不便。
- 住環境が整備されているとはいえないが、自然環境が良く、災害が少ないので、安心して生活できる。
- 北アルプスに守られ自然災害が少ない。
- 大きな災害(水害, 地震)がないから。
- 災害が少ない。
- 生まれ育った場所だから。
- 生れ育った地域に愛着が有る。
- 育った場所だから。
- 自分が生まれた場所だから。
- 転勤族であった我家において、子ども達にとって小・中と楽しくすごせたこの地は彼らの「故郷」になっている。
- 生まれた時から〇〇なのでなつかしく思う。
- 生まれた時から安曇野市なので。(途中〇〇にも住んでましたが。)
- 50年暮らしているので住み慣れたとの感じ です。
- 住み慣れたところだから。
- 30年以上住んでいるから。
- 長く住んでいるから。
- 慣れ親しんだ場所。
- 親戚、友人、知人が多く、住み慣れているから。
- 以前から住んでいたため。
- 住めば都
- 人と人のつながり温かさ。
- どちらかというと、地域力。
- 自分に愛着を感じてくださる方の存在が安曇野の中にも。だから私も、この地に愛着を感じます。
- 家族がそばにいたので。選択項目のような上等の理由ではない。

- 職住近接
- 職場がある。
- 体育館や飲食店がたくさん有り便利。松本へのアクセスも良い。
- 首都に比較的近い。
- 登山に適している。
- 高齢者が増強、運転免許の返納と共に周遊バスの運行を促してください。
- のんびり
- 他を知らないため。
- 可もなく不可もない。
- 今の所煩らわしさが無い。
- 特に理由はない。何となく。
- 魅力も将来性も感じるが活かしきれていない。
- 自分中心が多いと思う。

問5 (2) 愛着を感じない理由 その他の内容

- 安曇野市はいい所ですが、居住年数が短かいので愛着までは今のところいかない。
- 引越したばかりで何も知らないから。
- 安曇野市内に住んであまり年月が経過してないため
- 居住してから年数が短く、地域に知人等が少ないため
- 住み始めてまだ間もないため。
- 愛着のわく程市の事を知らない。老後、住みにくい市だと思う。
- 何年たってもヨソ物と思われている。
- 移住者同士交流の場が少ない。
- 地域の役職が多くて困惑してしまう。
- 古いしきたりや制度、規約にしばられている。(区)
- 市には魅力を感じるが行政が悪すぎる。
○○に比べて最悪の質(職員) このままでは安曇野市に期待できない。
- 税金が高い
- ごみ袋が高い
- 税金の使われ方が偏っている。
- 車の免許が無いと、医療機関、買い物、公共施設等どこにも行けない。先日、雪が降ったが道路の雪かきが遅い。
- 公共機関を充実させてほしい。車がないと不便あづみん車はあるけど高い、時間通りに運かない。
- 運転のマナーが悪い。
- 高速交通(新幹線、リニア) 便が悪い。
- ここに生まれ暮らしていただく、特に思う事はない。
- とにかく、あまり魅力を感じない。

問7 家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合の原因 その他の内容

- 食品ロスはほとんど出さないようにしている。
- 出さない
- 殆んどでない
- 食品を捨てたことは、ほとんどない。自家採取の物がほんの少量出るくらい。
- 農産物をもらったが食べきれなかったため。
- 家庭で作った野菜が食べきれない。
- いただき物の野菜が多くありがたいが、食べきれずくさらせてしまうことがある。
- 家族が少ないので、材料が少ししかいらず残った野菜など捨ててしまう食べきれず少量売りをしてもらえると嬉しい。(デリシアなどがありますが、もっと増えると良い。)
- 広告との相違
- 料理を多く作ったわけではないが子どもが食べ残す為。
- 子どもが嫌がって食べない。
- 体調不良等で調理できず古くなってしまったため。
- 仕事での時間ズレなど。
- 防災用に買ったものが期限切れになってしまったため。
- 大→小家族になるも冷蔵庫がそのままなのが根本原因。
- 家庭の問題は、影響が少ないと思います。お店で売られている商品の捨棄が多いでしょう。
- 食べ物への感謝がたりない。
- 経済コスト
- 一応答えましたがこれ意味ありますか。

問8 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合の原因 その他の内容

- 外食はほとんどナシ。
- 外食は極力しないようにしている。
- 高齢者のため外食なし。
- 外食はしない。
- 最近、外食はしないので回答できない。
- 外食は体のためにめったにしない。
- 宴会等にはいつも出席しない。
- 家族での外食時は、外に食べてくれる人が（若い人）いるのでロスにしないで済む。
- 食べたい物以外注文しない。
- 外食などはみんな食べるのですてるのはないです。
- 自分が食す量がわかっているので。（外食時）
- 外食で残すことはほぼないです、が持ち帰りができたらよいですネ。
- 自分好みの料理の順番に食べる。
- 入れ歯により、硬いものはだめ。胃の切除により、分食を実施している。
- 食べきれない分はお持ち帰りをしている。
- 残った物は持ち帰る。
- 多少はしかたがないが酒類の持ち帰りができないのが残念。
- 持ち帰りダメはもったいないと思う。
- 生物以外の持ち帰りをもっと当然のように推進すべき、食べられる物を、もったいない運動を。
- 持ち帰り不可なために発生する。（本人の責任での）食中毒など、クレームがあると困るのは十分理解できる。
- お持ち帰りをさせてくれない。
- 少量のメニューが、もっとあったほうが良い。
- 宴席の料理の提供過
- 年輩者の多い市には年輩者用の料理が出ない。（量少なめ）
- 食べましょうという呼びかけ。共通認識を高めていく 大皿だと食べにくい。
- 飲酒と会話に集中し食べる時間が少ない。
- 子供の面倒を見ていて食べてる場合ではないため。
- 体に合わない食品出た時は残す。（アレルギー）
- おいしくなかった時。
- 食品ロスを悪いこと、もったいないことと感じない人も多い。
- 食べられるよろこびの不足。
- 日本人は食べすぎ。
- 松本市「30.10 運動」的な啓発不足
- 経済コスト

問 1 4 あなたの災害関連情報の入手方法 その他の内容

- 新聞
- 区報
- 公報
- アズミノテレビ
- Facebook
- スマホ
- 人づて

問 1 7 「さとぶろ。」に参加していなかった理由 その他の内容

- 高齢のため
- 年令的に無理
- 両ひざが痛いため
- 時間的都合が合うかどうかわからない。
- 引越しをしてまだ日がたっていない。
- 知らないから

問 1 8 あなたが身近な山林での活動において興味があるもの その他の内容

- 植樹
- 自然のままと荒れ放題とは違うので、断然 1 番です。
- 里山登山
- ドライブ
- 猿害対策
- 猿や熊対策
- 高齢のためできない。
- 山は歩けない。(高齢のため)
- 高齢で無理
- 体力的に無理です。
- 足がわるいためだめです。
- 体の調子がわるいので何も興味がありません。
- 炭焼き、腐葉土作り
- 経済活動携わる人が食べていけるような循環。

市政全般に関する市民意識調査への協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では平成30年度から「第2次安曇野市総合計画前期基本計画」をスタートさせ、福祉や教育、まちづくり、産業振興など、さまざまな分野の推進充実に取り組んで参りました。この計画が令和4年度で満了し、新たに令和5年度から令和9年度までの「後期基本計画」が4月よりスタートします。こうした市の事業や施策の推進に、皆様の意見や考えを反映するため、アンケート調査を実施します。

アンケートは、市内にお住まいの18歳以上（令和5年1月1日時点）の2,000人の皆様を無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和5年2月 安曇野市長 太田 寛

<ご記入にあたってのお願い>

- 本調査は無記名でお答えください。調査結果は統計的に処理し、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されたりすることはありませんので、率直なお気持ちをご回答ください。
- **必ず「宛名のご本人」様がお答えください。**このため、ご病気等によりご回答いただけない場合は、廃棄等していただいてもかまいません。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和5年2月27日(月)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
- **インターネットによる回答も可能です。**詳しくは裏面をご覧ください。

<この調査のお問い合わせ先>

安曇野市 政策部 政策経営課 企画担当

電話：0263-71-2401（直通）※平日の8:30～17:15

FAX:0263-71-5155

Eメール：seisakukeiei@city.azumino.nagano.jp

【インターネットによる回答のご案内】

<手順>

- ① アンケート回答ページにアクセスしてください。

(https://s-kantan.jp/city-azumino-nagano-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=30052)

[アクセス方法 1]

右の QR コードを読み取ってください。



[アクセス方法 2]

「ながの電子申請サービス」で検索してください。

ページ左上の「申請団体選択」から「安曇野市」を選択のうえ、

「安曇野市市民意識調査」を選択してください。

- ② 案内に沿ってご回答ください。

<ご注意点>

- ・ インターネットで回答した方は、紙での回答は必要ありません。
- ・ インターネットによる回答は、一度限りとしてください。

1. あなたやご家族のことについて

問1. あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない・その他 |
|-------|-------|---------------|

(2) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |

(3) 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------------|------------|------------|
| 1. 農林水産業(専業) | 2. 自営業・事業主 | 3. 勤め人(常勤) |
| 4. 勤め人(パート・アルバイト、派遣等) | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他() | |

(4) 通勤先、通学先の市町村についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|---------------|
| 1. 安曇野市 | 2. 松本市 | 3. 塩尻市 |
| 4. 大町市 | 5. その他() | 6. 通勤・通学していない |

(5) お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 豊科 | 2. 穂高 | 3. 三郷 |
| 4. 堀金 | 5. 明科 | |

(6) あなたの「出身地※」についてお答えください。(1つに○)

※ 15歳までの期間に最も長く居住した場所を「出身地」としてお答えください。

- | | | | |
|-----------------|-------------|---------|--------|
| 1. 安曇野市 | 2. 松本市 | 3. 大町市 | 4. 塩尻市 |
| 5. その他の県内市町村() | 6. 東京都 | 7. 神奈川県 | |
| 8. 埼玉県 | 9. 愛知県 | 10. 大阪府 | |
| 11. その他の道府県() | 12. 外国(国名) | | |

(7) 安曇野市での居住を始める前(直前)に居住していた都道府県・市町村についてお答えください。

- | | | | |
|--------------------|-----------------|--------|---------|
| 1. 安曇野市以外での居住経験はない | 2. 松本市 | 3. 大町市 | |
| 4. 塩尻市 | 5. その他の県内市町村() | 6. 東京都 | |
| 7. 神奈川県 | 8. 埼玉県 | 9. 愛知県 | 10. 大阪府 |
| 11. その他の道府県() | 12. 外国(国名) | | |

問2. 世帯状況についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦で二人暮らし | 3. 二世帯同居(親-子) |
| 4. 三世帯同居(親-子-孫) | 5. その他() | |

2. 安曇野市での暮らしについて

問3. あなたは安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | 6. その他 () |

問4. あなたは、これからも安曇野市に住み続けたいですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. ずっと住みたい |
| 2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい |
| 3. 他の市町村へ移りたい |
| 4. わからない・その他 () |

問4で「1. ずっと住みたい」または「2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に住みたいと思う理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 両親や祖父母の近くで生活したいから |
| 2. (親などから) 地元で生活するように言われているから |
| 3. 友人がたくさんいるから |
| 4. 生まれ育った場所で、生活に慣れているから |
| 5. 安曇野市の風土や食べ物が好きだから |
| 6. 職場が近いから |
| 7. 持ち家があるから |
| 8. その他 () |

問4で「3. 他の市町村へ移りたい」と回答した方のみご回答ください。

(2) その理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 都会に興味があるから | 2. 買い物などが不便だから |
| 3. 働きたい会社がないから | 4. 街に活気がないから |
| 5. 親と別々に住みたいから | 6. 魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから |
| 7. 公共交通が不十分で通勤・通学が不便だから | 8. 若い世代が少ないから |
| 9. 安曇野市の風土が好きではないから | 10. 冬の生活が大変だから |
| 11. 近所付き合いや地区の役職等がわずらわしいから | 12. 子育てしにくい環境だから |
| 13. 職場が近くなるから | 14. その他 () |

問5. 安曇野市に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. とても感じている | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない |

問5で「1. とても感じている」または「2. どちらかというと感じている」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野市に愛着を感じる理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自然環境と調和した快適な住環境が整備されている
2. 医療・福祉の支援が充実しており、自分や家族が健康に暮らすことが出来る
3. 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っている
4. スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っている
5. 学校教育や生涯学習が充実している
6. 歴史や文化・伝統が受け継がれている
7. 博物館や美術館が多く、芸術に触れる機会が充実している
8. 自然災害に備える体制が整っており、安全・安心に暮らすことが出来る
9. 幹線道路や公共交通の利便性が高く、生活しやすい都市基盤がある
10. 農林水産業が盛んである
11. 経済活動が活発であり、雇用・所得環境が良好である
12. 観光資源が豊富であり、市外・県外居住者との交流が盛んである
13. まちの知名度・ブランド力が高い
14. 移住・定住者が多い
15. 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発である
16. 先端技術・デジタル技術が活用されており、行政サービスの利便性が高い
17. ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的である
18. その他 ()

問5で「3. どちらかというと感じていない」または「4. 感じていない」と回答した方のみご回答ください。

(2) 安曇野市に愛着を感じない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自然環境と調和した快適な住環境が整備されていない
2. 医療・福祉の支援が充実しておらず、自分や家族が健康に暮らすことが出来ない
3. 安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていない
4. スポーツやレクリエーションを楽しめる環境が整っていない
5. 学校教育や生涯学習が充実していない
6. 歴史や文化・伝統が受け継がれていない
7. 博物館や美術館が少なく、芸術に触れる機会が充実していない
8. 自然災害に備える体制が整っておらず、安全・安心に暮らすことが出来ない
9. 幹線道路や公共交通の利便性が低く、生活しやすい都市基盤がない
10. 農林水産業が盛んでない
11. 経済活動が活発でなく、雇用・所得環境が良好ではない
12. 観光資源が活かされておらず、市外・県外居住者との交流が盛んでない
13. まちの知名度・ブランド力が低い
14. 移住・定住者が少ない
15. 行政と地域住民の協働によるまちづくり活動が活発でない
16. 先端技術・デジタル技術が活用されておらず、行政サービスの利便性が低い
17. ゼロカーボンの推進など、SDGsの達成に積極的でない
18. その他 ()

3. 安曇野市の行政に関すること

■ 市の全般的な施策等について

問6. 以下に示す分野ごとの市の施策について、「① 現状の満足度」と「② 今後の重要度」等をお聞きします。

【① 現状の満足度】

各施策の内容について、現在どの程度満足していますか。 (1つに○)

【② 今後の重要度】

各施策の内容について、将来的にどの程度重要だと考えますか。 (1つに○)

(1) 自然環境について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 河川、山林などの自然環境が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 きれいな水、澄んだ空気など、良好な生活環境が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 太陽光発電などの自然エネルギーが普及している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 ごみのリサイクルや分別などにより、減量が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問7. 日本では、生ごみのうち、本来食べられたはずなのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が、年間約600万～700万トン発生していると推計されます。ご家庭で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

1. 食品を買いすぎ、使いきれずあまってしまったため
2. 食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため
3. 家に在庫があるのに、不必要なものを買ってしまったため
4. 料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため
5. 期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため
6. お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため
7. 食品ロスは出ない
8. その他 ()

問8. 外食や宴会等で「食品ロス」が発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。(〇はいくつでも)

1. 少量のメニューが提供されていなかったため
2. 注文時に思っていた量よりも、多くでてきてしまったため
3. コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため
4. 接待や宴会の席で、積極的に食べにくかったため
5. 味が好みでなかったため
6. お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため
7. 食品ロスは出ない
8. その他 ()

(2) 医療・福祉・人権について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 医療体制が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 地域において、支え合える関係が築けている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 障がい者が安心して生活しける地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 高齢者が住みなれた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 生活に困ったときに相談できる体制が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 性別に関わらず、能力を発揮できる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 互いの個性や立場を尊重している地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 性的マイノリティの方への配慮がなされている地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問9. 毎年、健康診断（人間ドックを含む）の受診はされていますか。

1. 受診している	2. 受けていない
-----------	-----------

問 11. あなたの運動又はスポーツの頻度について教えてください

1. ほぼ毎日	2. 週に3回程度	3. 週に1～2回程度
4. 月に1～2回程度	5. 年に1～2回程度	6. 全くしない

(5) 教育・学習について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 小中学校での教育が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 小中学校と地域・家庭の連携が図れている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 年代に関わらず、学びの機会が提供されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 12. 「生涯学習」という言葉の意味を知っていますか。

※「生涯学習」とは、乳幼児期から高齢期まで人生の各段階で、個人や家庭、職場、地域社会に生じる課題等に応じて、自己実現や社会貢献、地域の課題解決を目指し、自発的意思に基づいて行うことを基本とした学習活動です。

1. 知っている	2. 何となくはわかる
3. 意味はわからないが言葉は聞いたことがある	4. 言葉として初めて聞いた

問 13. あなたはこの5年くらいの中に、生涯学習の取り組みをしましたか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(6) 地域の伝統について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域の伝統や文化の保存・活用が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(7) 文化・芸術について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 文化・芸術を気軽に楽しめる環境が整っている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(8) 防災・防犯について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域において、地震や台風などへの備えができています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 交通安全の取り組みが行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 防犯対策が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 特殊詐欺など、消費者被害の防止に向けた取り組みが行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 14. あなたの災害関連情報の入手方法についてご回答ください。(○はいくつでも)

1. 安曇野市防災メール	2. 安曇野市公式ツイッター	3. インターネット
4. テレビ	5. ラジオ	6. 防災ラジオ
7. 防災行政無線	8. 防災関連アプリ	9. その他 ()

(9) 都市基盤について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 市街地は道路等が整備されており、快適である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 周囲の自然や農地とのバランスの取れた開発が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 安曇野らしい景観が保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 緑化の保全、普及が進められている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 公園、緑地の整備・維持管理がされている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 国道、県道などの幹線道路が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 生活道路である市道が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 公共交通網が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(10) 農林水産業について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域内で、安全で質の高い農産物が生産されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 15. あなたは、里山再生、森林保全といった活動に興味がありますか。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 興味があり、既に活動に参加している | 2. 興味はあるが、活動に参加していない |
| 3. 興味がないため活動に参加していない | 4. わからない |

問 16. 市では、平成 27 年度に「里山再生計画」を策定し、その計画に関連し里山再生を行う取り組みを「さとぷろ。」と位置づけ、里山が抱える課題の解決について様々な取り組みを行っています。あなたは「さとぷろ。」を知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 16. あなたは「さとぷろ。」の活動に参加したことはありますか。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 参加したことはないが、今後参加したい |
| 3. 参加したことはない | |

問 17. 「参加したことはないが、今後参加したい」を選択した方にお伺いします。参加していなかった理由はなんですか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 参加のきっかけが少ない | 2. 情報が不足している |
| 3. 時間的余裕がない | 4. 体力に自信がない |
| 5. その他 () | |

問 18. あなたが、身近な山林での活動において興味があるものは何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| 1. 森林整備 | 2. 薪の調達及び薪づくり | 3. 山菜やキノコ採り |
| 4. ジビエ・狩猟 | 5. 釣り | 6. 自然観察(生き物・植物など) |
| 7. ウォーキング | 8. 木工 | 9. 地域材の利用 |
| 10. キャンプ・レジャー | 11. その他 () | |

(11) 経済活動について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 市内に个性的で魅力的なお店が増えている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 工業・製造業が盛んな地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 働きやすい地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(12) 観光について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 安曇野市は魅力的な観光地である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 安曇野らしい産品が生み出されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(13) 地域ブランドについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 全国的に「安曇野市」の地名が知られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 市外在住者に誇ることのできる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 19. 小説『安曇野』を知っていますか。

※小説『安曇野』は、安曇野などを舞台とした長編歴史小説で1974年に完結しました。作者は旧三田村（現在の安曇野市堀金）出身の臼井吉見氏です。

1. 知っており、読んだことがある	2. 知っているが、読んだことはない
3. 初めて聞いた	

(14) 移住・定住について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 移住者、定住者が多く活気のあるまちである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(15) 協働・コミュニティ活動について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 地域住民によるコミュニティ活動が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 NPO、ボランティア活動が行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 まちづくりへの市民参画が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(16) デジタル社会・行政サービスについて

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 情報化社会に対応した基盤が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 行政運営の効率化が図られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 市政に関する情報が入手しやすい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 広報紙「広報あづみの」が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 市公式ホームページ、SNS が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 市のラジオ番組（あづみ野エフエム）が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 20. 次の中であなたが持っているデバイスについてご回答ください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. スマートフォン | 2. 携帯電話 (スマートフォン以外) |
| 3. タブレット端末 | 4. 持ってない |

問 21. 次の中であなたが使ってみたいまたは使っている市が提供しているアプリについてご回答ください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------------------|
| 1. LINE (安曇野市公式アカウント) | 2. 母子モ |
| 3. のるーと | 4. マチイロ |
| 5. さんあ〜る | 6. FixMyStreetJapan (情報処理システムあづみの) |

(17) SDGs (持続可能な開発目標) について

市の施策に対する評価 (満足度・重要度)	①現状の満足度					②今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 当てはまる番号を○で囲む →	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1 SDGs の達成に向けて取り組んでいる地域である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 22. その他、市へのご意見やご提案などあれば記載してください。(自由記載)

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

同封いたしました返信用封筒 (切手不要) に入れ、**令和5年2月27日(月)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
(インターネットで回答した方は、返信用封筒にてお送りいただくなくて結構です。)